

スリランカ国
技術教育訓練再編整備計画プロジェクト
中間評価調査報告書

平成20年6月
(2008年)

独立行政法人国際協力機構
スリランカ事務所

スリ事

JR

08-12

スリランカ国
技術教育訓練再編整備計画プロジェクト
中間評価調査報告書

平成20年6月
(2008年)

独立行政法人国際協力機構
スリランカ事務所

序 文

近年スリランカの経済は順調な伸びを示しているが、雇用状況は依然厳しい状態にあり、中でも若年層の失業者が失業者全体の約7割を占めている。一方、スリランカの職業訓練機関は、職業訓練施設の未整備、訓練コースの重複、職業訓練で養成している人材と産業界が求めている人材とのミスマッチ等、多くの問題を抱えている。特に、スリランカ全土に点在する38校の技能短大(TC)では、年間約17000名に職業訓練を実施しているものの、そのカリキュラム、運営方法等の適切な見直しが行われていないことから、近年の産業界のニーズに合致した訓練になっておらず、産業界に必要とされる人材の供給ができていないことが指摘されてきた。そこでスリランカ政府は各州に1つずつ合計9つのTCを国家技能標準(NVQ)レベル5・6の訓練を提供する技術短大(CoT)に昇格させ、技術教育訓練(TVET)の合理化をはかる政策を打ち出した。このような背景からスリランカ政府はコロンボ市にあるマラダナTCをCoTに昇格させるための支援を日本政府に要請し、JICAは現地産業界からの要望が強く、また日本の得意分野でもある、メカトロニクス、情報通信、および金属加工の3分野に関してディプロマレベルのモデルコースを立ち上げる支援することとした。これらのモデルコースの設立を通じDTETのCoT設立・運営能力を強化し、他のCoTの設立・運営に活かされていくことが期待されている。

このような状況のもと、スリランカ政府から我が国に対し、スリランカ国の技術教育訓練を再編整備するための支援を目的とした支援が要請され、2005年6月よりJICAの「技術教育訓練再編整備計画プロジェクト」が開始された。

今般、協力期間の中間を経過したことから、本プロジェクトの中間評価を行うべく、2008年3月に調査団を派遣し、関係者と協議を行い、これまでの成果を確認すると共に、今後のプロジェクトの方向性・あり方に関する議論と検討を行った。本報告書は、同調査結果を取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開に、更には類似の他プロジェクトに活用されることを願うものである。

ここに、本調査にご協力をいただいた内外関係者の方々に深い感謝の意を表すると共に、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

2008年6月
独立行政法人国際協力機構
スリランカ事務所長 鈴木規子

地 図



コロンボ
マラダナ校所在地

写 真



マラダナ技術短大



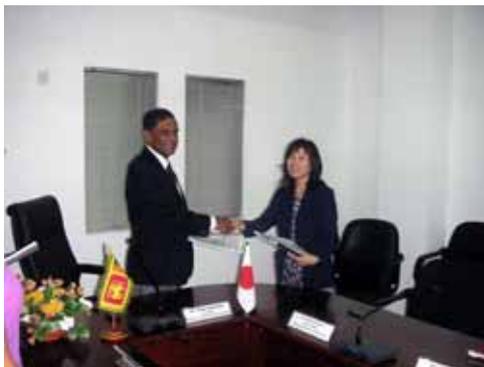
金属加工コース



情報通信コース



メカトロニクスコース



中間評価ミニッツ署名



合同調整委員会

略 語 表

| | | |
|----------|--|--------------------|
| ADB | Asian Development Bank | アジア開発銀行 |
| CoT | College of Technology | 技術短大 |
| DTET | Department of Technical Education and Training | 技術教育訓練局 |
| GTZ | Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit / German Technical Cooperation | ドイツ技術協力公社 |
| JCC | Joint Coordination Committee | 合同調整委員会 |
| KOICA | Korea International Cooperation Agency | 韓国国際協力団 |
| MVTT | Ministry of Vocational and Technical Training | 職業技術訓練省 |
| NAITA | National Apprenticeship and Industrial Training Authority | 国立従弟・工業訓練公団 |
| NITESL | National Institute of Technical Education of Sri Lanka | スリランカ国立技術教育研究所 |
| NVQ | National Vocational Qualification | 国家職業訓練資格 |
| PCM | Project Cycle Management | プロジェクト・サイクル・マネジメント |
| PDM | Project Design Matrix | プロジェクト・デザイン・マトリックス |
| SLCoT | Sri Lanka College of Technology | スリランカ技術短大 |
| TC | Technical College | 技能短大 |
| TEDP | Technical Education Development Project | 技術教育開発プロジェクト |
| TVEC | Tertiary and Vocational Education Commission | 高等職業教育委員会 |
| TVET | Technical Vocational Education and Training | 技術教育訓練 |
| UNIVOTEC | University of Vocational Technology | 職業技術大学 |

評価調査結果要約表

| 1. 案件の概要 | |
|---|------------------------------------|
| 国名：スリランカ国 | 案件名：技術教育訓練再編整備計画 |
| 分野：人的資源・職業訓練 | 援助形態：技術協力プロジェクト |
| 所轄部署：スリランカ事務所 | 協力金額（評価時点）：6.8億円 |
| 協力期間 2005年8月1日～2010年7月31日 | 先方関係機関：職業技術訓練省（MVTT）、技術教育訓練局（DTET） |
| | 日本側協力機関：厚生労働省、独立法人雇用能力開発機構 |
| | 他の関連協力： |
| 1-1 協力の背景と概要 | |
| <p>近年スリランカの経済は順調な伸びを示しているが、雇用状況は依然厳しい状態にあり、中でも若年層の失業者が失業者全体の約7割を占めている。一方、スリランカの職業訓練機関は、職業訓練施設の未整備、訓練コースの重複、職業訓練で養成している人材と産業界が求めている人材とのミスマッチ等、多くの問題を抱えている。特に、スリランカ全土に点在する38校の技能短大（TC）では、年間約17000名に職業訓練を実施しているものの、そのカリキュラム、運営方法等の適切な見直しが行われていないことから、近年の産業界のニーズに合致した訓練になっておらず、産業界に必要とされる人材の供給ができていないことが指摘されてきた。そこでスリランカ政府は各州に1つずつ合計9つのTCを国家技能標準（NVQ）レベル5・6の訓練を提供する技術短大（CoT）に昇格させ、技術教育訓練（TVET）の合理化をはかる政策を打ち出した。このような背景からスリランカ政府はコロンボ市にあるマラダナTCをCoTに昇格させるための支援を日本政府に要請し、JICAは現地産業界からの要望が強く、また日本の得意分野でもある、メカトロニクス、情報通信、および金属加工の3分野に関してディプロマレベルのモデルコースを立ち上げる支援することとした。これらのモデルコースの設立を通しDTETのCoT設立・運営能力を強化し、他のCoTの設立・運営に活かされていくことが期待されている。</p> | |
| 1-2 協力内容 | |
| (1) 上位目標 | |
| ア．産業界の労働需要に見合った職業能力をもった人材がTC/CoTで育成される。 | |
| イ．DTETがマラダナ校の経験を踏まえて、9州にCoTを設立する。 | |
| (2) プロジェクト目標 | |
| マラダナ校において、技術短大（CoT）設立に必要な中堅技術者育成のモデルコースを確立することを通して、その監督機関であるDTETが今後各州に技術短大を設立するのに必要な経営・技術能力を獲得する。 | |
| (3) 成果 | |
| マラダナ校でNVQレベル5・6の訓練コースが情報通信、メカトロ、金属加工の3分野で導入・運営される。 | |
| DTETが産業界のニーズを訓練に反映させる体制を確立する。 | |
| DTETの訓練コース運営能力が向上する。 | |
| マラダナ校において実施されたNVQレベル5・6の訓練コース導入と運営に関するノウハウが、他のTC/CoTで共有される。 | |
| (4) 投入（評価時点） | |

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 日本側： | |
| 長期専門家派遣 | 5名（チーフアドバイザー、調整員、金属加工、情報通信、メカトロニクス） |
| 短期専門家派遣 | 12名 機材供与 1.92億円 |
| 研修員受け入れ | 22名（集団研修、第三国研修含む） ローカルコスト負担 0.16億円 |
| 相手国側： | |
| カウンターパート配置 | 21名 土地・施設提供 |
| ローカルコスト負担 | 0.27億スリランカルピー |

2. 評価調査団の概要

| | | |
|------|---|-----------|
| 調査者 | 団長：西野恭子 独立行政法人国際協力機構スリランカ事務所 次長 協力企画：森田千春 独立行政法人国際協力機構 人間開発部 職業訓練：飯田洋丈 独立行政法人雇用・能力開発機構 企画部企画課国際協力係長 能力開発行政：中野頼明 財団法人海外職業訓練協会 OVTA 国際アドバイザー プロジェクト効果分析：大橋由紀 株式会社インターワークス コンサルタント | |
| 調査期間 | 2008年3月4日～同年3月15日 | 評価種類：中間評価 |

3. 評価結果の概要

3-1 実績

(1) 投入の実績

日本側からの投入については、機材調達はプロジェクト開始年から3期の間に実施する計画だったが、資金面や運営面での制約から5期に渡って実施されている。専門家派遣については、モデル3コースの長期専門家のうち、メカトロニクスの長期専門家が期間を短縮して帰国したが、以降短期専門家の派遣で技術移転に取り組んでいる。本邦研修は集団研修や第三国研修も利用し、多くのC/Pが研修を受けている。スリランカ側の投入については、モデルコースの教員となるC/Pの資格を満たす人材の配置に遅れが生じている。訓練施設の整備についても遅れが生じており、モデルコースの実施に不都合が生じることもあった。

(2) 成果の達成状況

成果1については、プロジェクト開始時点で策定されている予定であった各モデルコースのカリキュラムが実際はまだ開発されていなかったことから、モデルコースの準備全般に遅れが生じた。カリキュラム・アウトラインの最終案はプロジェクト開始から1年遅れで準備され、プロジェクトはそれに沿ったシラバスや教材の開発を余儀なくされたが、日本側・スリランカ側双方の努力により、プロジェクトは2007年1月には金属加工と情報通信の第1期、2008年1月にはメカトロニクスの第1期と金属加工・情報通信の第2期のモデルコースを開始することに成功した。

成果2については、産業界の参加による技術委員会を設立し、中間評価時点までに5回の会合を持っている。産業界からの訓練に対する要求が会合で議論され、訓練コースの改善に反映されている。在職者対象の短期コースも情報通信とメカトロニクスの分野で開始されている。教員の企業への配置と企業内訓練は後半に実施される予定である。

成果3については、キャリア・ガイダンス・セミナー、適性試験、教材開発、技能競技会が実施された。パートタイムのディプロマコースや質と訓練レベルの妥当性を保証するための調査については、後半に実施される予定である。

成果4については、アジア開発銀行（ADB）が支援する技術教育開発プロジェクト（Technical Education Development Project, TEDP）がSLCoTで新規の3つのNVQレベル5・6のコースの設立を計画しているため、

プロジェクトでさらに追加コースには取り組むことはしないこととなった。今までの活動をとおして CoT 設立・運営のノウハウは蓄積されているが、他の TC/CoT と共有するためにはプロジェクトの後半にノウハウの文書化に取り組む予定である。

(3) プロジェクト目標の達成状況

プロジェクトは既に3つのモデルコースを開始しており、順調に進展しているといえる。プロジェクトの後半では今までの活動をとおして蓄積されてきたノウハウを取りまとめ、DTET がそのノウハウを他の CoT の設立のために共有できるようにすることが求められている。まだモデルコースの修了生は出ていないが、キャリア・ガイダンス・カウンセリングセンターや DTET の各課の課長たちによると、モデルコースの修了生が妥当な職を得る見込みは十分にあるとのことである。モデルコースの応募者数については、金属加工の分野で学年開始月の変更による不都合から応募者が減少したが、今後 DTET が調整することで不都合は解消される予定である。経験に基づいたマニュアルの作成はプロジェクトの後半で実施することが計画されている。プロジェクトは経験の蓄積が重要であることは理解しているものの、具体的に何を書類に取りまとめるかを検討し、プロジェクト後半にその活動に努めることが必要である。また、前述のとおり TEDP が NVQ レベル 5・6 の新規コースを SLCoT で立ち上げることから、プロジェクトは同レベルの新規コースの立ち上げは行わないことで合意された。

(4) 実施プロセスの状況

CoT の設立には現在 TEDP の他にも GTZ や KOICA が支援をしているため、ドナー会議で情報の交換を行っている。TEDP は全 CoT 共通となる枠組みや準拠すべき規則の作成も行っていることから、新規則が既にスタートしたプロジェクトのモデルコースに不都合を生じさせないように要請を行っている。プロジェクトのモニタリングは定期会議を通じて実施され頻繁な議論が行われているが、DTET の課長レベル職員の退職による異動が多いため、プロジェクトへの積極的な参加を得にくいとの声があった。NVQ レベル 5・6 の技術標準やカリキュラム・アウトラインなどの基礎的な枠組みなどについて、関連機関の意思決定プロセスに非常に時間がかかっている。プロジェクトの枠組み外の関連機関の調整も必要不可欠であり、プロジェクトが期間内に目標を達成するためには、協力が望まれる。モデルコースの教員である C/P の大部分は積極性を高く評価されているが、資格については NVQ レベル 5・6 の指導員は学位保持者であることが定められたため、学位を持っていない C/P を対象に、パートタイムのコースによる学位の取得や、経験やプロジェクトによる技術移転を考慮して単位と交換するなどといった配慮を要請している。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

プロジェクトはスリランカの産業界のニーズや国家政策、日本の援助政策の面から妥当性が高い。事前調査時から状況が変わり、TEDP が CoT を 5 校設立する計画を実施しているが、全 CoT の監督機関としての DTET の役割には変わりがないことが確認され、プロジェクトのアプローチについても現時点では妥当であると言える。

(2) 有効性

プロジェクトは SLCoT でモデルコースを立ち上げることにより、既に CoT 設立や産業界との連携のノウハウを蓄積しつつある。DTET は TEDP が主催する CoT 設立のためのテーマ別の委員会においてもプロジェクトの経験を発表するなど、既にプロジェクトで蓄積されたノウハウの共有が始まっている。プロジェクト後半でノウハウの普及のために情報を整備していくことで、プロジェクトの成果が有効にプロジェクト目標の達成へと繋がることが期待される。

(3) 効率性

既述のとおり、投入が遅れが生じたことはプロジェクトの進捗にも影響を及ぼした。しかし、その遅れにもかかわらず、プロジェクトはモデルコースの立ち上げに成功している。一部のコースには他のコースと比べると遅れが生じているものの、実施された投入は効率的に成果に結びついていると言える。

(4) インパクト

プロジェクトがモデルコースの立ち上げに成功していることに加え、現状では他ドナーが全 TC/CoT の設立を支援していることから、各州の 9 つの CoT が設立される見込みは高い。また、プロジェクトは産業界の連携に力を入れていることから、今後 DTET に産業界との連携のノウハウが十分蓄積され、他の CoT で活用することが可能となれば、CoT は産業界のニーズに応える中堅技術者を輩出していくことが可能となるだろう。その他のインパクトとしては、NVQ レベル 5・6 のコースを新規に立ち上げることは、今までスリランカで存在しなかった高いレベルの技術を習得することを可能にし、それぞれの科目の従事者にとってはより良い職を得る機会を提供することが期待できる。

(5) 自立発展性

政策・財政面では CoT 設立は国家の優先政策として位置づけられ、そのため将来的な予算増額にも対応していくとの政府の見通しであるが、CoT 共通の規定の未整備や DTET の人材不足など、CoT 設立・運営のための制度面・人材面の整備はまだ整っておらず、政府や TEDP など各関係機関が整備に取り組んでいるところである。技術面ではプロジェクト後半にマニュアルの作成、機材維持管理システムの確立など、長期的視野で技術の定着が可能となるような仕組みづくりを含めて技術移転を行っていくことが望まれる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

プロジェクトの C/P は個別研修だけではなく集団研修や第三国研修に参加するなど、プロジェクトの枠組みの外の研修機会も得ている。その結果、合計 22 人ものカウンターパートが研修に参加しており、成果の達成を促進している。また、プロジェクトはスリランカの日系企業からのサポートを受けており、最新の技術動向やスリランカの産業情報などを獲得することができている。

(2) 実施プロセスに関すること

記述のとおり投入が遅れが生じているものの、日本人専門家やスリランカ側カウンターパートは遅れの克服に努めモデルコースの開始に至っており、積極的な取り組み姿勢はプロジェクト目標の達成に向けて貢献していると評価できる。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

プロジェクトは既にモデルコースを開始しているが、全 CoT に関する共通の基本的な枠組みがまだ完全に制定されていない状態である。TEDP が CoT 共通の基準の作成に取り組んでおり、新たに設定された基準がモデルコースに影響を与えることが懸念される。プロジェクトは関係機関に対し新たな基準が既存のコースに影響を与えないよう要請している。

(2) 実施プロセスに関すること

日本側・スリランカ側双方の投入遅れやカリキュラムの承認の遅れは、特に成果 1 の進捗の主要な阻害要因となっている。また、SLCoT の教員が不足していることによって、プロジェクトのカウンターパートである教員が別のレベルのコースでも指導することを求められるなど、プロジェクトにも影響が出ている。プロジェクトは MVTT に SLCoT の教員の増員を要請している。また、TVET セクターの関連機関は複数あり、関係機

関での意思決定や実施に時間がかかる。企業内訓練の制度が決定されていないのもそのような決定の遅れの一つである。プロジェクトは各関連機関に働きかけ、必要な意思決定は早急に行われるように要請している。

3-5 結論

プロジェクトは投入やカリキュラム・アウトラインの遅れや CoT 関連の規定の未整備にもかかわらず、前半で3つのモデルコースを開始することに成功した。SLCoT は CoT のモデルとして認識され、関係者に高く評価されている。プロジェクトの後半では初の NVQ レベル 6 の資格保持者を輩出するために、またプロジェクト活動をとおして得られた CoT 設立のノウハウを蓄積するために、さらに活動に努めていくことが必要である。日本人専門家の支援を得ながら、DTET や SLCoT がプロジェクトに積極的に取り組んでいくことで、プロジェクト終了時にはプロジェクト目標が達成されるであろう。

3-6 提言

(1) ノウハウの蓄積と普及

- プロジェクトは、現在実施されている活動に追加して、蓄積されたノウハウの文書化をプロジェクトの後半の主要な活動とする。
- DTET もしくは SLCoT からコース運営のノウハウの文書化の担当者を任命する。
- それぞれのプロジェクトの活動におけるノウハウの文書化は DTET が中心となって実施する。
- DTET の課長レベルの職員の退職による異動が多くプロジェクトへの積極的な参加を得にくいことを克服するために、DTET は必要な措置を検討する必要がある。

(2) 企業内訓練制度の詳細の確認

現在実施中のモデルコースの第 1 期生と第 2 期生については、モデルコースの修了時に DTET は生徒に認定証 (Record of Assessment) を発行し、その後生徒は 6 ヶ月の企業内訓練を行う。企業内訓練を終了すると、TVEC と DETE は NVQ レベル 6 の資格を授与する、とのプロセスが確認された。しかし、モデルコースの第 1 期卒業生に何ら不都合が生じないように、企業内訓練の詳細を早急に明確化する必要がある。

(3) プロジェクトの投入

- DTET は機材が配達される前に早急に CAD 教室の家具を導入する必要がある。
- 資格を満たす金属加工の教員 1 名を配置する努力を続けるとともに、JICA から供与された機材の管理をする倉庫係りのスタッフ 1 名を配置することが望まれる。
- プロジェクトの後半で必要とされている技術支援を行うために専門家の派遣を再検討する必要がある。

(4) モデルコースの運営

- プロジェクトの C/P のために、パートタイムの学位取得コースを実施や、教員経験やプロジェクトが提供した訓練を考慮していくつかの単位を免除するなどの対策を確定する必要がある。
- モデルコースの修了生の質に関する企業への調査は、DTET の関連部課の指示の下、キャリア・ガイダンス・カウンセリングセンターによって、コース修了後 6 ヶ月の時点で実施する。
- DTET は NVQ レベル 4 の生徒が支障なくレベル 5 に進めるように、NVQ レベル 4 または同等のコースと NVQ レベル 5 のコースの開始月を確定する必要がある。
- モデルコースの機材を維持するために、予算の割り当てや定期的な実施を含めたメンテナンスの体制を確立する必要がある。

(5) TEDP の新規 3 コースとの調整

SLCoT で TEDP によって新規に開始される NVQ レベル 5・6 の 3 コースについては、プロジェクトが蓄積しているノウハウが活用されることが望まれる。しかし、プロジェクトのモデルコースに十分に配慮し、プロジ

プロジェクトのリソース(資機材、施設、人材など)はプロジェクトの都合で使用できるように確保されるべきである。

目次

序文
地図
写真
略語表
中間調査結果要約表
目次

| | |
|-----------------------|----|
| 第1章 中間評価調査団派遣の経緯..... | 1. |
| 1-1 調査の背景 | |
| 1-2 調査の目的 | |
| 1-3 調査団の構成 | |
| 1-4 現地調査日程 | |
| 1-5 中間調査の方法 | |
| 第2章 プロジェクトの実績と現状..... | 4 |
| 2.1 投入実績 | |
| 2.2 成果達成状況 | |
| 2.3 プロジェクト目標 | |
| 2.4 上位目標 | |
| 2.5 プロジェクトの実施プロセス | |
| 第3章 評価5項目..... | 12 |
| 3-1 妥当性 | |
| 3-2 有効性 | |
| 3-3 効率性 | |
| 3-4 インパクト | |
| 3-5 自立発展性 | |
| 第4章 PDMの改定..... | 17 |
| 第5章 結論..... | 19 |
| 第6章 提言..... | 20 |

添付

1. 改定前 PDM (Version 3)
2. 改定後 PDM (Version 4)
3. 主要面談者リスト
4. カウンターパート配置一覧
5. スリランカ側プロジェクト経費
6. 専門家派遣一覧
7. 機材供与費用
8. 供与機材一覧
9. カウンターパート研修実績
10. 在外事業強化費

11. 技術委員会会合実績
12. 教材開発リスト
13. 訓練生募集状況
14. 各ドナーの支援概要
15. TEDP の概要
16. PDM 改定箇所一覧
17. 評価グリッド

第1章 中間評価の計画概要

1.1 調査の背景

スリランカ国(以下「ス」国)は2002年の「ス」国政府とLTTE(タミル・イーラム解放の虎)との停戦合意以降、経済情勢は回復基調となり低迷していた製造業も緩やかな伸びを示している。しかし、失業率は2002年において8.8%、約60万人から高止まり傾向にあり、また、失業者の60%近くが20歳から29歳までの若年層となっている。これは、初中等教育の就学率が高いものの(高校前期修了で約40万人程度、高校後期修了でも約20万人)、大学等高等教育を受ける機会が限られているため(入学者が毎年約1万人強)、中等教育は修了したが社会生活において活用可能な技術を身につけていない若年層が毎年大量に輩出され、就業機会を逸して失業者となってしまうことが一因となっている。従って、これらの中等教育修了者に対する技術教育訓練の強化は、若年層の失業対策および産業基盤の人的な側面からの整備に直接効果を及ぼすと考えられる。

「ス」国の技術教育訓練(Technical Vocational Education and Training, TVET)制度で中等教育修了者を主な対象としているのは、DTETが所管する36の技能短大(Technical College, TC)である。TCにおいては、年間約18000人に職業訓練を実施しているものの、技術教育・訓練全般にわたり、そのカリキュラム、運営方法等の適切な見直しが行われていないことから、近年の産業界のニーズに合致した訓練になっておらず、産業界に必要とされる人材の供給ができていない。「ス」国政府は、技術短大(College of Technology, CoT)導入政策を開始し、全国36のTCのうち、各州代表の9校をCoTに昇格させ、現在産業界で不足している中堅技術者の育成を目指している。

かかる背景のもと、技術教育訓練局の能力強化およびCoTのモデル校設立に係る職業訓練強化プロジェクトが、スリランカ政府職業・技術訓練省(Ministry of Vocational and Technical Training: MVTT)から2004年7月にわが国政府に要請された。

1.2 調査の目的

現在5年間のプロジェクト実施期間の中間点にあたり、モデル訓練コースの立ち上げ状況を含むこれまでの実績と活動の進捗状況を確認するとともに、これまでの短大レベルのコース導入プロセスのうち、他の技術短大にも共有できるようなノウハウや教訓の抽出など、展開計画今後の活動計画や方向性に関する協議を実施し提言を行うため、中間評価調査を実施する。

1.3 調査団の構成

| | 氏名 Name | 担当分野 Field in charge | 派遣期間 Period | 所属 Affiliation |
|---|------------|-------------------------|----------------|-------------------|
| 1 | 西野恭子 | 団長 | 現地参団 | JICA スリランカ事務所 |
| 2 | 飯田洋丈 | 職業訓練 | 3月5日～3月15日 | 雇用・能力開発機構 |
| 3 | 中野頼明 | 能力開発行政 | 3月8日～3月15日 | 海外職業訓練協会 |
| 4 | 大橋由紀 | プロジェクト効果分析 | 3月5日～3月15日 | (株)インターワークス |
| 5 | 森田千春 | 協力企画1 | 3月8日～3月15日 | JICA 人間開発部 |

1.4 現地調査日程

| | | 森田、中野 | 西野、飯田、大橋 |
|-------|---|-------|--|
| 3月4日 | 火 | | 移動 |
| 3月5日 | 水 | | コロンボ着 DTET・プロジェクト打ち合わせ マラダナ校 C/P からのヒアリング MVTT 表敬訪問 |
| 3月6日 | 木 | | 事務所との打ち合わせ プロジェクトからのヒアリング |
| 3月7日 | 金 | | マラダナ校 C/P からのヒアリング プロジェクト専門家からのヒアリング 技術委員会 |
| 3月8日 | 土 | 移動 | 資料整理(技術移転状況、訓練評価結果) 資料整理(評価グリッド) |
| 3月9日 | 日 | コロンボ | |
| 3月10日 | 月 | | MVTT との打合せ TEDP プロジェクトからのヒアリング ERD 表敬訪問 プロジェクト打ち合わせ |
| 3月11日 | 火 | | TVET 関係機関(NITESL, NAITA)からの情報収集 DTET 打ち合わせ |
| 3月12日 | 水 | | GTZ、KOICA との協議 PDM レビューワークショップ ミニッツ案作成 |
| 3月13日 | 木 | | ミニッツ案に関する協議 |
| 3月14日 | 金 | | 合同調整委員会 ミニッツ署名式 |
| 3月15日 | 土 | | 移動 |

1.5 中間評価の方法

中間評価は、プロジェクトの実施期間の中間時点において、プロジェクトの実績と実施プロセスを把握し、評価5 項目の観点から評価を行ない、その結果、必要に応じて当初計画の見直しや運営体制の強化を図ることを目的として実施される。

本プロジェクトの中間評価においては、プロジェクトが開始される前に作成され、JICA とスリランカ政府間で合意された2005年6月24日付の討議議事録(Record of Discussion: R/D)に添付された、プロジェクトの運営管理のためのPDM と活動計画(Activity Plan)を本プロジェクトの基本的な計画とみなし、実績について検証する。

しかしながら、これらのPDM と活動計画は、開始当初のものであり、具体的な活動は関係者の議論の結

果、運営委員会 (Steering Committee Meeting : SCM) 等で承認を受け、決定された経緯がある。

したがって、アウトプット、プロジェクト目標、上位目標の指標の中には現状において妥当であるとは必ずしもいえないものがあった。それらの事項についても今次の中間評価で確認すること自体も評価内容に含め、とりまとめた。

JICA 及びスリランカ政府双方による協議を通じて、評価5 項目の観点(表1 1 参照)から、プロジェクトの進捗状況について評価を行なった。調査にあたっては、今回は中間評価であるので、5 項目の中でも妥当性と効率性について分析の焦点をおき、他の項目は現時点での達成度に基づいた見解と見通しを記述した。

表1 1 評価5 項目

| 評価項目 | 評価の視点 |
|---------------------------|---|
| 妥当性 (Relevance) | プロジェクト目標及び上位目標とプロジェクトに関連する政策との整合性、受益者のニーズとの合致度、プロジェクトの計画の論理的整合性を検証する。 |
| 有効性 (Effectiveness) | プロジェクト目標の達成の見込みとそれに対する成果の貢献度を分析する。 |
| 効率性 (Efficiency) | 投入が成果にどのようにどれだけ転換されたか、投入された資源の質、量、手段、方法、時期の適切度の観点からプロジェクトの実施過程における効率性を検証する。 |
| インパクト (Impact) | プロジェクトによって生じた正負の影響を検証する。 |
| 自立発展性 (Sustainability) | プロジェクト終了後もプロジェクト実施による便益が持続されるか否かの見通しをマネージメント的、財務的、組織的観点から検証する。 |

第2章 プロジェクトの実績と現状

2-1 投入実績

(1) スリランカ側の投入

ア. カウンターパートの配置

プロジェクト当初、DTET の局長が空席となっており配置が滞っていたことから、プロジェクト・ディレクターの配置はプロジェクト開始後半年遅れとなった。SLCoT からは校長がプロジェクト・マネージャーとして配置されている。一方、モデルコースの教員となるカウンターパートの配置には、プロジェクト開始以来現在まで遅れが生じている。各モデルコースに6名ずつの教員を配置する計画であるが、要件を満たすカウンターパートが揃わず、カウンターパート候補の継続的な面接の実施によって、徐々に人数を揃えてきた。既存のDTET の職員の中から適切な人材を探しているが、候補者の多くは年齢が高い、学位を持っていないなど、プロジェクトが要求している資格要件を満たす人材を見つけることが困難となっている。中間評価の時点でもまだ金属加工コースの教員が1名不足している状態であり、面接を3月末にも実施する予定である。また、教員のほかにはコーディネーターと秘書が1名ずつ配置されている。カウンターパート配置の詳細は添付資料4に掲載している。

イ. プロジェクトに必要な施設・インフラ

プロジェクト実施に必要な土地、建物、施設はDTET とSLCoT から提供されている。3つのモデルコースの教室や実習室の一部については改修の必要があった。工事を実施する業者側による遅れや調達プロセスの遅れから、一部モデルコースに開始後にもまだ工事が行われているなどの不都合が生じたが、中間評価時点では改築工事の大部分が終了している。しかし、現状ではCAD教室の家具の導入が遅れており、対応が急がれている。

ウ. プロジェクト経費

DTET は2007年11月までに合計2,700万スリランカルピーを支出しており、主に実習室の改修やその他の訓練施設の整備、モデルコースの教室の家具や訓練用備品、技術競技会、その他運営経費として利用されている。プロジェクト経費の詳細は添付資料5に掲載している。

(2) 日本側の投入

ア. 専門家派遣

添付資料6に詳細を掲載しているように、チーフ・アドバイザー、調整員、金属加工、情報通信、メカトロニクスの長期専門家が計画通り派遣された。その内、メカトロニクスの長期専門家が派遣期間を短縮したが、その後は複数の短期専門家を派遣することで補填された。金属加工と情報通信の長期専門家が計画通り派遣期間を満了した後は、短期専門家による技術移転が行われている。

イ. 資機材の供与

添付資料7で示すように、合計1億8,000万スリランカルピーが資機材の調達のために支出されている。機材調達はプロジェクト開始年から3期の間に実施する計画だったが、資金面や運営面での制約から5期に渡って実施されている。中間評価時点では第1期から第3期までの調達が実施されており、添付資料8のり

ストのとおり機材が導入されている。

ウ. カウンターパートの本邦研修

合計 22 人のプロジェクトのカウンターパートが、プロジェクトが提供する研修を受けている。その内、12 名は日本での個別研修、6 名は日本での集団研修への参加である。さらに 4 名がシンガポールやマレーシアなど第三国で実施された研修に参加している。教員が受講した研修の多くは、それぞれの分野の学位取得の際に単位交換などが可能となる見込みである。研修実績は添付資料 9 に掲載している。

エ. 在外事業強化費

添付資料 10 に詳細を示すように、在外事業強化費は 2007 年末までに合計 1,600 万スリランカルピーが拠出されており、主に教材の開発や技術競技会の開催などにも利用されている。

2-2 成果達成状況

成果 1

マラダナ校で NVQ レベル 5・6 の訓練コースが情報通信、メカトロ、金属加工の 3 分野で導入・運営される。

指標:

- 1-1. モデルコースのシラバス、教材が適切なタイミングで開発される。
- 1-2. 機材が適切なタイミングで購入・設置される。
- 1-3. 訓練インフラが適切なタイミングで整備される。
- 1-4. 教員がモデルコースで教えるための訓練を受ける。
- 1-5. 週間・月間訓練計画が適切なタイミングでそれぞれのコースで作成される。
- 1-6. 第 1 期の生徒の 80% 以上がコースを終了し、ディプロマを取得する。
- 1-7. モニタリングが定期的実施され、教訓がコースに反映され、マニュアルに記載される。

日本側・スリランカ側双方の努力により、プロジェクトは 2007 年 1 月には金属加工と情報通信の第 1 期、2008 年 1 月にはメカトロニクスの第 1 期と金属加工・情報通信の第 2 期のモデルコースを開始することに成功した。同時に、専門家からの技術移転やカウンターパートの本邦研修が進められ、訓練計画の作成や教材開発が継続して行われている。

指標 1-1 について、本プロジェクトは開始時点で 3 モデルコースそれぞれのカリキュラムが承認を受けているという前提条件が設定されていたが、実際は開始時にカリキュラムがまだ開発されていなかった。よって、プロジェクトはカリキュラム・アウトラインの作成プロセスのフォローを活動に加える必要が生じた。この作成プロセスは、まず NAITA が技能基準を作成の後、NITESL がカリキュラム・アウトラインを作成し、最終的に TVEC が承認するという、事実上プロジェクトの範疇外の機関が実施する流れとなっている。カリキュラム・アウトラインの最終案はプロジェクト開始から 1 年遅れて準備され、プロジェクトはそれに沿ったシラバスや教材の開発を開始しながらもモデルコースの開始に漕ぎ着けた。しかしながら、評価プロセスの遅れから、カリキュラム・アウトラインは未だに TVEC の認証を受けていない。中間評価時に TVEC に確認したところ、今後 1 ヶ月以内には認証されるとのことであった。

指標 1-2 と 1-3 については、訓練インフラの整備は主にスリランカ側、機材の調達には日本側が担当した。前章で述べたように、改築や機材調達の双方に遅れが生じたが、日本側・スリランカ側ともにモデルコースの実施上での不都合が発生しないように努めている。

指標 1-4 については、モデルコースの教員は専門家からの技術移転や日本や第三国での研修によって NVQ レベル 5・6 の教員としての訓練を受けている。

指標 1-5 については、必要な訓練計画はそれぞれのコースで専門家の指導の下、カウンターパートによって作成されている。

指標 1-6 については、それぞれのモデルコースは 2 年間で完了する計画であり、全てのコースはまだ実施中である。NVQ レベル 6 の資格は、コースが終了し企業内訓練が終了すると与えられる予定である。

指標 1-7 については、モデルコースのモニタリングは年 3 回実施される技術委員会の会議で行われ、産業界からの提言はコースの改善に活用されている。しかし、そのような改善についての記録は制度的に確立していない状態である。

成果 2

DTET が産業界のニーズを訓練に反映させる体制を確立する。

指標:

- 2-1. 技術委員会がモデルコース毎に設立され、年に 3 回の会合が持たれる。
- 2-2. 産業界がモデル訓練コースを訪問し、モニタリング・評価が年 3 回実施される。
- 2-3. 産業界からのコースを改善するための提言がなされる。
- 2-4. 産業界のニーズ調査が継続的に実施される。
- 2-5. 教員の産業界への配置が定期的実施される。
- 2-6. それぞれのコースで年間 XXX 週以上の企業内訓練が実施される。
- 2-7. 短期コースが定期的に開催される。

技術標準やカリキュラム・アウトラインの作成や認証は NAITA、NITESL、TVEC が実施する一方、DTET はそれらの規則に基づいて産業界から要求される人材を育成する役割を持っている。そのために、プロジェクトでは産業界の参加による技術委員会を設立し、中間評価時点までに 5 回の会合を持っている。産業界からの訓練に対する要求が会合で議論され、訓練コースの改善に反映されている。

指標 2-1 から 2-3 について、技術委員会はモデルコース毎に設置され、2006 年 5 月に初めての会合が実施された。その後、添付資料 11 に示すように現在までに 5 回の会合が開催された。また委員会のメンバー企業はモデルコースの実習室を訪問し、専門家やカウンターパートはメンバー企業を訪問している。このような会議や訪問はまだ定期的な開催とはなっていないが、プロジェクトはこれらの活動をプロジェクト期間の後半にも強化し、SLCoT と産業界の連携に努める計画である。

指標 2-4 から 2-6 については、関連する活動はまだ実施されておらず、プロジェクト期間の後半に計画されている。企業内訓練の制度については、職業訓練の訓練生のための企業内訓練を担当する NAITA や TVET セクターの方針策定を担当する TVEC がまだ詳細を決定しておらず、プロジェクトの活動にも遅れを生じさせている。制度が決定されるまでは指標 2-6 の数値目標も決定することができない状態であった。

指標 2-7 については、産業界の在職者向け短期コースは情報通信の分野で 17 回実施され、213 人が参

加した。またメカトロニクスでは 1 回実施され、15 人が参加した。その他の科目についても産業界からの要請があり、SLCoT の担当部署が実施に努めている。

成果 3

DTET の訓練コース運営能力が向上する。

指標:

- 3-1-1. 90%以上の学生がマラダナ校で利用可能なキャリア・ガイダンスや労働市場情報を活用する。
- 3-1-2. 個別カウンセリングが毎月 5 人以上の生徒に実施される。
- 3-1-3. コースに関連した雇用についてコースの応募者に適切な理解を与えるためのキャリア・ガイダンスセミナーが開催される。
- 3-1-4. キャリア・ガイダンスセミナーが CoT の学生向けに年 11 回実施される。
- 3-2. 学生の選抜に適性検査が導入される。
- 3-3. 新しい科目のパートタイムコースの開催準備が整う。
- 3-4-1. 質と訓練レベルの妥当性を保証するための定期的な調査を実施する体制が確立する。
- 3-4-2. 質と訓練レベルを改善するために調査の結果が効果的に活用される。
- 3-5. 全ての CoT/TC で導入されたハンドブック、映像教材、教本などが効果的に活用され、評価される。
- 3-6. 国家技能競技大会が継続的に開催され、イベントの資金的な持続性が確保されるために予算的が配分される。

DTET の運営管理能力を強化するための現時点までの主な活動は、国家技能競技大会の活動である。毎年多くの TC の参加により開催されており、効果的な PR 活動にもなっている。キャリア・ガイダンスに関しては、プロジェクトはキャリア・ガイダンス・カウンセリングセンターに必要な機材や助言を提供している。

キャリア・ガイダンス関連のプロジェクト活動を計画するために、教員や学生に対する調査が実施され、結果が分析された。プロジェクトは調査結果に基づき今後の活動を計画する予定となっている。指標 3-1-1、3-1-2 については、今後 CoT の学生に限定したキャリア・ガイダンスや労働市場情報の使用について調査が実施される計画である。指標 3-1-3 については、モデルコースの応募者へのキャリア・ガイダンスが募集期間に実施されている。指標 3-1-4 については、学生へのキャリア・ガイダンスセミナーは年 11 回実施されている。

指標 3-2 については、適性試験は既存のテストを元に独自で作成し、第 1 期・第 2 期のモデルコースの学生の選抜に利用された。

指標 3-3 については、プロジェクトはモデルコースのフルタイムコースを確立した後に 3 つのモデルコースのパートタイムコースの実施を計画している。

指標 3-4-1、3-4-2 については、質と訓練レベルの妥当性を保証するための定期的な調査やその他関連する活動はプロジェクトの後半に実施する計画となっている。

指標 3-5 については、添付資料 12 で示す計画された教材開発はほぼ終了しており、一部のタミル語版の作成を残すのみとなっている。教材開発のさらなるニーズを調査するために、プロジェクトは各 TC の活動を確認する調査を実施した。その結果に基づき、プロジェクトは既存のモデルコースよりも下のレベルのコースを強化に貢献するために、今後新規に 2 科目(アルミニウム製造及び工業製図)の教材を作成することにした。開発された教材は他の TC へ今後配布される予定である。

最後に指標 3-6 については、国家技能競技大会は 2006 年 2007 年の 1 月に開催されたが、2008 年は TC の授業開始月の変更があったため延期されている。TC のコースの授業開始が 1 月から 7 月に変更され、1 月の時点では TC の学生は技能競技大会に参加する十分な知識や技術を得ていない状態となったためである。よって、プロジェクトは 2008 年度については 7 月に実施することを計画している。プロジェクトは今まではこの大会の開催費の大部分を負担してきたが、プロジェクトの後半からは技能競技大会の持続性を考慮し、DTET が資金面でも運営面でもイニシアティブを発揮していくことが期待されている。

成果 4

マラダナ校において実施された NVQ レベル 5・6 の訓練コース導入と運営に関するノウハウが他の TC/CoT で共有される。

指標:

- 4-1. マラダナ校における新規 NVQ レベル 5・6 の訓練コースの計画が作成され、開始準備が整う。
- 4-2-1. NVQ レベル 5・6 の設立マニュアルが開発され、他の TC/CoT で利用される。
- 4-2-2. 各 TC/CoT が技術委員会・諮問委員会を設立する。
- 4-2-3. 各 TC/CoT が労働市場情報を収集し更新するシステムを導入する。
- 4-2-4. 各 TC/CoT が適性テストを導入する。
- 4-2-5. パートタイムコース設立のマニュアルが文書化される。
- 4-2-6. コースの妥当性を保証するための調査が他の TC/CoT で実施される。
- 4-2-7. プロジェクトの各カウンターパートがセミナーやワークショップを実施する。
- 4-2-8. 45 人以上の教員が短期コースに参加し完了する。

成果 4 については、関連する活動はプロジェクトの後半に計画されている。中間評価時点までにそれぞれの 3 つのモデルコースについての他の TC の指導員向け短期コースは実施されている。

指標 4-1 については、アジア開発銀行 (ADB) が支援する技術教育開発プロジェクト (Technical Education Development Project, TEDP) が SLCoT で新規の 3 つの NVQ レベル 5・6 のコース (ジュエリーデザイン・製造、バイオ医療工学、電子画像診断・印刷) の設立を計画している。プロジェクトはこれらの新規コースが TEDP によって実施されると理解しているが、コース運営において今まで蓄積されたノウハウは、TEDP の新規 3 コースでも活用することができる。

指標 4-2-1 から 4-2-6 については、DTET の各活動の担当課長は TEDP が実施している CoT 設立のための様々な委員会で、JSCoT で得たノウハウを紹介している。しかし、CoT はまだ設立されておらず、指標は達成されていない。プロジェクトを取り巻く状況の変化によって、これらの活動の妥当性はプロジェクト内で議論しているところであった。

指標 4-2-7、4-2-8 については、カウンターパートによる短期訓練コースはそれぞれのモデルコースで実施されており、TC の 69 人の指導員がコースに参加・完了している。

2-3 プロジェクト目標

マラダナ校において技術短大 (CoT) 設立に必要な中堅技術者育成のモデルコースを確立することを通じて、その監督機関である DTET が今後各週に技術短大を設立するのに必要な経営・技術能力を獲

得する。

指標：

1. モデルコースの生徒の 80%がコースを修了しディプロマを獲得する。
2. モデルコースの修了生の 90%が期待されるレベルの関連職種の職を得る。
3. モデルコースの応募者が年 10%増加する。
4. マラダナ校で開発されたマニュアルが他の CoT で活用される。
5. NVQ レベル 5・6 の新規カリキュラムが作成される。
6. NVQ レベル 5・6 で教える資格を持つ教員の数が増える。
7. NVQ レベル 5・6 のコース数が増える。
8. 9 州の各代表校から CoT 昇格計画立案が出る。

中間評価時点ではまだプロジェクト目標の達成度を予測するのは困難であるが、プロジェクトは既に 3 つのモデルコースを開始しており、順調に進展しているといえる。プロジェクトの後半では今までの活動をとおして蓄積されてきたノウハウを取りまとめ、DTET がそのノウハウを他の CoT の設立のために共有できるようにすることが求められている。

それぞれの指標の進捗を確認すると、モデルコースの第 1 期生がまだ修了していないことから、指標 1 と 2 の情報は入手不可能である。しかし、第 1 期生の 95%が 2 年目に継続しており、指標は達成されることが期待できる。キャリア・ガイダンス・カウンセリングセンターや DTET の各課の課長たちによると、モデルコースの修了生が妥当な職を得る見込みは十分にあるとのことである。

指標 3 については、添付資料 13 が示すように、情報通信の応募者は第 1 期の 86 人から第 2 期の 147 人へと増加したが、金属加工については 78 人から 52 人へと減少した。これは、NVQ レベル 4 または同等のコースの学年始まりの月が 2006 年以降 1 月から 7 月に変更されたためである。情報通信の場合、モデルコースの入学前に修了しておくべきコースが半年間で修了できるため影響は無かったが、金属加工は 1 年間のコースを修了しておかなくてはならないため、学年開始月の変更により前のコースから直接モデルコースに継続することを望む学生はモデルコースの募集時期にまだ前のコースを修了していないこととなった。DTET によると、学年開始月については現在試行錯誤をしており、今後また変更される可能性があるとのことである。前のコースとの調整次第では、このような不都合が発生しないようにプロジェクトも開始月を変更することを検討しており、この問題が解決されれば金属加工の応募者も増加することが期待されている。

指標 4 については、今までの経験に基づいたマニュアルの作成はプロジェクトの後半で実施することが計画されている。プロジェクトは経験の蓄積が重要であることは理解しているものの、具体的に何を書類に取りまとめるかを検討し、プロジェクト後半にその活動に努めることが必要である。

指標 5 から 8 については、前述のとおり TEDP が NVQ レベル 5・6 の新規コースを SLCOT で立ち上げることから、プロジェクトは同レベルの 5・6 の新規コースの立ち上げは行わないことで合意された。

2-4 上位目標

1. 産業界の労働力需要に見合った職業能力をもった人材が TC/CoT で育成される。
2. DTET がマラダナ校の経験を踏まえて、9 州に CoT を設立する。

指標:

1. TC/CoT の修了生の 70% が修了直後もしくはその後コースに関連した職を得る。
- 2-1. TC/CoT の応募者が年 2% 増加する。
- 2-2. 全てのコースが定員数を満たす十分な資格を持つ学生を獲得できる。
- 2-3. 中退・落第者の割合が現在の 20% から 10% に減少する。
3. DTET が年 1000 人の NVQ レベル 5・6 の技術者を輩出する。
4. それぞれの州に 9 つの CoT が設立される。

中間評価時点では、上位目標の達成度を予測するのは困難であるが、既に CoT に昇格したマラダナを含んだ CoT への昇格が決まっている全ての 9 つの TC が、NVQ レベル 5・6 のコースを設立するためのドナーの支援を受けている。規模の大きいものでは ADB の資金的支援を受けた TEDP が 2006 年から開始されている。TEDP の目的は 1) 6 つの CoT が技術教育を提供できるように強化すること、2) 市場に対応できる技術教育や職業訓練システムを支援する MVTT や関連機関を強化すること、3) 職業技術大学 (University of Vocational Technology, UNIVOTEC) を設立すること、の 3 つである。また GTZ や KOICA も CoT の設立支援するプロジェクトを行っている。現時点では SLCoT が NVQ レベル 5・6 のコースを提供する唯一の CoT だが、このような現状を考慮すると、スリランカの TVET セクターは、複数のドナーの支援を受けながら上位目標の達成に向けて進展しているといえる (各ドナー支援の内容については添付資料 14、TEDP の詳細については添付資料 15 を参照)。

2-5 プロジェクトの実施プロセス

(1) 他ドナーとの協調

上記のように、複数のドナーが NVQ レベル 5・6 のコース設立のために活動している。それぞれのプロジェクトの進捗についての情報交換を行うために、ドナー会議が開催されている。また、TEDP は各校共通の基準の作成に取り組んでおり、現状ではまだ検討中であることから、今後のプロジェクトのモデルコースへの影響が懸念される。そのため、ドナー会議では JS-CoT プロジェクトの既存のモデルコースに影響がないように配慮することを要請したり、解決すべき問題についての要求を行ったりしている。プロジェクトは TEDP の実施する会議にも参加し、情報の収集に努めている。GTZ からは生徒や教員の訓練において協力の要請があり、プロジェクトは必要な支援は行っていく予定である。

(2) プロジェクトのマネジメント体制

プロジェクトのモニタリングは JCC や運営会議などの定期会議を通じて行われている。運営会議では頻繁な議論が行われているが、日本側からは、DTET がより積極的にプロジェクトの議論に参加してくれればよりプロジェクトが潤滑に運営できるのではないかと、という意見が聞かれた。参加を改善するためには、それぞれの課長レベルのスタッフが積極的にそれぞれの活動に取り組むことが求められている。

意思決定のプロセスについては、NVQ レベル 5・6 の技術標準やカリキュラム・アウトラインなどの基礎的な枠

組みが設立されるまでに非常に時間がかかっている。関連機関の調整は必要不可欠であり、プロジェクトが期間内に目標を達成するためには、意思決定のプロセスを迅速化するための各関係機関の協力が必要となっている。

プロジェクト内のコミュニケーションについては、カウンターパートと日本人専門家の間のコミュニケーションには問題がないことが確認された。

(3) カウンターパートの適切性

カウンターパートの大部分はプロジェクトの活動に真剣に取り組んでおり、プロジェクトは高く評価している。資格については、TEDP 開始後 TVEC は NVQ レベル 5・6 の指導員の資格要件を設定し、同レベルの指導員は学位保持者でなくてはならないと定めた。プロジェクトのカウンターパートの中には学位を持っていない者もあり、プロジェクトは TVEC に彼らがパートタイムのコースで学位が取れるように要請している。また、彼らの経験を考慮して単位と交換する、プロジェクトが提供した技術移転の訓練が単位として認められるなど、配慮することを要請している。中間評価団が再確認したところ、TVEC はプロジェクトの指導員がパートタイムで学位を取得できることに合意した。

(4) 関係者のプロジェクトに対する意識

学生からは、プロジェクトは徐々に認識されてきている。TVET セクターの関連機関は、SLCoT を CoT のモデルとして高く評価している。技術委員会のメンバー企業数社とのインタビューでは、一般的にプロジェクトのモデルコースは徐々に知られてきているものの、まだ十分ではないことがわかった。質の高い修了生を産業界に送り出すことや、技能競技会のような機会を利用して PR 活動を行うことで、モデルコースの知名度は改善されていくことが期待される。

第3章 評価5項目

3-1 妥当性

プロジェクトはスリランカの産業界のニーズや国家政策、日本の援助政策の面から妥当性が高い。事前調査時から状況が変わり、TEDP が MVTT 内に事務所を構えて直接的に 5 つの CoT 設立への支援を実施しているが、全 CoT の監督機関としての DTET の役割には変わりがないことが確認され、プロジェクトのアプローチについても現時点では妥当であると言える。

(1) スリランカの TVET セクターのニーズとの妥当性

プロジェクトは、特に若者の失業率が高い状況やスリランカの産業界の生産ラインを管理できる中級技術者に対するニーズ、スリランカの TVET セクターは産業界のニーズに対応する技術者を輩出するには質や技術レベルが低いこと、などといったスリランカ社会の背景に基づいて形成された。これらの状況は現時点でも大きな変化はないことが確認され、現状でもプロジェクトに対するニーズは高い。

(2) スリランカ国家政策との妥当性

スリランカ政府は、2004年に策定した経済政策(Creating out future, building our nation)において、TVETの体制の強化の優先度は高いとしている。その政策の下 MVTT(当時の MSDVTE)は、中級技術者を育成するディプロマコースを設立するために、9つの TC を CoT に昇格させて TVET の機能を合理化する戦略を立てた。また、新規に作成された 2006 年から 2016 年を対象とした政策文書(Mahinda Chintana: Vision for a New Sri Lanka, A Ten Year Horizon Development Framework 2006 - 2016)においても、TVET セクターの政策に変更はない。よって、政府の政策面ではプロジェクト開始後も変更はなく、プロジェクトは現時点でも妥当であることが確認できた。

(3) 日本の援助政策との妥当性

対スリランカの JICA 国別事業実施計画(平成 17 年 10 月改訂)を確認すると、TVET セクターへの支援は産業人材育成プログラムに位置づけられ、「技術教育訓練機関の機能強化に対する協力を第一に取り組む」としている。よって援助政策との妥当性は引き続き高い。

(4) プロジェクトのアプローチの妥当性

プロジェクトは NVQ レベル 5・6 のモデルコースを SLCoT に立ち上げることを通して DTET の能力を強化するというアプローチを取っている。蓄積されたノウハウは DTET がその他の CoT を設立・運営するために活用されることが期待されている。プロジェクトがこのように DTET の能力強化に焦点を当てている一方、プロジェクト開始後に 5 つの CoT を設立する TEDP が始まり、MVTT 直下で TVEC 等の TVET 関連機関と直接協議しながら活動を進めている。しかし、今後も DTET が全ての CoT の監督機関であることに変わりはないことが MVTT から確認できた。よって、DTET の技術力や運営能力を改善することは引き続き重要であり、プロジェクトのアプローチは妥当であるといえる。

3-2 有効性

プロジェクトはSLCoTでモデルコースを立ち上げることにより、既にCoT設立や産業界との連携のノウハウを蓄積しつつある。DTETはTEDPが主催するCoT設立のためのテーマ別の委員会においてもプロジェクトの経験を発表するなど、既にプロジェクトで蓄積されたノウハウの共有が始まっている。プロジェクト後半でノウハウの普及のために情報を整備していくことで、プロジェクトの成果は有効にプロジェクト目標の達成へと繋がるだろう。

(1) プロジェクト目標の達成の見込み

投入やCoTに関する規則や規準の整備が遅れているにもかかわらず、プロジェクトのメンバーの努力により、プロジェクトは2007年にモデル2コースを開始し、2008年には3つ目のモデルコースの開始に至った。プロジェクト目標を達成するための後半の課題としては、モデルコースの運営や産業界との連携、キャリア・ガイダンス、テキスト開発や技能競技会といった前半の活動を継続しながら、さらに蓄積されたノウハウを普及のために整備することが求められている。後半にこれらの活動に取り組むことでプロジェクト目標を達成することが可能となる。

(2) プロジェクト目標達成の促進・阻害要因

上述のとおり、日本人専門家やスリランカ側カウンターパートは遅れの克服に努めており、そのようなプロジェクトへの積極的な姿勢はプロジェクト目標の達成に向けて貢献していると評価できる。

プロジェクト目標の達成を阻害しかねない要因としては、全CoTに関する共通の基本的な枠組みがまだ完全に設立されていないことが挙げられる。プロジェクトは既にモデルコースを開始しているが、TEDPがCoT共通の基準の作成に取り組んでおり、新たに設定された基準がモデルコースに影響を与えることが懸念される。プロジェクトはTEDPやTVEC、MVTTに対して新たな基準が既存のコースに影響を与えないよう要請している。その他の阻害要因としては、TVETセクターの関連機関は複数あり、関係機関での意思決定や実施に時間がかかることが挙げられる。企業内訓練の制度が決定されていないのもそのような決定の遅れの一つである。プロジェクトは各関連機関に働きかけ、必要な意思決定は早急に行われるように要請している。

(3) 外部要因の影響

プロジェクト目標達成に向けた外部要因には以下の3点が挙げられている。

- スリランカ政府の人材育成に関する方針と優先度が変化しない。
- MVTTのCoT設立に関する政策が変化しない。
- 訓練を受けた職員がTC/CoTに定着する。

これらの外部要因は現時点でも正しいことが確認された。初めの2つの外部要因については、MVTTによると政策にはそれぞれ変更はないとのことであった。3つ目の外部要因については、現在までに離職したカウンターパートはいない。

3-3 効率性

既述のとおり、投入に遅れが生じたことはプロジェクトの進捗にも影響を及ぼした。しかし、その遅れにもかかわらず、プロジェクトはモデルコースの立ち上げに成功している。一部のコースには他のコースと比べると

遅れが生じているものの、実施された投入は効率的に成果に結びついていると言える。

(1) 成果の達成度

「2-2 成果達成状況」で述べたように、遅れがあったにもかかわらず、成果1は指標から確認すると順調に進捗していると言える。しかしながら、3つのモデルコースの進展状況は異なっており、遅れのあるコースは後半で適切な訓練が提供できるように努める必要がある。

モデルコースの修了生に与えられる資格については、モデルコース修了後にNAITAの制度において6ヶ月の企業内訓練を経てNVQレベル6の資格が与えられることが中間評価時点でMVTTやTVECから確認できた。

成果2、3、4については、記述のとおりプロジェクトの後半に予定している活動があるため、今後計画されている活動に取り組むことで成果が達成できる。

(2) 成果達成の促進・阻害要因

プロジェクトのカウンターパートは個別研修だけではなく集団研修や第三国研修に参加するなど、プロジェクトの枠組みの外の研修機会も得ている。その結果、合計22人ものカウンターパートが研修に参加しており、成果の達成を促進している。また、プロジェクトはスリランカの日系企業からのサポートを受けており、最新の技術動向やスリランカの産業情報などを獲得することができている。

日本側・スリランカ側双方の投入遅れやカリキュラムの承認の遅れは、特に成果1の進捗の主要な阻害要因となっている。NVQレベル5・6のコースに関連する共通の基準や規則がまだ整っていないことも、プロジェクトの活動に影響を及ぼしている。また、SLCoTの教員が不足していることによって、プロジェクトのカウンターパートである教員が別のレベルのコースでも指導することを求められるなど、プロジェクトにも影響が出ている。プロジェクトはMVTTにSLCoTの教員の増員を要請している。

(3) 投入の質、量、タイミング

「2-1 投入実績」で述べたように、人材・資機材・訓練施設などの投入のタイミングには遅れがあり、そのため量についてもそれぞれのタイミングで十分ではなかったが、その一方で上述のように成果が進捗しており、実施された投入は効率的に成果の産出に転換されていると言える。

(4) 外部要因の影響

成果達成に向けた外部要因としては以下の3点が設定されている。

- モデルコースの機材が順調に購入される。
- プロジェクトに必要な設備が遅滞なく提供される。
- プロジェクトのカウンターパートがTC/CoTに定着する。

既述のとおり、機材の調達と訓練施設の改築には遅れが生じ、モデルコースにも影響を及ぼしたが、プロジェクトは影響を最小限にするよう努めてモデルコースの実施を継続している。また、現時点ではカウンターパートの離職は発生していない。

3-4 インパクト

プロジェクトがモデルコースの立ち上げに成功していることに加え、現状では他ドナーが全 TC/CoT の設立を支援していることから、各州の 9 つの CoT が設立される見込みは高い。また、プロジェクトは産業界の連携に力を入れていることから、今後 DTET に産業界との連携のノウハウが十分蓄積され、他の CoT で活用することが可能となれば、CoT は産業界のニーズに応える中堅技術者を輩出していくことが可能となるだろう。

(1) 上位目標の達成の見込み

プロジェクトは 3 つのモデルコースを開始・進展させており、活動のノウハウを蓄積しつつある。プロジェクトがプロジェクト目標の達成に向けて後半の課題に取り組み、さらに TEDP や他のドナーの NVQ レベル 5・6 コースの設立への支援が継続すれば、将来的には 9 つの CoT が中堅技術者育成のコースを提供できるようになり、上位目標を達成することが期待できる。

(2) その他のインパクト

NVQ レベル 5・6 のコースを新規に立ち上げることは、今までスリランカで存在しなかった高いレベルの技術を習得することを可能にし、それぞれの科目の従事者にとってはより良い職を得る機会を提供することが期待できる。

プロジェクトの負のインパクトやその見込みは現時点では確認されなかった。

(3) 外部要因の影響

以下の 3 つが上位目標達成に向けた外部要因として挙げられている。

- 経済発展と中堅技術者の労働需要が継続する。
- スリランカ政府の人材育成に関する方針と優先度が変化しない。
- MVTT の CoT 設立に関する方針が変化しない。

中間評価時はこれらの外部要因について、変更はないことが確認できた。政府の方針については MVTT によると近い将来に変更が生じる予定はないとのことであった。

3-5 自立発展性

政策・財政面では CoT 設立は国家の優先政策として位置づけられ、そのため将来的な予算増額にも対応していくとの政府の見通しであるが、CoT 設立・運営のための制度面・人材面の整備はまだ整っておらず、政府や TEDP など各関係機関が整備に取り組んでいるところである。技術面ではプロジェクト後半に長期的視野で技術の定着が可能となるような仕組みづくりを含めて技術移転を行っていくことが望まれる。

(1) 政策・制度面

TVET セクターへの国家政策には変更がないものの、CoT の設立や運営に関する規則や基準はまだ十分に整っていない。TEDP が関連機関と共に全 CoT 共通のルール作りに取り組んでいる。

(2) 組織・人材面

DTET については、他の CoT を設立していくに十分な技術者・運営管理者ともに人材を有していないことは、共通の認識である。MVTT は財務省の人事担当部署に人材の追加配置を要請している。また、DTET では課長クラスの職員が頻繁に入れ替わることから、プロジェクト終了後の自立発展性の制約となっている。

SLCoT についても運営管理の職員・教員ともに不足しており、MVTT に追加配置を要請している。

現在、NVQ レベル 5・6 を教える教員の給与は下のレベルのコースの教員と同じ給与で特にインセンティブは検討されていない。日本側からは、訓練を受けた職員の今後の離職を防ぐためには、NVQ レベル 5・6 の教員には何らかのインセンティブを与えるような制度の必要性が懸念されている。MVTT によると、外国での訓練やそれと同様の訓練を受けた職員は 3 年間離職できないという規則があり、さらに SLCoT の校長によると訓練を受けた職員の異動は今後もないとのことである。しかし、プロジェクトは MVTT に問題が発生する前に何らかのインセンティブを検討することを要請している。

(3) 財政面

プロジェクトの 3 つのモデルコース以外に、SLCoT では TEDP の支援で NVQ レベル 5・6 の新規 3 コースを設立する計画である。さらに TEDP は他の 5 つの CoT の設立も計画しており、GTZ や KOICA も 3 つの CoT を支援している。それぞれのドナーが 9 つ全部の CoT の設立を資金的にも支援しているものの、将来的に 9 つの CoT の運営費用は政府予算に依存することとなる。MVTT によると、CoT の設立は政府の優先的な政策の一つであり、運営予算は確保される見込みとのことである。さらに、TEDP はパフォーマンスに基づいた予算制度の研修を提供する計画があり、予算策定の能力の改善措置が取られる予定である。

一方、政府は各々の CoT が収入を上げ自らのニーズに基づいて支出することを許可することを決定している。SLCoT では既に短期コースを企業の在職者向けに提供することで収入を上げている。この制度は CoT が自らのコースの運営のためにいくらかの追加的な資金を有することを可能にし、それらの資金を政府から十分な資金が配置されていなかった分野の活動で活用することができるようになる。

(4) 技術面

本邦研修やその他の研修で得た知識や技術を他の教員と共有するために、研修から戻ったカウンターパートの教員は研修内容に関するプレゼンテーションを行っている。しかし、訓練で利用した教材の共有は行われておらず、教員の間で共有して活用することが望まれる。

機材の維持管理については、それぞれの教員が行っている。維持管理の記録はあるが、規則的なメンテナンスは行われていない。

プロジェクトによって移転された技術を維持するための対策については、プロジェクトは後半で蓄積された技術やノウハウを整備する予定である。プロジェクトによって行われた活動の多くは書面化され、ノウハウが SLCoT や DTET に定着し他の CoT で活用される計画である。

第4章 PDM の改定

中間評価調査において、プロジェクトを取り巻く現状に合わせた後半の活動の見直しについて議論が行われ、PDM についても見直しを行った。改定後のPDM(バージョン 4)は添付資料 2 で示したとおりである。プロジェクト要約の部分の主な改定ポイントと改定の理由を以下に述べる。その他の詳細にわたる改定内容については添付資料 14 を参照されたい。

| | | 改定前 | 改定後 | 改定の理由 |
|---|--------|---|--|---|
| 1 | 全体 | マラダナ校 | SLCoT | マラダナ校は通称であり、正式には Sri Lanka College of Technology (SLCoT) である。 |
| 2 | 成果 3 | DTET の訓練コース運営能力が向上する。 | DTET の NVQ レベル 5・6 の訓練コース運営、キャリア・ガイダンスの実施、教材開発、技能競技会の実施の能力が向上する。 | 成果 3 の活動を現状に合わせて整理したことに伴い、成果 3 で求められる DTET の能力向上の内容を明確化した。 |
| 3 | 成果 4 | マラダナ校において実施された NVQ レベル 5・6 の訓練コース導入と運営に関するノウハウが、他の TC/CoT で共有される。 | 他の TC/CoT でノウハウが共有されるために、NVQ レベル 5・6 の訓練コースの実施、産業連携、キャリア・ガイダンス、技能競技会のノウハウが SLCoT でのモデル 3 コースの設立を通してそれらのノウハウが DTET に蓄積される。 | SLCoT は CoT の 1 つであり、ノウハウ普及のためには DTET にノウハウが蓄積される必要があることが意識され、またノウハウの内容が明確化された。 |
| 4 | 活動 1-7 | コースを実施する。 | フルタイム、パートタイムのコースを実施する。 | パートタイムコースの実施は成果 3 の活動に入っていたが、成果 1 の活動に関連性が高いため、成果 1 に入れたほうが明確であると判断された。 |
| 5 | 活動 2-1 | CoT と産業界の協力的な関係を確立するために、機能的な技術委員会をコース毎に設立する。 | CoT と産業界の協力的な関係を確立するために、機能的な技術委員会をコース毎に設立し、以下の活動を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 産業界による 3 モデルコース訪問を実施し、モデルコースの評価を行う。 産業界からの提言をモデルコースに反映させる。 産業界のニーズ調査を実施する。 | 指標に設定されている内容が活動に記載されていなかったため、活動を明記した。 |
| 6 | 活動 3-1 | DTET の効果的なキャリア・ガイダンスとカウンセリングを実施する能力を高めるために、以下の活動を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> マラダナ校のキャリア・ガイダンスの現状について基礎調査を行う。 マラダナ校で学生のた | DTET の効果的なキャリア・ガイダンスとカウンセリングを実施する能力を高めるために、以下の活動を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> SLCoT のキャリア・ガイダンスとカウンセリングを改善するための調査を実施する。 | 活動内容を現状に合わせて改定した。 |

| | | | | |
|----|--------|---|---|--|
| | | <p>めの労働市場の情報を収集し更新するシステムを導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> マラダナ校のキャリア・ガイダンス担当職員に効果的かつ継続的なキャリア・ガイダンスとカウンセリングの実施、産業界とのコミュニケーションなどに関するアドバイスを提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> マラダナ校の学生のための労働市場の情報を収集し更新するシステムを改善する。 マラダナ校のキャリア・ガイダンス担当職員に効果的かつ継続的なキャリア・ガイダンスとカウンセリングの実施、産業界とのコミュニケーションなどに関するアドバイスを提供する。 学生の就職をサポートする。 | |
| 7 | 活動 3-2 | マラダナ校で適性試験を導入し、学生選抜基準を合理化する。 | 削除した。 | 選抜基準や適性試験については、TEDP が全 CoT 共通のものを作成する予定であり、作成が完了した暁には SLCoT もルールに従うことが求められるため、プロジェクトではこれに関する更なる活動は必要ないと判断した。 |
| 8 | 活動 3-3 | NVQ レベル 4 まで修了している在職者向けのパートタイムのディプロマコースの導入を支援する。 | 成果 1 の活動に移動した。 | パートタイムのコースもモデルコース設立の一部として成果 1 の活動に含められた。 |
| 9 | 活動 3-5 | 以下を含む研修教材の改善をする。 <ul style="list-style-type: none"> 生徒用ハンドブック AV 教材 教員用教本 | 教材を開発・改善する。 | 実際の活動では教材の種類を限定していないため、現状のニーズに合わせて変更した。 |
| 10 | 活動 4-1 | DTET の主導により、新規の NVQ レベル 5・6 のコースをマラダナ校に設立することを支援する。 | 削除した。 | TEDP が新規の 3 コースを SLCoT に設立するため、この活動はプロジェクトからは削除した。 |
| 11 | 活動 4-2 | 以下の改良された運営スキルを他の TC/CoT に普及する。 <ul style="list-style-type: none"> NVQ レベル 5・6 の訓練コースの形成 産業界との連携 キャリア・ガイダンス及びカウンセリング 選考基準 パートタイムの NVQ レベル 5・6 コースの形成 コースの妥当性を確保するための調査 | 以下の改良された運営スキルをマニュアルや記録物の提供や訓練の実施を通して他の TC/CoT に普及する。 <ul style="list-style-type: none"> NVQ レベル 5・6 の訓練コースの実施 産業界との連携 キャリア・ガイダンス及びカウンセリング 就職のサポート パートタイムの NVQ レベル 5・6 コースや短期コースの実施 コースの妥当性を確保するための調査・研究 | 普及のためには実際どんな活動をするのかを明確にすると共に、現状に合わせて普及すべき内容の項目を整理した。 |
| 12 | 活動 4-3 | | 他の TC/CoT の校長や職員に対し、DTET が提供するノウハウの活用状況の調査を行う。 | プロジェクト目標の指標として先調査の結果が追加されたため、調査を活動に追加した。 |

第5章 結論

プロジェクトは投入やカリキュラム・アウトラインの遅れや CoT 関連の規定の未整備にもかかわらず、前半で3つのモデルコースを開始することに成功した。SLCoT は CoT のモデルとして認識され、関係者に高く評価されている。プロジェクトの後半では初の NVQ レベル6の資格保持者を輩出するために、またプロジェクト活動をとおして得られた CoT 設立のノウハウを蓄積するために、さらに活動に努めていくことが必要である。日本人専門家の支援を得ながら、DTET や SLCoT がプロジェクトに積極的に取り組んでいくことで、プロジェクト終了時にはプロジェクト目標が達成されるであろう。

第6章 提言

プロジェクトの後半の活動のスムーズな実施を促進するために、中間評価団は以下を提言した。

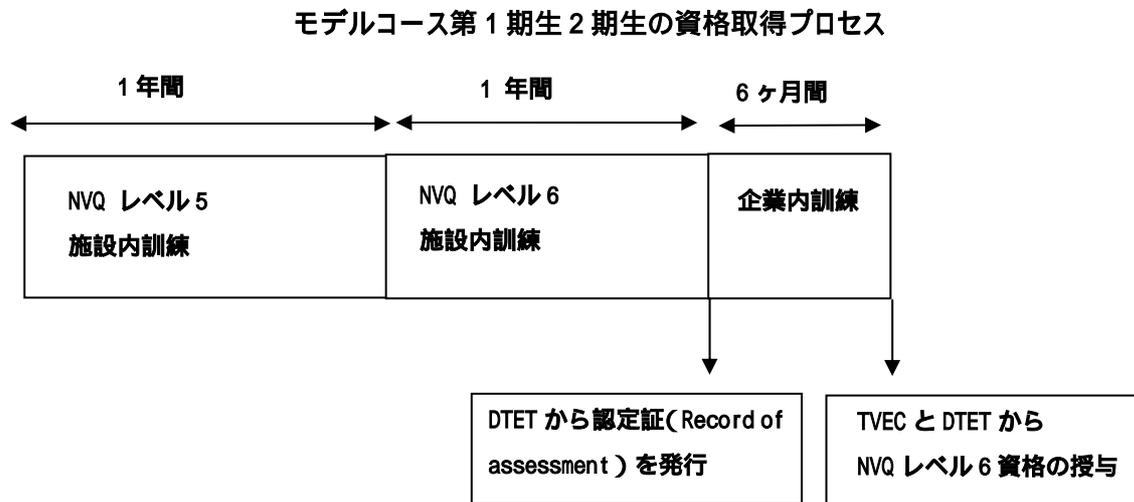
(1) ノウハウの蓄積と普及

プロジェクトの実施を通して蓄積されたノウハウの普及について、以下を提言する。

- プロジェクトは、現在実施されている活動に追加して、蓄積されたノウハウの文書化をプロジェクトの後半の主要な活動とする。
- DTET もしくは SLCot からコース運営のノウハウの文書化の担当者を任命する。
- それぞれのプロジェクトの活動におけるノウハウの文書化は DTET が中心となって実施する。
- DTET の課長レベルの職員の退職による異動が多いため、プロジェクトへの積極的な参加を得にくいという指摘がある。それを克服するために、DTET は必要な措置を検討する必要がある。

(2) 企業内訓練制度の詳細の確認

中間評価調査中に、現在実施中のモデルコースの第1期生と第2期生について以下のような資格取得のプロセスが関連機関から確認された。モデルコースの修了時に DTET は生徒に認定証 (Record of Assessment) を発行し、その後生徒は6ヶ月の企業内訓練を行う。企業内訓練を終了すると、TVEC と DEET は NVQ レベル6 の資格を授与するとのことである。しかし、モデルコースの第1期卒業生に何ら不都合が生じないように、企業内訓練の詳細を早急に明確化する必要がある。



(3) プロジェクトの投入

日本側スリランカ側双方の人的物的投入についてはプロジェクトの円滑な実施のために、以下の早急な対応を要する事項を含め、確実に実施していく必要がある。

- DTET は機材が配達される前に早急に CAD 教室の家具を導入する必要がある。
- 資格を満たす金属加工の教員 1 名を配置する努力を続けるとともに、JICA から供与された機材の管理をする倉庫係りのスタッフ 1 名を配置することが望まれる。
- プロジェクトの後半で必要とされている技術支援を行うために専門家の派遣を再検討する必要がある。

(4) モデルコースの運営

モデル3コースの潤滑な運営を確保するために、下記について考慮することが望まれる。

- プロジェクトのカウンターパートである教員がモデルコースに不都合を生じさせることなく学位が取得できるように、パートタイムの学位取得コースを実施や、経験やプロジェクトが提供した訓練を考慮していくつかの単位を免除するなどの対策を確定する必要がある。
- モデルコースの修了生の質に関する企業への調査は、DTET の関連部課の指示の下、キャリア・ガイダンス・カウンセリングセンターによって、コース修了後6ヶ月の時点で実施する。
- DTET は NVQ レベル4 の生徒が支障なくレベル5に進めるように、NVQ レベル4 または同等のコースと NVQ レベル5 のコースの開始月を確定する必要がある。
- モデルコースの機材を維持するために、予算の割り当てや定期的な実施を含めたメンテナンスの体制を確立する必要がある。

(5) TEDP の新規3コースとの調整

SLCoT で TEDP による NVQ レベル5・6 の新規3コースが開始される予定であるが、プロジェクトの3つのモデルコースの設立を通して蓄積されたノウハウが活用されることが望まれる。しかし、プロジェクトの3つのモデルコースも質の高い修了生を輩出するためには重要な時期であるため、プロジェクトのモデルコースに十分に配慮し、プロジェクトのリソース(資機材、施設、人材など)がプロジェクトの都合で使用できるように確保されるべきである。

添付資料

1. 改定前 PDM (Version 3)
2. 改定後 PDM (Version 4)
3. 主要面談者リスト
4. カウンターパート配置一覧
5. スリランカ側プロジェクト経費
6. 専門家派遣一覧
7. 機材供与費用
8. 供与機材一覧
9. カウンターパート研修実績
10. 在外事業強化費
11. 技術委員会会合実績
12. 教材開発リスト
13. 訓練生募集状況
14. 各ドナーの支援概要
15. TEDP の概要
16. PDM 改定箇所一覧
17. 評価グリッド

添付資料 1 : 改定前 PDM (Version 3)

Version 3 (Updated in September 2007)

- ◆ Project Name: Project for Establishment of Japan Sri Lanka College of Technology to Strengthen Technical Education and Training in Sri Lanka
- ◆ Period: 5 years
- ◆ Target Group: (direct) DTET and Maradana COT, (indirect) other TC/COT, industries

| Narrative Summary | Objectively Verifiable Indicators | Means of Verifications | Important Assumptions |
|---|---|---|--|
| <p>(Overall Goal)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Quality of the trained manpower in TC/COT meets the labor market demand 2. DTET will utilize lessons and experience of Maradana COT in establishing proposed COIs in provincial basis. | <ol style="list-style-type: none"> 1. 70% of the students of the TC/COT obtained course-related employment on/ after completion of the courses 2-1. Application of the youth to TC/COT is increased by 2% annually. 2-2. Every course obtains sufficient number of qualified students according to their seating capacity 2-3. Dropout rates of the students reduce from present 20% into 10%. 3. DTET produces 1000 technicians of NVQ level 5&6 annually 4. Nine COT are established in each province | <ol style="list-style-type: none"> 1. Employment status of the passed-out students 2-1. No. of application per year 2-2. No. of students compared with seating capacity 2-3. No. of students dropouts per year 3. No. of students obtained diploma per year 4. No. of COT established | <ul style="list-style-type: none"> • Cease-fire agreement of the Sri Lankan government and LTTE will be continued. |
| <p>(Project Purpose)</p> <p>DTET gains managerial and technical capacity to establish COIs in each province by introducing model courses of NVQ level 5&6 in Maradana COT to train middle level technicians.</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 80% of the students of the model courses complete the courses and obtain diploma. 2. 90% of the passed-out students of the model courses obtain expected level of course-related employment 3. Youth applying for the model courses increase 10% annually. 4. Manuals developed in Maradana COT are utilized in other COT 5. More curricula are available for NVQ level 5&6. 6. More teaching staffs are qualified to teach NVQ level 5&6. 7. More courses are available for NVQ level 5&6. 8. Nine different corporate plans for each COT are formulated | <ol style="list-style-type: none"> 1. Record on No. of students obtained diploma 2. Employment status of the passed-out students 3. No. of application per year 4. Interviews to the director/principal and staff of other TC/COT 5. Proposals made by other TC to be COT 6. Curricula developed for NVQ level 5&6 7. Record of training conducted for teaching staffs 8. Record of courses conducted 9. Cooperate plans for each COT | <ul style="list-style-type: none"> • Economic development and labor demand for the middle level technical personnel will be continued. • Policy and priority area of the Sri Lanka government on human resource development will not be changed • Ministry's policy on establishing COT will not be changed |
| <p>(Outputs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. NVQ level 5&6 model training courses are introduced and conducted effectively in Maradana COT in the fields of Information and Communication Technology, Mechatronics and Metal Work. | <ol style="list-style-type: none"> 1-1. Syllabi and training materials for the model courses is developed timely 1-2. Equipment is purchased and installed timely 1-3. Training infrastructure is established timely 1-4. Teaching staffs are trained to teach the model courses 1-5. Weekly and monthly training schedules for each course are formulated timely 1-6. More than 80% of the students of the first batch complete the courses and obtain diploma 1-7. Monitoring is conducted periodically and lessons learned are reflected to the courses and documented | <ol style="list-style-type: none"> 1-1. Syllabi and training materials developed 1-2. Date of installation of the equipment 1-3. Date of establishment training infrastructure 1-4. Record of training conducted for teaching staffs 1-5. Weekly and monthly training schedule formulated 1-6. record on No. of the students per course who applied, recruited, completed and obtained diploma 1-7. Monitoring and evaluation reports of the courses, and record on actions taken according to the recommendation in the reports | <ul style="list-style-type: none"> • Policy and priority area of the Sri Lanka government on human resource development will not be changed • Ministry's policy on establishing COT will not be changed • Trained staff will remain working for TC/COT |

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>2. DTET establishes a system for the training courses to fulfill industry's needs.</p> | <p>in manual</p> <p>2-1. Technical Committee is formed for each model courses and meetings are held more than 3 times a year</p> <p>2-2. Industries visit the model training courses to monitor and evaluate the courses 3times a year</p> <p>2-3. Recommendations are made by the industry to improve the courses</p> <p>2-4. Survey on industry's needs are conducted continuously</p> <p>2-5. Periodical industrial placement for teaching staffs is implemented regularly.</p> <p>2-6. In-plant training is conducted in each new course for the period of more than XXX week a year.</p> <p>2-7. Short-term courses are held regularly.</p> | <p>2-1-1. No. of Technical committee formed</p> <p>2-1-2. Record on No. of committee meetings held per year</p> <p>2-2. Record on No. of visits of the committee members to the courses</p> <p>2-3. Report and Minutes of the meeting of the committee</p> <p>2-4. Report on the industry's needs made by the committee</p> <p>2-5. Record on No. of periodical industrial placement of the teaching staffs</p> <p>2-6. Record of the in-plant training conducted</p> <p>2-7. Record on short-term courses held.</p> | |
| <p>3. Management capacity of DTET on training delivery is improved.</p> | <p>3-1-1. More than 90% of the students are using the career guidance/ labor market information available at the Maradana COT</p> <p>3-1-2. Individual counseling is held for more than 5 students per month</p> <p>3-1-3. Career guidance seminar is held for the applicants to give appropriate idea on course related employment.</p> <p>3-1-4. Career guidance seminar is conducted for COT students 11 times a year.</p> <p>3-2. Aptitude test is introduced for student selection.</p> <p>3-3. Part-time courses on the new subject are about to commence</p> <p>3-4-1 A system of conducting periodical studies to ensure the relevance of the quality and level of the training is established.</p> <p>3-4-2 Results of the studies are effectively used to improve quality and level of the training.</p> <p>3-5. Introduced handbook, visual tools, teachers guide, etc. are used effectively and appreciated at all the COT/TC.</p> <p>3-6. National skill competitions are continuously held and budgetary provisions for the event are given to make the event financially sustainable.</p> | <p>3-1-1. Record on No. of students using the data base</p> <p>3-1-2. Record on No. of counseling held per month</p> <p>3-1-3. Record on No. of career guidance seminar held prior to entrance</p> <p>3-1-4. Record on No. of career guidance seminar held for TC students per year</p> <p>3-2. Record on implementation of aptitude tests</p> <p>3-3. Document on module based curriculum, planning documents on allocation of the staff and budget for short-term courses</p> <p>3-4-1. Report and recommendations made by the studies</p> <p>3-4-2. No. of recommendations in the study report for which certain actions were made by the management</p> <p>3-5. Evaluation made by students and staff of other TC</p> <p>3-6. Report on National skill competition</p> | |
| <p>4. Accumulated know-how in Maradana COT is shared among the TC/COT, in the field of preparation of NVQ level 5&6 courses and improved methods on training delivery.</p> | <p>4-1. Proposals are developed and preparation has done to commence additional diploma courses in Maradana TC.</p> <p>4-2-1. Manuals on formulation of NVQ level 5&6 courses</p> | <p>4-1. Proposal and plan for financial and human resource arrangement needed for the additional courses</p> <p>4-2-1. Manuals on formulation of NVQ level 5&6</p> | |

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>(Activities)</p> <p>1-1. Follow up establishing of the National Skill Standards and curricula of the model courses</p> <p>1-2. Develop syllabi and teaching materials for the model courses</p> <p>1-3. Install equipment for the courses</p> <p>1-4. Establish training infrastructure for the courses</p> <p>1-5. Update teaching staff's technical skill and teaching method for the courses.</p> <p>1-6. Formulate weekly and monthly training schedule along with the time tables to allocate teaching staff, equipment, and class rooms.</p> <p>1-7. Conduct courses</p> <p>1-8. Monitor the courses periodically</p> <p>2-1. Formulate functional Technical Committee for each model course to establish collaborative relationships between COT and industry</p> <p>2-2. Promote in-plant training of the model courses by enhancing industrial relationship.</p> <p>2-3. Enhance public relations of Maradana COT, including frequent implementation of short-term courses on model courses, periodical industrial placements by teaching staff, etc.</p> <p>3-1. Enhance capacity of DTET to conduct effective career guidance and counseling, including;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Base-line survey on present situation of career guidance in Maradana COT • Introduce a system to collect and update labor market | <p>are developed and used in other TC/COT:</p> <p>4-2-2. Each TC/CoT establishes Technical Committee/Advisory Council.</p> <p>4-2-3. Each TC/CoT introduces the system to collect and update labor market information.</p> <p>4-2-4. Each TC/CoT introduces an aptitude test</p> <p>4-2-5. Manuals for formulation of part-time diploma courses are documented.</p> <p>4-2-6. Studies are conducted in other TC/COT to ensure the relevance of the courses.</p> <p>4-2-7. Seminars and workshops are held by each counterpart of the Project.</p> <p>4-2-8. More than 45 teaching staffs participate short-term courses and completed successfully.</p> <p>4-3. Seminars and workshops are held by each counterpart of the Project.</p> | <p>courses</p> <p>4-2-2. Records and minutes of Technical Committee in other TC/COT.</p> <p>4-2-3. Record on progress report from Career Guidance Centre from TC/CoT</p> <p>4-2-4. Record on student selection in other TC/COT</p> <p>4-2-5. Manuals on formulation of part-time diploma courses</p> <p>4-2-6. Study report and recommendation taken to the management</p> <p>4-2-7. Report of the seminars and workshops held by Project counterparts</p> <p>4-2-8. Report of the short term courses held</p> <p>4-3. Report of short-term courses held by Project counterparts</p> | <ul style="list-style-type: none"> • Process of purchasing the equipment for the model course is not hampered. • Necessary infrastructure of the Project is offered timely. • Counterpart of the Project will continue working for TC/COT. <p>(Pre-condition)</p> <ul style="list-style-type: none"> • |
| <p>(Inputs)</p> <p>Japanese side:</p> <ol style="list-style-type: none"> JICA Long term experts including; <ul style="list-style-type: none"> • Chief Advisor • Project Coordinator • Information and Communication Technology • Mechatronics • Metal Work • JICA Short term experts in necessary fields Equipment (necessary for the model courses) Counterpart training in Japan for: <ul style="list-style-type: none"> • Counterparts/ teaching staff of Maradana COT • Directors/Principals of TC/COT <p>Sri Lankan side:</p> <p>Counterparts including;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Director General of DTET • Directors of DTET • Director of Maradana COT • Teaching staff of the model courses <p>Administrative personnel</p> <p>Necessary Infrastructure for the Project including;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Office facility equipped with office furniture, electricity supply and direct telephone line, for the Project team • Classrooms and workshops for the model courses • Basic facilities for the model courses like white board, desks, chairs and shelves. <p>Budget for the Project such as;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Expenses for the implementation of the model courses • Construction expenses for the installation of the equipment for the model courses | <p>are developed and used in other TC/COT:</p> <p>4-2-2. Each TC/CoT establishes Technical Committee/Advisory Council.</p> <p>4-2-3. Each TC/CoT introduces the system to collect and update labor market information.</p> <p>4-2-4. Each TC/CoT introduces an aptitude test</p> <p>4-2-5. Manuals for formulation of part-time diploma courses are documented.</p> <p>4-2-6. Studies are conducted in other TC/COT to ensure the relevance of the courses.</p> <p>4-2-7. Seminars and workshops are held by each counterpart of the Project.</p> <p>4-2-8. More than 45 teaching staffs participate short-term courses and completed successfully.</p> <p>4-3. Seminars and workshops are held by each counterpart of the Project.</p> | <p>courses</p> <p>4-2-2. Records and minutes of Technical Committee in other TC/COT.</p> <p>4-2-3. Record on progress report from Career Guidance Centre from TC/CoT</p> <p>4-2-4. Record on student selection in other TC/COT</p> <p>4-2-5. Manuals on formulation of part-time diploma courses</p> <p>4-2-6. Study report and recommendation taken to the management</p> <p>4-2-7. Report of the seminars and workshops held by Project counterparts</p> <p>4-2-8. Report of the short term courses held</p> <p>4-3. Report of short-term courses held by Project counterparts</p> | <ul style="list-style-type: none"> • Process of purchasing the equipment for the model course is not hampered. • Necessary infrastructure of the Project is offered timely. • Counterpart of the Project will continue working for TC/COT. <p>(Pre-condition)</p> <ul style="list-style-type: none"> • |

information for the students in Maradana COT.

- Provide advice to the career guidance officers of Maradana COT in the fields of; effective and continuous implementation of counseling and career guidance, communication with industry, etc.

3-2. Rationalize selection criteria of Maradana COT, including introduction of aptitude tests.

3-3. Support preparation for part-time diploma courses in Maradana COT for those who are working in industry and who have completed NVQ level 4.

3-4. Conduct periodical studies at Maradana COT to ensure the relevance of the quality and level of the training, including;

- A survey on employment status of the passed-out students.
- Evaluation of the training courses with the participation of the students
- A survey on quality and skill level of the passed out students by inquiring industries they are working for.

3-5. Improve training materials including;

- Student handbooks
- Audio-visual teaching tools
- Teachers' guide, etc.

3-6. Conduct and expand National Skill Competitions annually.

4-1. Support formulation of additional NVQ level 5&6 courses in Maradana COT with the initiative of DTET.

4-2. Disseminate improved management skills to other TC/COT, in the fields of;

- Formulation of training courses of NVQ level 5&6
- Industry collaboration
- Career guidance/counseling
- Selection criteria
- Formulation of part-time diploma courses
- Studies to ensure the relevance of the courses

4-3. Improve technical skills of the instructors engaging in teaching of similar subjects to the model courses.

添付資料 2 : 改定後 PDM (Version 4)

- ◆ Project Name: Project for Establishment of Japan Sri Lanka College of Technology to Strengthen Technical Education and Training in Sri Lanka
- ◆ Period: 5 years
- ◆ Target Group: (direct) DTET and SLCOT, (indirect) other TC/COT, industries

| Narrative Summary | Objectively Verifiable Indicators | Means of Verifications | Important Assumptions |
|---|--|---|---|
| <p>(Overall Goal)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Quality of the trained manpower in TC/COT meets the labor market demand 2. COTs are established and managed by utilizing lessons and experiences of SLCOT. | <ol style="list-style-type: none"> 2. 70% of the students of the TC/COT obtained course-related employment on/ after completion of the courses 2-4. Application of the youth to TC/COT is increased by 2% annually. 2-5. Every course obtains sufficient number of qualified students according to their seating capacity 2-6. Dropout rates of the students reduce from present 20% into 10%. 5. DTET produces 1000 middle level technicians of NVQ level 5&6 annually 6. A COT is established in each province | <ol style="list-style-type: none"> 1. Employment status of the passed-out students 2-4. No. of application per year 2-5. No. of students compared with seating capacity 2-6. No. of students dropouts per year 3. No. of students obtained diploma per year 4. No. of COT established | |
| <p>(Project Purpose)</p> <p>DTET gains managerial and technical capacity to establish COTs in each province by introducing model courses of NVQ level 5&6 in SLCOT to train middle level technicians</p> | <ol style="list-style-type: none"> 9. 90% of the passed-out students of the model courses obtain expected level of course-related employment 10. Youth applying for the model courses increase 10% annually. 11. Manuals/documents developed in SLCOT and DTET are utilized in other COTs | <ol style="list-style-type: none"> 10. Reports of the survey on employment status on the passed-out students 2. Statistical Handbook on Technical Education 3. Interviews/survey to the director/principal and staff of other TC/COT | <ul style="list-style-type: none"> • Economic development and labor demand for the middle level technical personnel will be continued. • Policy and priority area of the Sri Lanka government on human resource development will not be changed. • Ministry's policy on establishing COT will not be changed. • ADB, GTZ and KOICA will support the Sri Lankan Government in establishing COTs. |
| <p>(Outputs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. NVQ level 5&6 model training courses are introduced and conducted effectively in SLCOT in the fields of Information and Communication Technology, Mechatronics and Metal Work. | <ol style="list-style-type: none"> 1-1. The endorsed National Skill Standard and Curriculum Outlines of the 3 model courses become available. 1-2. Appropriate syllabuses and teaching materials for the model courses are developed. 1-3. Equipments necessary for the model courses are purchased and installed. | <ol style="list-style-type: none"> 1-1. Endorsed National Skill Standard and Curriculum Outlines of the 3 courses 1-2. Syllabuses and teaching materials developed 1-3. List of installed equipments | <ul style="list-style-type: none"> • Policy and priority area of the Sri Lanka government on human resource development will not be changed • Ministry's policy on establishing COT will |

| | | | |
|--|--|---|--|
| <p>6. DTET establishes a system for the training courses to fulfill industry's needs.</p> | <p>1-4. Training infrastructures necessary for the model courses are established. 1-5. Counterpart staff gains sufficient knowledge to teach in the model courses. 1-6. Adequate weekly and monthly training schedules for each course are formulated. 1-7. More than 80% of the full-time students of the first batch complete the courses and obtain diploma, and part-time courses are established. 1-8. Monitoring is conducted periodically and lessons learned are reflected to the courses and documented</p> <p>2-1-1. Technical Committee is formed for each model course and meetings are held more than 3 times a year 2-1-2. Industries visit the model training courses to monitor and evaluate the courses 3 times a year 2-1-3. Recommendations are made by the industry to improve the courses 2-1-4. Survey on industry's needs are conducted continuously 2-2. System of in-plant training is established and students of the model courses gains experiences in industry 2-3-1. Short-term courses are held 2-3-2. Periodical industrial placement for C/P staff is implemented</p> <p>3-1-5. More than 90% of the students are using the career guidance/ labor market information available at the SLCOT 3-1-6. Individual counseling is held for more than 5 students per month 3-1-7. Career guidance seminar is held for the applicants to give appropriate idea on course related employment. 3-1-8. Career guidance seminar is conducted for COT students 11 times a year. 3-2-1. A system of conducting periodical studies to ensure the relevance of the quality and level of the training is established. 3-2-2. Results of the studies are effectively used to improve quality and level of the training.</p> | <p>1-4. Record of establishment of training infrastructures 1-5. Reports of technical transfer and trainings in Japan 1-6. Weekly and monthly training schedule Formulated 1-7. Statistical Handbook on Technical Education 1-8. Monitoring and evaluation reports of the courses and records on actions taken</p> <p>2-1. List of the member of Technical Committee and Minutes of Technical Committee meetings 2-1-2. Minutes of Technical Committee meetings 2-1-3. Minutes of Technical Committee meetings 2-1-4. Minutes of Technical Committee meetings 2-2. Record on the in-plant training conducted 2-3-1. Record on short-term courses held. 2-3-2. Reports of industrial placement of the C/P staff. 3-1-1. Record on No. of students using the data base 3-1-2. Record on No. of counseling held per month 3-1-3. Record on No. of career guidance seminars held prior to entrance 3-1-4. Record on No. of career guidance seminars held for COT students per year 3-2-1. Reports of the periodical studies 3-2-2. Reports of the actions taken 3-3. Report of the evaluation made by students and</p> | <p>not be changed</p> <ul style="list-style-type: none"> Trained staff will remain working for TC/COT |
| <p>7. Management capacity of DTET for training delivery of the NVQ level 5 & 6 courses and for the implementation of career guidance/counseling, textbook development and skills competitions is improved.</p> | <p>1-4. Training infrastructures necessary for the model courses are established. 1-5. Counterpart staff gains sufficient knowledge to teach in the model courses. 1-6. Adequate weekly and monthly training schedules for each course are formulated. 1-7. More than 80% of the full-time students of the first batch complete the courses and obtain diploma, and part-time courses are established. 1-8. Monitoring is conducted periodically and lessons learned are reflected to the courses and documented</p> <p>2-1-1. Technical Committee is formed for each model course and meetings are held more than 3 times a year 2-1-2. Industries visit the model training courses to monitor and evaluate the courses 3 times a year 2-1-3. Recommendations are made by the industry to improve the courses 2-1-4. Survey on industry's needs are conducted continuously 2-2. System of in-plant training is established and students of the model courses gains experiences in industry 2-3-1. Short-term courses are held 2-3-2. Periodical industrial placement for C/P staff is implemented</p> <p>3-1-5. More than 90% of the students are using the career guidance/ labor market information available at the SLCOT 3-1-6. Individual counseling is held for more than 5 students per month 3-1-7. Career guidance seminar is held for the applicants to give appropriate idea on course related employment. 3-1-8. Career guidance seminar is conducted for COT students 11 times a year. 3-2-1. A system of conducting periodical studies to ensure the relevance of the quality and level of the training is established. 3-2-2. Results of the studies are effectively used to improve quality and level of the training.</p> | <p>1-4. Record of establishment of training infrastructures 1-5. Reports of technical transfer and trainings in Japan 1-6. Weekly and monthly training schedule Formulated 1-7. Statistical Handbook on Technical Education 1-8. Monitoring and evaluation reports of the courses and records on actions taken</p> <p>2-1. List of the member of Technical Committee and Minutes of Technical Committee meetings 2-1-2. Minutes of Technical Committee meetings 2-1-3. Minutes of Technical Committee meetings 2-1-4. Minutes of Technical Committee meetings 2-2. Record on the in-plant training conducted 2-3-1. Record on short-term courses held. 2-3-2. Reports of industrial placement of the C/P staff. 3-1-1. Record on No. of students using the data base 3-1-2. Record on No. of counseling held per month 3-1-3. Record on No. of career guidance seminars held prior to entrance 3-1-4. Record on No. of career guidance seminars held for COT students per year 3-2-1. Reports of the periodical studies 3-2-2. Reports of the actions taken 3-3. Report of the evaluation made by students and</p> | <p>not be changed</p> <ul style="list-style-type: none"> Trained staff will remain working for TC/COT |

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>4. Know-how in the fields of implementation of NVQ level 5 & 6 courses, industry collaborations, career guidance/counseling and skills competitions is accumulated in DTET through the establishment of the 3 model courses in SLCOT to share it with other TC/COT.</p> | <p>3-3. Developed teaching materials such as textbooks, visual tools, etc. are used effectively and appreciated at all the COT/TC.</p> <p>3-4. Skills competitions are continuously held and budgetary provisions for the event are given to make the event financially sustainable.</p> <p>4-1-1. Documents on delivering of NVQ level 5&6 courses are prepared.</p> <p>4-1-2. Technical Committee/Advisory Council are established in other TC/CoTs</p> <p>4-1-3. The improved system to collect and update labor market information is introduced in other TC/CoTs.</p> <p>4-1-4. Know-how to support student's job placement is introduced in other TC/COTs.</p> <p>4-1-5. Studies are conducted in other TC/COT to ensure the relevance of the courses.</p> <p>4-2. Seminars and workshops are held by counterpart staff of the Project.</p> | <p>staff of other TC/COT</p> <p>3-4. Report on skills competitions</p> <p>4-1-1 Documents such as syllabuses, teaching materials, training plans for delivering NVQ level 5&6 courses</p> <p>4-1-2 Records and minutes of Technical Committee/Advisory Council in other TC/COT.</p> <p>4-1-3 Progress report from Career Guidance Centre in other TC/CoT</p> <p>4-1-4 Record on student's job placement in other TC/COT</p> <p>4-1-5 Study report</p> <p>4-2. Report on short-term courses held by Project counterpart staff</p> | <ul style="list-style-type: none"> • Process of purchasing the equipment for the model course is not hampered by uncontrollable factors. • Timely constructions of necessary infrastructure of the Project is not hampered by uncontrollable factors • Counterpart of the Project will continue working for SLCOT. • National Skill standards and Curriculum Outlines of the model courses are endorsed. <p>(Pre-condition)</p> |
| <p>4. Know-how in the fields of implementation of NVQ level 5 & 6 courses, industry collaborations, career guidance/counseling and skills competitions is accumulated in DTET through the establishment of the 3 model courses in SLCOT to share it with other TC/COT.</p> | <p>3-3. Developed teaching materials such as textbooks, visual tools, etc. are used effectively and appreciated at all the COT/TC.</p> <p>3-4. Skills competitions are continuously held and budgetary provisions for the event are given to make the event financially sustainable.</p> <p>4-1-1. Documents on delivering of NVQ level 5&6 courses are prepared.</p> <p>4-1-2. Technical Committee/Advisory Council are established in other TC/CoTs</p> <p>4-1-3. The improved system to collect and update labor market information is introduced in other TC/CoTs.</p> <p>4-1-4. Know-how to support student's job placement is introduced in other TC/COTs.</p> <p>4-1-5. Studies are conducted in other TC/COT to ensure the relevance of the courses.</p> <p>4-2. Seminars and workshops are held by counterpart staff of the Project.</p> | <p>staff of other TC/COT</p> <p>3-4. Report on skills competitions</p> <p>4-1-1 Documents such as syllabuses, teaching materials, training plans for delivering NVQ level 5&6 courses</p> <p>4-1-2 Records and minutes of Technical Committee/Advisory Council in other TC/COT.</p> <p>4-1-3 Progress report from Career Guidance Centre in other TC/CoT</p> <p>4-1-4 Record on student's job placement in other TC/COT</p> <p>4-1-5 Study report</p> <p>4-2. Report on short-term courses held by Project counterpart staff</p> | <p>(Inputs)</p> <p>Japanese side:</p> <p>4. JICA Long term experts including:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Chief Advisor • Project Coordinator • Information and Communication Technology • Mechatronics • Metal Work • JICA Short term experts in necessary fields <p>5. Equipment (necessary for the model courses)</p> <p>6. Counterpart training in Japan for:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Counterparts/ teaching staff of SLCOT • Directors/Principals of TC/COT <p>Sri Lankan side:</p> <p>Counterparts including:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Director General of DTET • Directors of DTET • Director of SLCOT • Teaching staff of the model courses <p>Administrative personnel</p> <p>Necessary Infrastructure for the Project including;</p> |
| <p>(Activities)</p> <p>1-9. Follow up on establishing of the National Skill Standards and Curriculum Outline of the model courses</p> <p>1-10. Develop syllabuses and teaching materials for the model courses</p> <p>1-11. Install equipment for the courses</p> <p>1-12. Establish training infrastructure for the courses</p> <p>1-13. Update teaching staff's technical skill and teaching method for the courses.</p> <p>1-14. Formulate weekly and monthly training schedule along with the time tables to allocate teaching staff, equipment, and class rooms.</p> <p>1-15. Conduct full-time and part-time courses</p> <p>1-16. Monitor the courses periodically</p> <p>2-4. Formulate functional Technical Committee for each model course to establish collaborative relationships between COT and industry, including activities such as;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Implement course visits by industry to 3 model courses and evaluate the model courses • Reflect the recommendations made by industry in the model courses | | | |

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • Realize surveys on industry's needs <p>2-5. Promote in-plant training of the model courses by enhancing industrial relationship.</p> <p>2-6. Enhance public relations of SLCOT, including implementation of short-term courses on model courses, industrial placements of teaching staff etc.</p> <p>3-7. Enhance capacity of DTET to conduct effective career guidance and counseling, including;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Implement survey and studies to improve career guidance and counseling in SLCOT • Improve the system to collect and update labor market information for the students in SLCOT • Provide advice to the career guidance officers of SLCOT in the fields of; effective and continuous implementation of career guidance and counseling, communication with industry, etc. • Support students in job placement <p>3-2. Conduct periodical survey and studies at SLCoT to ensure the relevance of the quality and level of the training, including;</p> <ul style="list-style-type: none"> • A survey on employment status of the passed-out students. • Evaluation of the training courses with the participation of the students • A survey on quality and skill level of the passed out students by inquiring industries they are working for. <p>3-3 Develop and Improve teaching materials</p> <p>3-4 Conduct and expand Skills Competitions annually.</p> <p>4-1. Disseminate improved management skills to other TC/COT by providing documents/manuals and conducting training, in the fields of;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Conducting of training courses of NVQ level 5&6 • Industry collaboration • Career guidance/counseling • Assistance for job placement • Conducting of part-time diploma/ short-term courses • Research/studies to ensure the relevance of the courses <p>4-2. Provide in-service training to improve technical skills of the instructors engaging in teaching of similar subjects to the model courses.</p> <p>4-3. Conduct interviews/survey to the director/principal and staff of other TC/COT about the utilization of know-how</p> | <ul style="list-style-type: none"> • Office facility equipped with office furniture, electricity supply and direct telephone line, for the Project team • Classrooms and workshops for the model courses • Basic facilities for the model courses like white board, desks, chairs and shelves. <p>Budget for the Project such as;</p> <ul style="list-style-type: none"> • Expenses for the implementation of the model courses • Construction expenses for the installation of the equipment for the model courses |
|--|--|

添付資料 3 : 主要面談者リスト

職業技術訓練省 (Ministry of Vocational and Technical Training, MVTT)

| | |
|--------------------------|--|
| Mr. Thilak Hapangama | Secretary |
| Mr. H. K. Geethasena | Additional Secretary |
| Ms. Nilanthi Sugathadasa | Senior Assistant Secretary (Development) |

高等職業教育委員会 (Tertiary and Vocational Education Commission, TVEC)

| | |
|--------------------------|------------------|
| Dr. T. A. Piyasiri | Director General |
| Mr. J. A. D. I. Jayalath | Director (IS) |

国立従弟・工業訓練公団 (National Apprenticeship and Industrial Training Authority, NAITA)

| | |
|---------------------|--------------------|
| Mr. K.W. J. Derpera | Director (P & D) |
| Mr. M. M. Mohideren | Assistant Director |

技術教育訓練局 (Department of Technical Education & Training, DTET)

| | |
|---------------------------|-----------------------------|
| Dr. H. L. Obeyesekera | Director General |
| Mr. D. V. P. Y. Kulatunga | Additional Director General |

スリランカ技術短大 (Sri Lanka College of Technology, SLCoT)

Mr. N. R. R. K. Wijeneyake Executive Director,

技術教育開発プロジェクト (Technical Education Development Project, TEDP)

| | |
|--------------------------|---|
| Mr. Hector Hemachandra | Project Director |
| Prof. Viktor Jakupec | Tem Leader |
| Mr. P. M. P Perera | Project Manager |
| Mr. V. G. P. Vidyarthne | Project Manager (Benefit Monitoring & Evaluation) |
| Mr. P. C. P. Jayathilake | Deputy Project Director |

財務・計画省 (Ministry of Finance and Planning)

| | |
|----------------------|-----------------|
| Ms D. C. W. Hapugoda | Deputy Director |
|----------------------|-----------------|

韓国国際協力団 (Korea International Cooperation Agency, KOICA)

| | |
|-------------------|--------------------------------|
| Ms. Jo Haeng –Lan | Deputy Resident Representative |
|-------------------|--------------------------------|

ドイツ技術協力公社 (German Technical Cooperation, GTZ)

| | |
|-------------------|-----------------------|
| Mr. Franz Porsche | Programme Coordinator |
|-------------------|-----------------------|

Mr. Sarath Amarasuriya

Senior Technical Advisor

技術委員会メンバー企業

Mr. S. Dharshendran

Technical Manager –Network and Communication, ABC
Trade & Investment (Pty) Ltd.

Mr. Ravindea Perera

Mtatechno Lanka

Mr. Anil Jayaweera

Manager, Peronnel & ISO/ Seisan Kakushin Promotion
Section (TPS), General Affairs Development, FDK Lanka
(PVT) Ltd.

Mr. R.A. Ganegamage

Senior Manager, Nawaloka Trading Co., Ltd.

添付資料4：カウンターパートの配置一覧

1. プロジェクト・ディレクター、マネージャー、コーディネーター

| | 氏名 | 年齢 | 職名 | 配置時期 | 専任/ 兼任 | 備考 |
|---|----------------------------|----|---------------|------------|-----------|--------------|
| 1 | Dr. H. L. Obeysekara | 53 | 局長、技術教育訓練局 | 19/12/2005 | 兼任 | プロジェクトディレクター |
| 2 | Mr. N. R. R. K. Wijenayake | 58 | 校長、スリランカ技術短大 | 01/07/2005 | 兼任 | プロジェクトマネージャー |
| 3 | Mr. K.D.W. Goonewardena | 53 | カウンターパートオフィサー | 26/10/2005 | 専任 | コーディネーター |

2. 金属加工

| | 氏名 | 年齢 | 職名 | 配置時期 | 専任/ 兼任 | 備考 |
|---|----------------------------|----|---------------|------------|-----------|-------------|
| 1 | Mr. K.K.H. Kulatunga | 56 | コースコーディネーター | 26/10/2005 | 専任 | |
| 2 | Mr. G.A.Karunaratna | 55 | カウンターパートオフィサー | 25/01/2006 | 専任 | |
| 3 | Mr. M.L.M. Cooray | 49 | 同上 | 23/10/2006 | 兼任 | マラタナ校での指導兼務 |
| 4 | Mr. A.A.D. Leelarathne | 45 | 同上 | 27/07/2006 | 専任 | |
| 5 | Mr. D.M.C.S.P. Dissanayake | 41 | 同上 | 19/06/2007 | 専任 | |
| 6 | | | | | | 欠員 |

3. 情報通信

| | 氏名 | 年齢 | 職名 | 配置時期 | 専任/ 兼任 | 備考 |
|---|---------------------------|----|---------------|------------|-----------|-------------|
| 1 | Mr. A.M.G. Seneviratne | 44 | コースコーディネーター | 10/26/2005 | 専任 | |
| 2 | Mr. D.M.W.B. Daundasekara | 43 | カウンターパートオフィサー | 04/07/2006 | 兼任 | マラタナ校での指導兼務 |

| | | | | | | |
|---|-----------------------------|----|----|------------|----|-----------------|
| 3 | Ms. K.G. Ranjanie | 40 | 同上 | 01/05/2006 | 兼任 | 同上 |
| 4 | Mr. W.L.P. Gunathilake | 40 | 同上 | 11/07/2006 | 専任 | |
| 5 | Ms. R. B. Guruge | 37 | 同上 | 02/08/2006 | 兼任 | マラタナ校での指導 兼務 |
| 6 | Mr. N.M.N. Padmasiri | 42 | 同上 | 13/12/2006 | 専任 | |
| 7 | Ms. H.R.W.P. Gunathilake | 37 | 同上 | 01/01/2007 | 専任 | |

4. メカトロニクス

| | 氏名 | 年齢 | 職名 | 配置時期 | 専任/ 兼任 | 備考 |
|---|-------------------------------|----|---------------|------------|-----------|-----------------|
| 1 | Mr. J. Ariyasinghe | 56 | モデルコース長 | 25/01/2006 | 専任 | |
| 2 | Mr. N. Rathnaweera | 50 | コースコーディネーター | 26/10/2005 | " | |
| 3 | Mr. A. A. Navaratne | 46 | カウンターパートオフィサー | 17/07/2006 | " | |
| 4 | Mr. K.J.A.T. Jayawardena | 43 | 同上 | 05/12/2006 | " | |
| 5 | Ms. S. Hettiarachchi | 44 | 同上 | 01/01/2007 | 兼任 | マラタナ校での指導 兼務 |
| 6 | Mr. D.M.C.S.P. Dissanayake | 42 | 同上 | 98/06/2007 | 専任 | |

添付資料 5 : スリランカ側プロジェクト経費

2007年11月現在
単位スリランカルピー

| 項目 | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 合計 | 備考 |
|------------------------------|------------|---------------|--------------|---------------|---|
| 実習室の改修及びその他の施設 関連経費 | - | 14,764,023.43 | 6,705,569.28 | 21,469,592.71 | 金属加工実習室床改修、溶接ブース及び洗面台の設置工事、電源供給ラインの設置、パーテーション設置及び教室建設など |
| モデルコースの 教室用家具および その他備品 | 267,325.00 | 926,467.00 | 1,651,800.00 | 2,845,592.00 | 電話ライン、コンピューター12台、実習室の机・椅子など |
| 技能競技会運営 経費 | 100,181.00 | 649,470.00 | - | 749,651.00 | TCレベル技能競技会、参加者交通費など |
| ノウハウ普及の ための経費 | - | - | 260,282.00 | 260,282.00 | 参加者交通費、軽食など |
| 付帯費用 | - | 759,128.35 | 595,989.88 | 1,355,118.23 | プロジェクト・ディレクター、プロジェクト・マネージャー、カウンターパート用 |
| 雑費 | 109,557.00 | 10,718.80 | 532,267.50 | 652,543.30 | CoT 創立式典準備、モデルコースの備品・文房具など |
| 合計 | 477,063.00 | 17,109,807.58 | 9,745,908.66 | 27,332,779.24 | |

添付資料 6 : 専門家派遣一覧

| 名前 | 指導科目 | 派遣期間 | 長期/短期 | 備考 |
|--------|-----------|------------------------|-------|----------|
| 海前 嘉明 | チーフアドバイザー | 2005/8/27 - 2008/8/26 | 長期 | |
| 高橋 敦 | 業務調整員 | 2005/6/19 - 2008/6/18 | 長期 | |
| 川島 徹 | 金属加工 | 2005/8/27 - 2007/8/26 | 長期 | |
| 狩野 隆 | メカトロニクス | 2005/7/5 - 2006/3/8 | 長期 | (電気/電子系) |
| 鈴木 和生 | 情報通信技術 | 2005/9/27 - 2007/3/27 | 長期 | |
| 上田 耕治 | 指導技法 | 2006/5/1 - 2006/7/1 | 短期 | |
| 西見 安則 | メカトロニクス | 2006/6/7 - 2007/1/12 | 短期 | (電気/電子系) |
| 佐藤 一晃 | メカトロニクス | 2007/1/13 - 2007/3/12 | 短期 | (電気/電子系) |
| 越智 誠司 | 情報通信技術 | 2007/5/19 - 2007/7/12 | 短期 | |
| 山田 晃司 | メカトロニクス | 2007/5/19 - 2007/7/2 | 短期 | (機械系) |
| 水野 良彦 | 情報通信技術 | 2007/7/28 - 2007/9/27 | 短期 | |
| 北川 隆 | メカトロニクス | 2007/7/15 - 2007/8/31 | 短期 | (機械系) |
| 伊藤 達也 | 板金 | 2007/7/28 - 2007/9/12 | 短期 | |
| 川島 徹 | 金属加工 | 2007/12/22 - 2008/3/21 | 短期 | |
| 山口 安洋 | 情報通信技術 | 2008/1/8 - 2008/3/7 | 短期 | |
| 村岡 敦 | メカトロニクス | 2008/1/8 - 2008/3/7 | 短期 | (電気/電子系) |
| 多々良 敏也 | メカトロニクス | 2008/1/8 - 2008/2/29 | 短期 | (電気/電子系) |

添付資料 7 : 機材供与費用

Price Unit: Sri Lankan Rupee

X1000

| Field | Apr.2005-Mar.2006 | | Apr.2006-Mar.2007 | | Apr.2007-Mar.2008 | |
|------------------------|---|-----------|--|--------|--|--------|
| Mechatronics | Mechanical Engineering Laboratory System | 4,206 | PLC with PC | 23,761 | Electrical & Electronics | 12,710 |
| | | | | | Pneumatic Control System | 10,161 |
| | | | | | Hydraulic Control System | 12,684 |
| | | | | | Lath Machine | 3,465 |
| | Sub-total | 4,206 | Sub-total | 23,761 | Sub-total | 39,020 |
| Metal Work | Welding Equipment | 5,975 | Welding Equipment | 4,296 | CAD Lab. | 10,700 |
| | | | Machine+Test Equip. | 34,249 | | |
| | Testing Equipment | 9,262 | Tools | 1,603 | | |
| | | | Drawing Instrument | 768 | | |
| | Drawing Instrument | 605 | Sawing Machine & Grinder | 1,306 | | |
| | | | Computers | 3,516 | | |
| Sub-total | 15,842 | Sub-total | 45,738 | | 10,700 | |
| ICT | Printers , Projectors Maradana Network System Installation Adjustment (Including Introduction and Training) | 4,564 | PC1, System Laboratory, Maradana Network, Network line Construction Cost | 14,090 | Network Server, Multimedia Equipment, Software | 15,242 |
| | | | Windows Vista, Graphic board , Additional Memories | 2,334 | | |
| | | 4,564 | Sub-total | 16,424 | | |
| Career Guidance | Career Guidance Centre, Maradana CoT | 1,339 | | | | |
| | Total (Rupee) | 25,951 | Total (Rupee) | 85,923 | Total (Rupee) | 64,962 |

添付資料 8 : 供与機材一覧

1. LIST OF MAJOR EQUIPMENT FOR METAL WORK TECHNOLOGY

(1) Welding Equipment

| Year | No | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|----|---|---------|--------|
| 2005 | 1 | Gas Welding Torch | 8pcs | IN USE |
| 2005 | 2 | Gas Cutting Torch | 8pcs | IN USE |
| 2005 | 3 | Automatic Gas Cutting Machine | 2pcs | IN USE |
| 2005 | 4 | Arc Welding Machine | 5pcs | IN USE |
| 2005 | 5 | CO ₂ Arc Welding Machine | 5pcs | IN USE |
| 2005 | 6 | Welding Rod Dryer | 2pcs | IN USE |
| 2005 | 7 | Welding Work Bench | 12pcs | IN USE |
| 2006 | 8 | Arc Welding Machine | 1pc | IN USE |
| 2006 | 9 | Air plasma Cutting Machine | 1pc | IN USE |
| 2006 | 10 | Circular Cutting Unit | 1set | IN USE |
| 2006 | 11 | Clamp meter | 10pcs | IN USE |
| 2006 | 12 | Bending Jig for butt joint thickness 3.0mm | 1pc | IN USE |
| 2006 | 13 | Bending Jig for butt joint thickness 6.0mm | 1pc | IN USE |

(2) Machines

| Year | No | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|----|---|---------|--------|
| 2005 | 1 | Air Compressor | 1 | IN USE |
| 2005 | 2 | Bench Drilling Machine | 2 | IN USE |
| 2005 | 3 | Pedestal Grinding Machine with Dust Extracting Machine | 1 | IN USE |
| 2005 | 4 | Pedestal Grinding Machine with Dust Extracting Machine | 2 | IN USE |
| 2006 | 5 | Pedestal Grinding Machine with Dust Extracting Machine | 1 | IN USE |
| 2006 | 6 | Hack Sawing Machine | 1 | IN USE |
| 2006 | 7 | Shearing Machine | 1 | IN USE |
| 2006 | 8 | Spare blades | 1set | IN USE |
| 2007 | 9 | Shaper | 1 | IN USE |
| 2007 | 10 | Cutting Tools(for shaper) | 10 | IN USE |
| 2007 | 11 | Press Brake | 1 | IN USE |
| 2007 | 12 | Punch & Dies (for press brake) | 1 | IN USE |
| 2007 | 13 | Forming Roller | 1 | IN USE |
| 2007 | 14 | Rolling Machine | 1 | IN USE |

(3) Testing Equipment

| Year | No | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|----|------------------------------------|---------|--------|
| 2005 | 1 | Hardness Tester (Mitutoyo AR-10) | 1 | IN USE |
| 2005 | 2 | Table for Hardness Tester (φ180mm) | 1 | IN USE |
| 2005 | 3 | Table for Hardness Tester (φ63mm) | 1 | IN USE |
| 2005 | 4 | Anvil for Hardness Tester | 1 | IN USE |

| | | | | |
|------|----|--|---|--------|
| | | (ϕ 40mm, 6mm V-groove) | | |
| 2005 | 5 | Anvil for Hardness Tester (ϕ 40mm, 30mm V-groove) | 1 | IN USE |
| 2005 | 6 | Metal Polisher/Grinder | 1 | IN USE |
| 2005 | 7 | Pressure Testing Pump | 1 | IN USE |
| 2005 | 8 | Glass desiccators | 5 | IN USE |
| 2006 | 9 | Metallurgical Microscope | 1 | IN USE |
| 2006 | 10 | Ocular (Carton XR6015) | 1 | IN USE |
| 2006 | 11 | Ocular(Carton XR6020) | 1 | IN USE |
| 2006 | 12 | Mechanical Stage | 1 | IN USE |
| 2006 | 13 | CCD Camera for Microscope (Digital Microscopic Camera with USB Interface) | 1 | IN USE |
| 2006 | 14 | Personal Computer Personal Computer | 1 | IN USE |
| 2006 | 15 | Correcting of parallelism (Hand Press) | 1 | IN USE |
| 2006 | 16 | Specimen Dryer | 1 | IN USE |
| 2006 | 17 | Electric Furnace (for quenching) | 1 | IN USE |
| 2006 | 18 | Electric Furnace (for tempering) | 1 | IN USE |

(4) Tools

| Year | No | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|----|-------------------------------------|---------|--------|
| 2005 | 1 | Bench Vice | 24 | IN USE |
| 2005 | 2 | Bolt Cutter(450mm) | 1 | IN USE |
| 2005 | 3 | Bolt Cutter(600mm) | 1 | IN USE |
| 2005 | 4 | Hand Fork Lift | 1 | IN USE |
| 2005 | 5 | Hand Pallet Track | 1 | IN USE |
| 2005 | 6 | Electric Drill | 5 | IN USE |
| 2005 | 7 | Disc Grinder | 5 | IN USE |
| 2005 | 8 | High Speed Abrasive Cutoff Marching | 1 | IN USE |
| 2005 | 9 | Electric Soldering Iron | 2 | IN USE |
| 2005 | 10 | Dust Cleaner | 3 | IN USE |
| 2005 | 11 | Precision File Set | 10 | IN USE |
| 2005 | 12 | Anvil | 2 | IN USE |
| 2005 | 13 | Straighten Shank Twist Drill Set | 10 | IN USE |
| 2005 | 14 | Pipe Cutter | 2 | IN USE |
| 2005 | 15 | Work Bench | 10 | IN USE |
| 2005 | 16 | Socket Wrench Set | 5 | IN USE |
| 2005 | 17 | Steel Rule | 5 | IN USE |
| 2005 | 18 | Micrometer | 2 | IN USE |
| 2005 | 19 | Height Gauge | 1 | IN USE |
| 2005 | 20 | Dial Gauge | 1 | IN USE |
| 2005 | 21 | Dial Gauge Stand | 1 | IN USE |
| 2005 | 22 | V Block set | 5 | IN USE |
| 2005 | 23 | Surface Plate | 1 | IN USE |
| 2006 | 24 | Air Hose Reel | 1 | IN USE |
| 2006 | 25 | Surface plate | 7 | IN USE |
| 2006 | 26 | Two flat shelves Cart | 3 | IN USE |
| 2006 | 27 | Work bench | 3 | IN USE |
| 2006 | 28 | Scales | 1 | IN USE |
| 2006 | 29 | Ultrasonic thickness meter | 1 | IN USE |
| 2006 | 30 | Thermocouple Thermometer | 1 | IN USE |

(5) Drawing Equipment

| Year | No | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|----|---------------|---------|--------|
| 2005 | 1 | Drawing Board | 21 | IN USE |
| 2006 | 2 | Drawing Table | 21 | IN USE |
| 2006 | 3 | Drawing Chair | 21 | IN USE |
| 2006 | 4 | Drafter Set | 1 | IN USE |

(6) Additional Equipment

| Year | No | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|----|----------------------|---------|--------|
| 2006 | 1 | Multimedia Projector | 2pcs | IN USE |
| 2006 | 2 | Visual presenter | 2pcs | IN USE |
| 2006 | 3 | Computer | 12 | IN USE |

(Note) Items costing over 10,000.00 Rs. per unit are listed.

2. LIST OF MAJOR EQUIPMENT FOR INFORMATION AND COMMUNICATION TECHNOLOGY

| No | ROOM | ROLE | YEAR | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|----------------|------------------------|--------|-------------------------------|---------|--------|
| 1 | PC1 Laboratory | Student | 2006 | Client PC (HP DX2700) | 23 | In Use |
| | | | 2006 | * TFT Monitor | | In Use |
| | | | 2006 | * OS: MSWindowsXP/FederoCore | | In Use |
| | | | 2006 | * Office: MSOffice2003 | | In Use |
| | | | 2006 | * PDE: MSVisualStudio2005 | | In Use |
| | | | 2005 | Color LP (HP Laserjet 5550) | | 2 |
| | | Lecturer | 2006 | Client PC (HP DX2700) | 1 | In Use |
| | | | 2006 | * TFT Monitor | | In Use |
| | | | 2006 | * OS: MSWindowsXP/FederoCore | | In Use |
| | | | 2006 | * Office: MSOffice2003 | | In Use |
| | | | 2006 | * PDE: MSVisualStudio2005 | | In Use |
| | | File server | 2006 | Server (HP ProLiant ML310 G3) | 1 | In Use |
| 2006 | * TFT Monitor | | In Use | | | |
| SW | 2005 | L3swich (3Com 4500-50) | 1 | In Use | | |
| 2 | PC2 Laboratory | Student | 2006 | Client PC (HP DX2700) | 23 | In Use |
| | | | 2006 | * TFT Monitor | | In Use |
| | | | 2006 | * OS: MSWindowsXP/FederoCore | | In Use |
| | | | 2006 | * Office: MSOffice2003 | | In Use |
| | | | 2006 | * PDE: MSVisualStudio2005 | | In Use |
| | | | 2005 | Color LP (HP Laserjet 5550) | | 2 |
| | | Lecturer | 2006 | Client PC (HP DX2700) | 1 | In Use |
| | | | 2006 | * TFT Monitor | | In Use |
| | | | 2006 | * OS: MSWindowsXP/FederoCore | | In Use |
| | | | 2006 | * Office: MSOffice2003 | | In Use |
| | | | 2006 | * PDE: MSVisualStudio2005 | | In Use |
| | | File server | 2006 | Server (HP ProLiant ML310 G3) | 1 | In Use |
| 2006 | * TFT Monitor | | In Use | | | |
| SW | 2005 | L3swich (3Com 4500-50) | 1 | In Use | | |
| 3 | Sys Laboratory | Student | 2006 | Client PC (HP DX2700) | 23 | In Use |

| | | | | | | |
|---|---------------|--------------|------|-------------------------------|----|--------|
| | | | 2006 | * TFT Monitor | | In Use |
| | | | 2006 | * OS: MSWindowsXP/FederoCore | | In Use |
| | | | 2006 | * Office: MSOffice2003 | | In Use |
| | | | 2006 | * PDE: MSVisualStudio2005 | | In Use |
| | | | 2005 | Color LP (HP Laserjet 5550) | 2 | In Use |
| | | Lecturer | 2006 | Client PC (HP DX2700) | 1 | In Use |
| | | | 2006 | * TFT Monitor | | In Use |
| | | | 2006 | * OS: MSWindowsXP/FederoCore | | In Use |
| | | | 2006 | * Office: MSOffice2003 | | In Use |
| | | | 2006 | * PDE: MSVisualStudio2005 | | In Use |
| | | Room server | 2006 | Server (HP ProLiant ML310 G3) | 1 | In Use |
| | | | 2006 | * TFT Monitor | | In Use |
| | | SW | 2005 | L3swich (3Com 4500-50) | 1 | In Use |
| | | SW(Practice) | 2006 | L2swich (3Com) | 11 | In Use |
| 4 | Lecturer room | Lecturer | 2005 | Client PC | 3 | In Use |
| | | | | * TFT Monitor | | In Use |
| | | | | * OS: MSWindowsXP/FederoCore | | In Use |
| | | | | * Office: MSOffice2003 | | In Use |
| | | | | * PDE: MSVisualStudio2005 | | In Use |
| | | SW | 2005 | L3swich (3Com 4500-50) | 1 | In Use |

3. LIST OF MJAOR EQUIPMENT FOR MECHATRONICS

(1) Mechanical Engineering

| Year | No. | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|-----|---|---------|------------|
| 2005 | 1 | GR26 Two Head Grinder | 1 | To be Used |
| 2005 | 2 | JIS-A150 Engineer's Bench Vice | 5 | To be Used |
| 2005 | 3 | KD-70SN SAKAE Work Table | 5 | To be Used |
| 2005 | 4 | B-13S Drilling Machine | 1 | To be Used |
| 2005 | 5 | G13S3 Electric Disc Grinder | 2 | To be Used |
| 2005 | 6 | MCA-450 Steel Snips | 2 | To be Used |
| 2005 | 7 | MYA-450 Steel Snips | 2 | To be Used |
| 2005 | 8 | MEA-450 Steel Snips | 2 | To be Used |
| 2005 | 9 | BUL-SH3 Electric Drill | 1 | To be Used |
| 2005 | 10 | 700SD Maintenance Tool Set | 3 | To be Used |
| 2005 | 11 | 700DX Auto-Mechanic & Maintenance Tool Set | 3 | To be Used |
| 2005 | 12 | IMP-30 Micrometer | 2 | To be Used |
| 2005 | 13 | IMP-50 Micrometer | 2 | To be Used |
| 2005 | 14 | CG-35A Cylinder Gauge | 1 | To be Used |
| 2005 | 15 | CG-60A Cylinder Gauge | 1 | To be Used |
| 2005 | 16 | CG-100A Cylinder Gauge | 1 | To be Used |
| 2005 | 17 | DS1-150 Precision Square with Base | 4 | To be Used |
| 2005 | 18 | HS-30 Analog Height Gauge | 1 | To be Used |
| 2005 | 19 | SP-100 Steel Parallel with Wooden Case | 2 | To be Used |
| 2005 | 20 | 542AA Precision Flat Level | 1 | To be Used |
| 2005 | 21 | 541AA Precision Square Level | 1 | To be Used |
| 2005 | 22 | 495-D Universal Bevel Protractor | 4 | To be Used |
| 2005 | 23 | DMC100-150M Digimatic Depth Micrometer | 1 | To be Used |
| 2005 | 24 | VAA-100 Cast Iron Precision type-A | 4 | To be Used |

| | | | | |
|------|----|---|---|------------|
| 2005 | 25 | No.8 Carbide Tool Set | 4 | To be Used |
| 2005 | 26 | HJK-750-1000 Cast Iron Surface Plate | 2 | To be Used |
| 2005 | 27 | HJK-750-1000 Surface Plate Stand OS-147 | 4 | To be Used |

(2) PLC Laboratory

| Year | No. | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|-----|---|---------|--------|
| 2006 | 1 | PLC(Mitsubishi) | 24 | In USE |
| 2006 | 2 | PLC Training Kit(Omron:OTS-PLC-K2) | 22 | In USE |
| 2006 | 3 | FA Training Model(Kentac:Model 2211) | 3 | In USE |
| 2006 | 4 | Computer(Hp) | 20 | In USE |

(Note) Items costing over 10,000.00 Rs. per unit are listed.

4. LIST OF MJAOR EQUIPMENT CARRIED BY JAPANESE EXPERTS

| Year | No. | EQUIPMENT | DONATED | USAGE |
|------|-----|--|---------|--------|
| 2005 | 1 | Photocopy Machine/Toshiba E-230 | 1 | In USE |
| 2005 | 2 | FAX/Richo Fax1130L | 1 | In USE |
| 2005 | 3 | Safe /DHS-111 | 1 | In USE |
| 2005 | 4 | Laser Printer/EPSON C9100 | 1 | In USE |
| 2006 | 5 | Laptop PC/Toshiba Satellite A80-P4301 | 2 | In USE |
| 2006 | 6 | Desktop PC/Hp dx2000 | 6 | In USE |
| 2006 | 7 | Windows Server 2003 | 2 | In USE |
| 2006 | 8 | MS Office Professional .2003 | 8 | In USE |
| 2006 | 9 | Inkjet Printer/Hp Office jet 7210 | 1 | In USE |
| 2006 | 10 | Digital Photocopier /Jiaweng JW 5033A | 1 | In USE |
| 2006 | 11 | PC Parts /Intel 3400Mhz,17Monitor | 5 | In USE |
| 2006 | 12 | 32bit Board Micro Computer | 1 | In USE |
| 2006 | 13 | Toshiba studio230Network kit | 2 | In USE |
| 2007 | 14 | PLC Unit /Q02 CPU | 1 | In USE |
| 2007 | 15 | Photocopy Machine/Richo Aficio Model 2000L | 1 | In USE |
| 2007 | 16 | Laptop PC/Hp NX6320 | 1 | In USE |
| 2007 | 17 | Desktop PC/Hp DC7600 | 2 | In USE |
| 2007 | 18 | Inkjet Printer/ Hp Office jet 7210 | 3 | In USE |
| 2007 | 19 | Distributor/Koike sanso G-103 | 3 | In USE |
| 2007 | 20 | PIC Board/ PIC Start plus | 1 | In USE |
| 2007 | 21 | Laminator/REXEL LP35HS | 1 | In USE |
| 2007 | 22 | Photo sensor/Omron E3S-VS1E4 | 21 | In USE |
| 2007 | 23 | Robotic Arm /RT0002 | 1 | In USE |
| 2007 | 24 | Direct driven table set/ YW-XTB | 1 | In USE |
| 2007 | 25 | Tool set /S-76 | 1 | In USE |
| 2007 | 26 | Air Band/NHBDP-10-MZE135A2 | 1 | In USE |
| 2007 | 27 | Electromagnetic valve/YM4F01 | 1 | In USE |
| 2007 | 28 | Photocopy Machine/Cannon | 1 | In USE |

(Note) Items costing over 20,000.00 Rs. per unit are listed.

5 . Equipment provided to the Career Guidance Center, Sri Lanka Technical College

| No. | Items | Quantity | Remarks |
|-----|------------------------|----------|---------|
| 01 | Photocopy machine | 1 | |
| 02 | Computer with software | 2 | |
| 03 | UPS | 2 | |
| 04 | Laser printer | 1 | |
| 05 | TV | 1 | |
| 06 | VIDEO DVD/CD player | 1 | |
| 07 | Projector | 1 | |
| 08 | Visualizer | 1 | |
| 09 | Tripod screen | 1 | |

添付資料 9 : カウンターパート研修実績

| 氏名 | 科名 | 研修国 | 研修期間 | 研修形態及び科目 | 備考 |
|------------------------------|---------|----------|-----------------|----------------------|--------------------|
| Mr.K.D.W. Goonewardena | コンピューター | 本邦 | 2006/2/9-3/15 | 集団(研修企画・運営) | |
| Dr.H.L. Obeysekara | 局長 | 本邦 | 2006/3/5-3/18 | 個別(職業訓練行政) | |
| Mr.M.L.M. Cooray | 金属加工 | 本邦 | 2006/4/3-10/21 | 集団(国際溶接技術者) | |
| Mr.N. Rathnaweera | メカトロクス | 本邦 | 2006/4/25-12/16 | 集団(メカトロクス) | |
| Mr.A.M.G. Seneviratne | 情報 | スリ Lanka | 2006/6/12-7/8 | 第三国研修(ネットワーク) | |
| Mr.N.R.R.K. Wijenayake | 校長 | 本邦 | 2006/6/13-7/22 | 集団(職業訓練管理) | |
| Ms.K.G.Ranjanie | 情報 | 本邦 | 2006/6/20-12/23 | 集団(情報工学) | |
| Mr.K.K.H. Kulatunga | 金属加工 | 本邦 | 2006/7/2-9/30 | 個別(溶接) | |
| Ms.R.B. Guruge | 情報 | 本邦 | 2006/8/22-12/1 | 個別(情報) | |
| Mr.K.J.A.A.T. Jayawardena | メカトロクス | シンガポール | 2006/8/22-9/4 | 第三国研修(IT 及びメカトロクス技術) | プロジェクト配置前 |
| Mr.G.A. Karunathna | 金属加工 | 本邦 | 2006/10/1-12/16 | 個別(溶接) | |
| Mr.K.D.W. Goonewardena | コンピューター | フィリピン | 2007/2/19-3/2 | セミナー(フェンズ マシナリ) | コロンボ プラン主催 |
| Mr.T. Hapangama | 次官 | 本邦 | 2007/2/19-3/2 | 個別(職業訓練行政) | 職業技術訓練省 |
| Mr.K.A.H. Kalugampitiya | 局長 | 本邦 | 2007/2/19-3/2 | 同上 | スリ Lanka 国立技術教育研究所 |
| Mr.J. Ariyasinghe | メカトロクス | 本邦 | 2007/5/6-8/25 | 個別(サーボ モーター位置制御) | |
| Mr.D.M.C.S.P. Dissanayake | メカトロクス | 本邦 | 2007/6/17-12/8 | 集団(メカトロクス) | |
| Ms.S. Hettiarachchi | メカトロクス | シンガポール | 2007/8/14-8/29 | 第三国研修(メカトロクス技術) | |
| Mr.W.L.P. Gunathilake | 情報 | 本邦 | 2007/8/19-12/1 | 個別(情報) | |
| Mr.N.M. Padmasiri | 情報 | 本邦 | 2007/8/19-12/1 | 同上 | |
| Ms.N. Sugathadasa | 上席次官補 | 本邦 | 2007/9/30-10/6 | 個別(職業訓練行政) | 職業技術訓練省 |
| Mr.K.D.S.D. Wimalasekara | 溶接 | 本邦 | 2007/9/30-12/21 | 個別(溶接) | |
| Mr.A.A. Nawaratne | メカトロクス | 本邦 | 2007/9/30-12/21 | 個別(油空圧・CNC) | |

添付資料 10：在外事業強化費

(単位：スリランカルピー)

| | 2005 年度 | 2006 年度 | 2007 年度 |
|---------|--------------|--------------|--------------|
| 第 1 四半期 | | 342,676.40 | 867,245.41 |
| 第 2 四半期 | 203,174.31 | 1,150,751.93 | 1,434,152.12 |
| 第 3 四半期 | 1,238,287.40 | 3,217,011.62 | 889,168.56 |
| 第 4 四半期 | 2,653,510.03 | 3,260,516.21 | |
| 合計 | 4,094,971.74 | 7,970,956.16 | 3,190,566.09 |

(教材開発・技能競技会費用を含める)

添付資料 11：技術委員会会合実績

| No. | 日付 | 場所 | 主な内容 |
|-----|------------|------|--|
| 1 | 16/05/2006 | DTET | <ul style="list-style-type: none"> ・技術委員会メンバーの紹介 ・JSCoT プロジェクトの概要紹介 ・プロジェクトの進捗の報告 ・次期の活動計画 |
| 2 | 15/08/2006 | 同上 | <ul style="list-style-type: none"> ・5月から8月の日本側投入とプロジェクト活動の報告 ・各コースの科目に関する議論 ・各議論についての主要事項の発表 |
| 3 | 20/12/2006 | 同上 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの活動の進捗報告 ・NVQ レベル 5・6 の入学資格と募集手順について ・金属加工、情報通信、メカトロニクス各コースの内容についての発表 <ul style="list-style-type: none"> - 年間訓練計画(訓練期間、所要時間など) - シラバス - 教材 - 機材と実習室のレイアウト - 指導員 - 議論の要約 ・実習室の訪問 |
| 4 | 21/08/2007 | 同上 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト全体の進捗報告 ・各コースの進捗の報告と次期の活動の協議（金属加工、情報通信、メカトロニクスのグループ別） ・実習室と実験室の訪問 |
| 5 | 28/02/2008 | 同上 | <ul style="list-style-type: none"> ・故 Upali Premasiri 氏(Nawalola Trading Co.Ltd.前 TC メンバー)への黙祷 ・プロジェクト全体の進捗報告 ・各コースの進捗の報告と次期の活動の協議（金属加工、情報通信、メカトロニクスのグループ別） ・実習室と実験室の訪問 |

添付資料 12 : 教材開発リスト

| No. | Text title | No. of copies | Remarks |
|-----|------------------------------------|---------------|-----------------|
| 01 | NCECP-Automotive-1 | 460 | English |
| 02 | NCECP-Electronics-1 | 335 | ditto |
| 03 | NCECP-Technical drawing-1 | 1,100 | ditto |
| 04 | NCECP-Fitter machinist-1 | 450 | ditto |
| 05 | NCECP-Industrial electrician-1 | 570 | ditto |
| 06 | NCECP-Wood machinist | 375 | ditto |
| 07 | NCECP-Automotive-2 | 435 | Sinhala version |
| 08 | NCECP-Oxy-Acy. Gas welding | 550 | ditto |
| 09 | NCECP-Manual Arc welding | 550 | ditto |
| 10 | NCECP-Electronics-2 | 375 | ditto, on going |
| 11 | NCECP-Technical drawing-2 | 1,100 | ditto, on going |
| 12 | NCECP-Fitter machinist-2 | 450 | ditto |
| 13 | NCECP-Industrial electrician-2 | 570 | ditto, on going |
| 14 | NCEDA-Engineering drawing | 1,250 | ditto, on going |
| 15 | NCECP-CO2 Arc welding | 250 | ditto |
| 16 | NCECP-MIG Arc welding | 250 | ditto |
| 17 | NCECP-TIG Arc welding | 250 | ditto |
| 18 | NCECP-Electronics-1 | 125 | Tamil version |
| 19 | NCECP-Automotive-1 | 125 | ditto |
| 20 | NCECP-Electrician-1 | 125 | ditto, on going |
| 21 | NCECP-Technical drawing-1 | 125 | ditto |
| 22 | NCECP-Oxy-Acy. Gas welding | 125 | ditto, on going |
| 23 | NCECP-Manual Arc welding | 125 | ditto, on going |
| 24 | NC-Secretarial practice English | 450 | English |
| 25 | NCECP-Oxy-Acy. Gas welding | 150 | ditto |
| 26 | NCECP-CO2 Arc welding | 150 | ditto |
| 27 | NCECP-Manual Arc welding | 150 | ditto |
| 28 | NCECP-MIG Arc welding | 150 | ditto |
| 29 | NCECP-TIG Arc welding | 150 | ditto |
| 30 | Plasma welding & cutting | 150 | ditto |
| 31 | Submerged Arc welding | 150 | ditto |
| 32 | Welding inspection | 150 | ditto |
| 33 | Automatic & semi-automatic welding | 150 | ditto |

添付資料 13：訓練生募集状況

| 期 | コース | 試験日 | 応募者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 現在の 学生数 |
|---------------|-------------|---------|-----|-----|-----|-----|------------|
| 第1期 (2007) | 金属加工 | 2007年1月 | 78 | 49 | 20 | 20 | 18 |
| | 情報通信 | 同上 | 86 | 45 | 26 | 20 | 20 |
| 第2期 (2008) | 金属加工 | 2008年1月 | 52 | 24 | 20 | 20 | 20 |
| | 情報通信 | 同上 | 147 | 62 | 23 | 22 | 22 |
| | メカトロ ニクス | 同上 | 64 | 43 | 23 | 23 | 23 |

添付資料 14：各ドナーの支援概況

| | TEDP (ADB) | GTZ | KOICA |
|----------|--|---|--|
| プロジェクト期間 | 2006年～2011年 | 2005年～2008年 | 2004年～2007年 |
| 支援対象 CoT | マラダナ、ラトナプラ、パドゥラ、アンウラダプラ、キャンディ、クルナガラ | ゴール、アンパラ | ジャフナ |
| 科目 | 建設技術、自動車技術、溶接・製造技術、情報通信、冷却・空調技術、農業機械技術、ジュエリーデザイン・製造、バイオ医療工学、電子画像診断・印刷、食品技術、生産技術 | メカトロニクス、情報通信(電子通信)、自動車 | 機械工学、自動車整備、電子工学、オフィスオートメーション・コンピューティング |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術教育を提供する CoT の強化 2. 市場に対応した技術教育・職業訓練システムを支援する MVTT と関連機関の強化 3. UNIVOTEC の設立. | <ol style="list-style-type: none"> 1. TC/CoT の運営体制の確立 2. 実務志向のカリキュラム開発 3. 新訓練技法・道具の導入 4. ニーズに対応した人材育成のための産業界・商工会議所との連携システムの設立 5. 必要な機材の供与 6. 教員訓練の教育概念の開発と実施 7. スタディーツアー、会議、セミナーを通じた国際的な経験やノウハウの交換の促進 8. 活動のモニタリングおよび評価 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ジャフナ TC の技術教育・訓練システムの質の改善 2. ジャフナ TC の昇格を通じた貧困削減と社会開発への貢献 3. スリランカのパランスの取れた地域開発への貢献 |
| 進捗 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各活動分野の委員会を設置 ◆ 各科目カリキュラムの作成 ◆ 各 CoT で実施する科目(3 コースずつ)の決定 ◆ 各 CoT に諮問機関を任命. ◆ 意識向上ワークショップを 3 回実施 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 実習室や教室の改修・増築実施中 ◆ 機材・道具類の注文完了 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ジャフナ CoT の実習室、1 万ガロンの給水タンク、訓練プログラム用機材の建設・設置 ◆ 250KVA トランスフォーマーの供与と設置 ◆ インターネット施設を使ったクルナガラ TC との情報通信技術ユニットの設立 ◆ ゴール、クルナガラ、キャンディの CoT に 10 名のボランティア配置 |

添付資料 15 : TEDP の概要

(ADB, Report and Recommendation of the President to the Board of Directors, “Proposed Loan Democratic Socialist Republic of Sri Lanka: Technical Education Development Project” より抜粋)

期待されるインパクト

経済成長や社会開発に貢献する中堅技術者およびより高い技術を持つ人材を開発する。

成果

技術・技能訓練におけるTVETシステムのアクセスの改善や能力の強化によって、労働市場のニーズに対応する。

アウトプット

- (i) 技術教育を提供するCoTが強化される。
- (ii) 市場の動向に敏感なTVETを支援するMVTTや関連機関が強化される。
- (iii) 職業技術大学 (UNIVOTEC) が設立され、運営される。

コンポーネント

1: 技術教育におけるCoTの強化

- a. 管理・運営システムの強化
- b. 戦略的経営の強化
- c. 学生の選考基準と新カリキュラムの開発
- d. 施設や機材の向上
- e. 指導員の技術の向上

2: MVTTや関連機関の強化

- a. アウトプット・ベース予算の開発
- b. TVETセクターの政策分析及び計画の強化
- c. NVQや技術者・技師のための基準プログラムの開発
- d. TVETの質保証システムの強化
- e. TVETの社会的なイメージの向上

3: 職業技術大学の設立

- a. 大学の経営・技術能力の開発
- b. 学生の選考基準と新カリキュラムの開発
- c. 施設・機材の向上

添付資料 16 : PDM 改定箇所一覧

(1) General

| | SECTION OF PDM | BEFORE THE REVISION (VERSION 3) | AFTER THE REVISION (VERSION 4) | REASONS OF REVISION |
|---|----------------|---------------------------------|--------------------------------|--|
| 1 | General | Maradana CoT | SLCoT | The “Maradana CoT” was changed to SLCoT (Sri Lanka College of Technology) which is official name of the college. |

(2) Narrative Summary

| | SECTION OF PDM | BEFORE THE REVISION (VERSION 3) | AFTER THE REVISION (VERSION 4) | REASONS OF REVISION |
|---|----------------|---|--|--|
| 1 | Overall Goal | 2. DTET will utilize lessons and experience of Maradana COT in establishing proposed COTs in provincial basis.. | 2. COTs are established and managed by utilizing lessons and experiences of SLCoT. | The second overall goal was changed because currently there are not only the DTET but many other actors who have been involved in the establishment of COTs, such as TEDP and other donors, as well as TVET related organizations, and they are playing some roles respectively, although DTET is responsible to the COTs. |
| 2 | Outputs | 3. Management capacity of DTET on training delivery is improved. | 3. Management capacity of DTET for training delivery of the NVQ level 5 & 6 courses and for the implementation of career guidance/counseling, textbook development and skills competitions is improved. | The activities of the Output 3 include not only the training delivery, but also those activities added to the revised version. |
| 3 | Outputs | 4. Accumulated know-how in Maradana COT is shared among the TC/COT, in the field of preparation of NVQ level 5&6 courses and improved methods on training delivery. | 4. Know-how in the fields of implementation of NVQ level 5 & 6 courses, industry collaborations, career guidance/ counseling and skills competitions is accumulated in DTET through the establishment of the 3 model courses in SLCoT to share it with other TC/COT. | The Project has confirmed that there are other activities apart from preparation of NVQ level 5 & 6 courses to be accumulated the know-how, not only in SLCoT but especially in DTET to achieve the Project Purpose. And it identified that since the DTET manages all TCs and COTs, the know-how should be accumulated in DTET. |
| 4 | Activities | 1-1. Follow up establishing of the National Skill Standards and curricula of the model courses | 1-1 Follow up on establishing of the National Skill Standards and Curriculum Outline of the model courses | The curricula are officially called Curriculum Outlines. |

| | | | | |
|----|------------|--|--|---|
| 5 | Activities | 1-7. Conduct courses | 1-7 Conduct full-time and part-time courses | The activity of the part-time diploma course was in the activity of Output 3, but since it is more relevant to the Output 1. |
| 6 | Activities | 2-1. Formulate functional Technical Committee for each model course to establish collaborative relationships between COT and industry | 2-1 Formulate functional Technical Committee for each model course to establish collaborative relationships between COT and industry, including activities such as; <ul style="list-style-type: none"> • Implement course visits by industry to 3 model courses and evaluate the model courses • Reflect the recommendations made by industry in the model courses • Realize surveys on industry's needs | Although there were indicators in the Output 2 related to there each activities added, the detailed activities were not mentioned in the PDM. |
| 7 | Activities | 3-1. Enhance capacity of DTET to conduct effective career guidance and counseling, including; <ul style="list-style-type: none"> • Base-line survey on present situation of career guidance in Maradana COT • Introduce a system to collect and update labor market information for the students in Maradana COT. • Provide advice to the career guidance officers of Maradana COT in the fields of; effective and continuous implementation of counseling and career guidance, communication with industry, etc. | 3-1 Enhance capacity of DTET to conduct effective career guidance and counseling, including; <ul style="list-style-type: none"> • Implement survey and studies to improve career guidance and counseling in SLCOT • Improve the system to collect and update labor market information for the students in SLCOT • Provide advice to the career guidance officers of SLCOT in the fields of; effective and continuous implementation of career guidance and counseling, communication with industry, etc. • Support students in job placement | Details of activities were changed based on the actual activities. |
| 8 | Activities | 3-2. Rationalize selection criteria of Maradana COT, including introduction of aptitude tests. | Deleted | The selection criteria will be developed by the TEDP, and all CoTs have to follow it. |
| 9 | Activities | 3-3. Support preparation for part-time diploma courses in Maradana COT for those who are working in industry and who have completed NVQ level 4. | Deleted | The activity of part-time diploma courses were included in the activities of Output 1. |
| 10 | Activities | 3-5 Improve training materials including; <ul style="list-style-type: none"> • Student handbooks • Audio-visual teaching tools | 3-2 Develop and Improve teaching materials | Details of activities were changed based on the actual activities. |

| | | | | |
|----|------------|---|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> Teachers' guide, etc. | | |
| 11 | Activities | 4-1. Support formulation of additional NVQ level 5&6 courses in Maradana COT with the initiative of DTET. | Deleted | The Project will not formulate additional courses because the TEDP will introduce 3 new additional courses. |
| 12 | Activities | 4-2. Disseminate improved management skills to other TC/COT, in the fields of; <ul style="list-style-type: none"> Formulation of training courses of NVQ level 5&6 Industry collaboration Career guidance/counseling Selection criteria Formulation of part-time diploma courses Studies to ensure the relevance of the courses | 4-1 Disseminate improved management skills to other TC/COT by providing documents/manuals and conducting training, in the fields of, <ul style="list-style-type: none"> Conducting of training courses of NVQ level 5&6 Industry collaboration Career guidance/counseling Assistance for job placement Conducting of part-time diploma/short-term courses Research/studies to ensure the relevance of the courses | Details of activities were changed based on the actual activities |
| 13 | Activities | 4-3. Improve technical skills of the instructors engaging in teaching of similar subjects to the model courses. | 4-2 Provide in-service training to improve technical skills of the instructors engaging in teaching of similar subjects to the model courses. | Details of activities were changed based on the actual activities |
| 14 | Activities | | 4-3 Conduct interviews/survey to the director/principal and staff of other TC/COT about the utilization of know-how | Added this activity because it is necessary to obtain the information for the indicator 3 of the Project Purpose. |

(3) Indicators

| | SECTION OF PDM | BEFORE THE REVISION (VERSION 3) | AFTER THE REVISION (VERSION 4) | REASONS OF REVISION |
|---|-----------------|--|--|--|
| 1 | Overall Goal | 3. DTET produces 1000 technicians of NVQ level 5&6 annually | 3. DTET produces 1000 middle level technicians of NVQ level 5&6 annually | It was clarified to middle level. |
| 2 | Overall Goal | 4. Nine COT are established in each province | 4. A COT is established in each province | The former description was not correct. |
| 3 | Project Purpose | 1. 80% of the students of the model courses complete the courses and obtain diploma. | Deleted | It was deleted because same indicator exists in the level of Output. |

| | | | | |
|----|-----------------|--|--|---|
| 4 | Project Purpose | 4. Manuals developed in Maradana COT are utilized in other COT | 3. Manuals/documents developed in SLCoT and DTET are utilized in other COTs | Added the DTET because it is important accumulate know-how in DTET to achieve the Project Purpose.. |
| 5 | Project Purpose | 5. More curricula are available for NVQ level 5&6. | Deleted | The project decided that it dose not realize the establishment of additional NVQ level 5 & 6 courses because the TEDP introduces 3 new courses in SLCoT |
| 6 | Project Purpose | 6. More teaching staffs are qualified to teach NVQ level 5&6. | Deleted | The project decided that it dose not realize the establishment of additional NVQ level 5 & 6 courses because the TEDP introduces 3 new courses in SLCoT |
| 7 | Project Purpose | 7. Nine different corporate plans for each COT are formulated | Deleted | The TEDP has been preparing the committees to establish COTs. |
| 8 | Project Purpose | 8. More courses are available for NVQ level 5&6. | Deleted | The project decided that it dose not realize the establishment of additional NVQ level 5 & 6 courses because the TEDP introduces 3 new courses in SLCoT |
| 9 | Output | 1-1. Syllabi and training materials for the model courses is developed timely 1-2. Equipment is purchased and installed timely 1-3. Training infrastructure is established timely 1-4. Teaching staffs are trained to teach the model courses 1-5. Weekly and monthly training schedules for each course are formulated timely 1-6. More than 80% of the students of the first batch complete the courses and obtain diploma 1-7. Monitoring is conducted periodically and lessons learned are reflected to the courses and documented in manual | 1-1. The endorsed National Skill Standard and Curriculum Outlines of the 3 model courses become available. 1-2. Appropriate syllabuses and teaching materials for the model courses are developed. 1-3. Equipments necessary for the model courses are purchased and installed. 1-4. Training infrastructures necessary for the model courses are established. 1-5. Counterpart staff gains sufficient knowledge to teach in the model courses. 1-6. Adequate weekly and monthly training schedules for each course are formulated. 1-7. More than 80% of the full-time students of the first batch complete the courses and obtain diploma, and part-time courses are established. 1-8. Monitoring is conducted periodically and lessons learned are reflected to the courses and documented | The indicators were changed to correspond to the actual activities |
| 10 | Output | 2-1. Technical Committee is formed for each model courses and meetings are | 2-1-1 Technical Committee is formed for each model courses and meetings are held | The numbering and the indicators were changed to correspond to the actual activities.. |

| | | | | |
|----|--------|---|---|--|
| | | <p>held more than 3 times a year</p> <p>Industries visit the model training courses to monitor and evaluate the courses 3times a year</p> <p>Recommendations are made by the industry to improve the courses</p> <p>Survey on industry's needs are conducted continuously</p> <p>Periodical industrial placement for teaching staffs is implemented regularly.</p> <p>In-plant training is conducted in each new course for the period of more than XXX week a year.</p> <p>Short-term courses are held regularly.</p> | <p>more than 3 times a year</p> <p>Industries visit the model training courses to monitor and evaluate the courses 3 times a year</p> <p>Recommendations are made by the industry to improve the courses</p> <p>Survey on industry's needs is conducted.</p> <p>System of in-plant training is established and students of the model courses gains experiences in industry</p> <p>Short-term courses are held</p> <p>Periodical Industrial placement for C/P staff is implemented.</p> | |
| 11 | Output | <p>2-2. More than 90% of the students are using the career guidance/ labor market information available at the Maradana COT</p> <p>3-1-1. Individual counseling is held for more than 5 students per month</p> <p>3-1-2. Career guidance seminar is held for the applicants to give appropriate idea on course related employment.</p> <p>3-1-3. Career guidance seminar is conducted for COT students 11 times a year.</p> <p>3-2. A system of conducting periodical studies to ensure the relevance of the quality and level of the training is established.</p> <p>3-3. Results of the studies are effectively used to improve quality and level of the training.</p> <p>3-4-1. Introduced handbook, visual tools,</p> | <p>2-1-2. More than 90% of the students are using the career guidance/ labor market information available at the SLCOIT</p> <p>Individual counseling is held for more than 5 students per month</p> <p>Career guidance seminar is held for the applicants to give appropriate idea on course related employment.</p> <p>Career guidance seminar is conducted for COT students 11 times a year.</p> <p>A system of conducting periodical studies to ensure the relevance of the quality and level of the training is established.</p> <p>Results of the studies are effectively used to improve quality and level of the training.</p> <p>Developed teaching materials such as textbooks, visual tools, etc. are used effectively and appreciated at all the COT/TC.</p> <p>Skills competitions are continuously held and budgetary provisions for the event are given to make the event financially</p> | <p>The numbering and the indicators were changed to correspond to the actual activities.</p> |

| | | | | |
|----|--------|---|--|--|
| | | <p>3-6. teachers guide, etc. are used effectively and appreciated at all the COT/TC. National skill competitions are continuously held and budgetary provisions for the event are given to make the event financially sustainable.</p> | <p>3-4. sustainable.</p> | |
| 12 | Output | <p>4-1. Proposals are developed and preparation has done to commence additional diploma courses in Maradana TC. 4-2-1. Manuals on formulation of NVQ level 5&6 courses are developed and used in other TC/COT. 4-2-2. Each TC/CoT establishes Technical Committee/Advisory Council. 4-2-3. Each TC/CoT introduces the system to collect and update labor market information. 4-2-4. Each TC/CoT introduces an aptitude test 4-2-5. Manuals for formulation of part-time diploma courses are documented. 4-2-6. Studies are conducted in other TC/COT to ensure the relevance of the courses. 4-2-7. Seminars and workshops are held by each counterpart of the Project. 4-2-8. More than 45 teaching staffs participate short-term courses and completed successfully. 4-3. Seminars and workshops are held by each counterpart of the Project.</p> | <p>4-1-1 Documents on delivering of NVQ level 5&6 courses are prepared. 4-1-2 Technical Committee/Advisory Council are established in other TC/CoTs 4-1-3 The improved system to collect and update labor market information is introduced in other TC/CoTs. 4-1-4 Know-how to support student's job placement is introduced in other TC/COTs. 4-1-5 Studies are conducted in other TC/COT to ensure the relevance of the courses. 4-2. Seminars and workshops are held by counterpart staff of the Project.</p> | <p>The numbering and the indicators were changed to correspond to the actual activities.</p> |

(4) Means of Verification

| | SECTION OF PDM | BEFORE THE REVISION (VERSION 3) | AFTER THE REVISION (VERSION 4) | REASONS OF REVISION |
|---|-----------------|---|--|---|
| 1 | Project Purpose | <ol style="list-style-type: none"> 1. Record on No. of students obtained diploma 2. Employment status of the passed-out students 3. No. of application per year 4. Interviews to the director/principal and staff of other TC/COT 5. Proposals made by other TC to be COT 6. Curricula developed for NVQ level 5&6 8. Record of training conducted for teaching staffs 9. Record of courses conducted | <ol style="list-style-type: none"> 1. Reports of the survey on employment status on the passed-out students 2. Statistical Handbook on Technical Education 3. Interviews/survey to the director/principal and staff of other TC/COT | The means of verification were reviewed and changed to correspond to the revised indicators, |
| 2 | Output | <ol style="list-style-type: none"> 1-1. Syllabi and training materials developed 1-2. Date of installation of the equipment 1-3. Date of establishment training infrastructure 1-4. Record of training conducted for teaching staffs 1-5. Weekly and monthly training schedule formulated 1-6. Record on No. of the students per course who applied, recruited, completed and obtained diploma 1-7. Monitoring and evaluation reports of the courses, and record on actions taken according to the recommendation in the reports | <ol style="list-style-type: none"> 1-1. Endorsed National Skill Standard and Curriculum Outlines of the 3 courses developed 1-3. List of installed equipments 1-4. Record of establishment of training infrastructures 1-5. Reports of technical transfer and trainings in Japan 1-6. Weekly and monthly training schedule Formulated 1-7. Statistical Handbook on Technical Education 1-8. Monitoring and evaluation reports of the courses and records on actions taken | The numbering and the means of verification were changed to correspond to the revised indicators. |
| 3 | Output | <ol style="list-style-type: none"> 2-1-1. No. of Technical committee formed 2-1-2. Record on No. of committee meetings held per year 2-2. Record on No. of visits of the committee members to the courses 2-3. Report and Minutes of the meeting of | <ol style="list-style-type: none"> 2-1-1 List of the member of Technical Committee and Minutes of Technical Committee meetings 2-1-2 Minutes of Technical Committee meetings 2-1-2 Minutes of Technical Committee | The numbering and the means of verification were changed to correspond to the revised indicators. |

| | | | | |
|---|--------|--|--|--|
| | | <p>the committee</p> <p>2-4. Report on the industry's needs made by the committee</p> <p>2-5. Record on No. of periodical industrial placement of the teaching staffs</p> <p>2-6. Record of the in-plant training conducted</p> <p>2-7. Record on short-term courses held</p> | <p>2-1-3 meetings</p> <p>Minutes of Technical Committee meetings</p> <p>2-1-4 Record on the in-plant training conducted</p> <p>2-2. Record on short-term courses held.</p> <p>2-3-1 Reports of industrial placement of the C/P staff</p> <p>2-3-2</p> | |
| 4 | Output | <p>3-1-1. Record on No. of students using the data base</p> <p>3-1-2. Record on No. of counseling held per month</p> <p>3-1-3. Record on No. of career guidance seminar held prior to entrance</p> <p>3-1-4. Record on No. of career guidance seminar held for TC students per year</p> <p>3-2. Record on implementation of aptitude tests</p> <p>3-3. Document on module based curriculum, planning documents on allocation of the staff and budget for short-term courses</p> <p>3-4-1. Report and recommendations made by the studies</p> <p>3-4-2. No. of recommendations in the study report for which certain actions were made by the management</p> <p>3-5. Evaluation made by students and staff of other TC</p> <p>3-6. Report on National skill competition</p> | <p>3-1-1 Record on No. of students using the data base</p> <p>3-1-2 Record on No. of counseling held per month</p> <p>3-1-3 Record on No. of career guidance seminar held prior to entrance</p> <p>3-1-4 Record on No. of career guidance seminars held for COT students per year</p> <p>Reports of the periodical studies</p> <p>Reports of the actions taken</p> <p>3-2-1 Report of the evaluation made by students and staff of other TC/COT</p> <p>3-2-2 Report on skills competitions</p> <p>3-3.</p> <p>3-4.</p> | <p>The numbering and the means of verification were changed to correspond to the revised indicators.</p> |
| 5 | Output | <p>4-1 Proposal and plan for financial and human resource arrangement needed for the additional courses</p> <p>4-2-1. Manuals on formulation of NVQ level 5&6 courses</p> <p>4-2-2. Records and minutes of Technical Committee in other TC/COT.</p> <p>4-2-3. Record on progress report from Career Guidance Centre from TC/CoT</p> <p>4-2-4. Record on student selection in other</p> | <p>4-1-1 Documents such as syllabuses, teaching materials, training plans for delivering NVQ level 5&6 courses</p> <p>Records and minutes of Technical Committee/Advisory Council in other TC/COT.</p> <p>4-1-2 Progress report from Career Guidance Centre in other TC/CoT</p> <p>4-1-3 Record on student's job placement in other TC/COT</p> <p>Study report</p> | <p>The numbering and the means of verification were changed to correspond to the revised indicators.</p> |

| | | | |
|--|--|---|--|
| | 4-2-5. TC/COT Manuals on formulation of part-time diploma courses 4-2-6. Study report and recommendation taken to the management 4-2-7. Report of the seminars and workshops held by Project counterparts 4-2-8. Report of the short term courses held by Project counterparts 4-3. | 4-1-4 Report on short-term courses held by Project C/P staff 4-1-5 4-2. | |
|--|--|---|--|

(5) Important Assumption

| | SECTION OF PDM | BEFORE THE REVISION (VERSION 3) | AFTER THE REVISION (VERSION 4) | REASONS OF REVISION |
|---|-----------------|--|--|---|
| 1 | Overall Goal | <ul style="list-style-type: none"> Cease-fire agreement of the Sri Lankan government and LTTE will be continued. | Deleted | Although the cease-fire was breached, the efforts of all stakeholders have been continued. |
| 2 | Project Purpose | <ul style="list-style-type: none"> Economic development and labor demand for the middle level technical personnel will be continued. Policy and priority area of the Sri Lanka government on human resource development will not be changed Ministry's policy on establishing COT will not be changed | <ul style="list-style-type: none"> Economic development and labor demand for the middle level technical personnel will be continued. Policy and priority area of the Sri Lanka government on human resource development will not be changed Ministry's policy on establishing COT will not be changed ADB, GTZ and KOICA will support the Sri Lankan Government in establishing COTs | As to the fourth point, in the actual situation, the supports of each donor were promised, and it is necessary to continue giving the supports to establish 9 CoTs. |
| 3 | Activities | <ul style="list-style-type: none"> Process of purchasing the equipment for the model course is not hampered. Necessary infrastructure of the Project is offered timely. Counterpart of the Project will continue working for TC/COT. | <ul style="list-style-type: none"> Process of purchasing the equipment for the model course is not hampered by uncontrollable factors. Timely constructions of necessary infrastructure of the Project is not hampered by uncontrollable factors Counterpart of the Project will continue working for SLCOT. National Skill standards and Curriculum Outlines of the model courses are endorsed. | The first 2 assumptions were about the uncontrollable factors out side the Project, but it was not mentioned so clearly. As to the fourth assumption, although the Project has been requesting to the relevant authorities, it has been taking long time and causing delay to the Project. However, the it has to be endorsed by TVEC and uncontrollable for the Project. |

添付資料 17：評価グランド

(1) Achievement and Implementation Process

| Items | Evaluation Questions | | Achievement and Current Situations |
|-----------------|---|--|---|
| | Main Questions | Details | |
| Overall Goal | <p>1. Quality of the trained manpower in TC/COT meets the labor market demand</p> <p>2. DTET will utilize lessons and experience of Maradana COT in establishing proposed COTs in provincial basis.</p> | <p>1. 70% of the students of the TC/COT obtained course-related employment on/ after completion of the courses</p> <p>2-1. Application of the youth to TC/COT is increased by 2% annually.</p> <p>2-2. Every course obtains sufficient number of qualified students according to their seating capacity</p> <p>2-3. Dropout rates of the students reduce from present 20% into 10%.</p> <p>3. DTET produces 1000 technicians of NVQ level 5&6 annually</p> <p>4. Nine COT are established in each province</p> | <p>At the moment of mid-term evaluation study, although it is difficult to prospect the level of achievement of Overall Goal, all nine TCs to be upgraded to CoTs including the Maradana which has been already upgraded by the Project have been receiving donors' supports to introduce some courses of NVQ level 5 & 6. As a largest intervention, TEDP financially supported by ADB has been implementing its activities from 2006, for the purpose of (i) strengthening 6 CoTs to offer technical education; (ii) strengthening the MVTT and relevant institutions to support a market-responsive technical education and vocational training system; and (iii) establishing the University of Vocational Technology (UNIVOTEC). Also GTZ and KOICA have their projects aiming at the establishment of CoTs as shown in the Annex 13. The TEDP has been preparing the common system for the NVQ level 5 and 6, and JICA, GTZ and KOICA have been making effort to establish level 5 & 6 courses in one or two TCs. At this moment SLCoT is the only CoT started providing level 5 & 6 courses already. In this situation, it can be said that TVET sector in Sri Lanka has been progressing toward the achievement of Overall Goal, getting the supports from various donors.</p> |
| Project Purpose | <p>DTET gains managerial and technical capacity to establish COTs in each province by introducing model courses of NVQ level 5&6 in Maradana COT to train middle level technicians.</p> | <p>1. 80% of the students of the model courses complete the courses and obtain diploma.</p> <p>2. 90% of the passed-out students of the model courses obtain expected level of course-related employment</p> <p>3. Youth applying for the model courses increase 10% annually.</p> | <p>Since the first batch of students for the model courses has not been completed the courses yet, the information for the indicator 1 and 2 is not available. However, the 95% of the students of the first batch has been successfully proceeding to the second year of the model courses, and the achievement of the indicator can be expected. According to the Career Guidance and Counseling Center, there is enough possibility for passed-out students to obtain relevant employment.</p> <p>Although the number of applicants of the second batch for the model course in ICT was increased significantly (from 86 in 2007 to 147 in 2008), that of Metal Work was decreased from 78 to 52, as shown in the Annex 12. It was because the commencement of the academic year for NVQ level 4 courses was changed from January to July since 2006. Although the National Certificate (NC) in ICT course, which is required to complete before the model course completes in 6 months, the NC in Metal Work course requires 1 year. Therefore, the Metal Work students who directly continue from the NC course had not finished their NC level course yet by the time the model courses started. According to the DTET, the matter of the commencement of academic year is under trial and it might be changed again in the future. Coordinating with the certificate courses, the Project would change the month of commencement too so that it does not cause such inconvenience, and once the change is made the applicants of Metal Work is</p> |
| Achievement | | <p>1. Record on No. of students obtained diploma</p> <p>2. Employment status of the passed-out students</p> <p>3. No. of application per year</p> | <p>Source of Information</p> <p>1. Employment status of the passed-out students</p> <p>2-1. No. of application per year</p> <p>2-2. No. of students compared with seating capacity</p> <p>2-3. No. of students dropouts per year</p> <p>3. No. of students obtained diploma per year</p> <p>4. No. of COT established</p> |

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>expected to be increased too.</p> | <p>4. Manuals developed in Maradana COT are utilized in other COT</p> <p>5. More curricula are available for NVO level 5&6.</p> <p>6. More teaching staffs are qualified to teach NVO level 5&6.</p> <p>7. More courses are available for NVO level 5&6.</p> <p>8. Nine different corporate plans for each COT are formulated</p> | <p>4. Interviews to the director/principal and staff of other TC/COT</p> <p>5. Proposals made by other TC to be COT</p> <p>6. Curricula developed for NVO level 5&6</p> <p>7. Record of training conducted for teaching staffs</p> <p>8. Record of courses conducted</p> <p>9. Cooperate plans for each COT</p> | <p>As to the indicator 5 to 8, the Project will not deal with the development of other courses of NVO level 5 and 6.</p> |
| <p>1. NVO level 5&6 model training courses are introduced and conducted effectively in Maradana COT in the fields of Information and Communication Technology, Mechatronics and Metal Work.</p> | <p>1-1. Syllabi and training materials for the model courses is developed timely</p> <p>1-2. Equipment is purchased and installed timely</p> <p>1-3. Training infrastructure is established timely</p> <p>1-4. Teaching staffs are trained to teach the model courses</p> <p>1-5. Weekly and monthly training schedules for each course are formulated timely</p> <p>1-6. More than 80% of the students of the first batch complete the courses and obtain diploma</p> | <p>1-1. Syllabi and training materials developed</p> <p>1-2. Date of installation of the equipment</p> <p>1-3. Date of establishment training infrastructure</p> <p>1-4. Record of training conducted for teaching staffs</p> <p>1-5. Weekly and monthly training schedule formulated</p> <p>1-6. record on No. of the students per course who applied, recruited, completed and obtained diploma</p> | <p>Although the accredited curriculum outlines of 3 model courses were supposed to be ready by the time when the Project was commenced, they were not developed yet. Therefore the Project added an activity to follow-up the preparation process of curriculum outlines. The final drafts of the outlines were developed about a year after the beginning of the Project, and the Project prepared the syllabi and training materials based on them, and then started model courses. However, the outlines have not been accredited by TVEC yet due to the delay in the assessing process. According to the TVEC the approval will be finally given within a month.</p> <p>The establishment of training infrastructures was taken charge mainly by Sri Lankan side, and the purchase of machineries and equipment were carried out by Japanese side. Although there were delays in both remodeling of infrastructures and procurement of equipment as described in the earlier section, both Sri Lankan and Japanese sides have been making efforts to minimize the negative influences on the implementation of model courses.</p> <p>The teaching staff for the model courses was trained by Japanese experts and in the training courses provided by JICA to perform as instructors of the model courses.</p> <p>The necessary training schedules of each course were prepared timely by C/Ps with the instructions of experts.</p> <p>Each model course was designed for 2 years and at the moment of the study all courses are currently underway. The first certification for National Vocational Qualifications (NVO) level 6, namely the Higher Diploma, will be given at the completion of the courses.</p> |

| | | | |
|--|--|--|---|
| | 1-7. Monitoring is conducted periodically and lessons learned are reflected to the courses and documented in manual | 1-7. Monitoring and evaluation reports of the courses, and record on actions taken according to the recommendation in the reports | Monitoring of the model courses has been conducted in the Technical Committee meetings held 3 times a year and the recommendations from industry have been reflected to improve the courses. However, the documentation has not been systematically developed yet. The Project will work on this activity from now on. |
| 2. DTET establishes a system for the training courses to fulfill industry's needs. | <p>2-1. Technical Committee is formed for each model courses and meetings are held more than 3 times a year</p> <p>2-2. Industries visit the model training courses to monitor and evaluate the courses 3 times a year</p> <p>2-3. Recommendations are made by the industry to improve the courses</p> <p>2-4. Survey on industry's needs are conducted continuously</p> <p>2-5. Periodical industrial placement for teaching staffs is implemented regularly.</p> <p>2-6. In-plant training is conducted in each new course for the period of more than XXX week a year.</p> <p>2-7. Short-term courses are held regularly.</p> | <p>2-1-1. No. of Technical committee formed</p> <p>2-1-2. Record on No. of committee meetings held per year</p> <p>2-2. Record on No. of visits of the committee members to the courses</p> <p>2-3. Report and Minutes of the meeting of the committee</p> <p>2-4. Report on the industry's needs made by the committee</p> <p>2-5. Record on No. of periodical industrial placement of the teaching staffs</p> <p>2-6. Record of the in-plant training conducted</p> <p>2-7. Record on short-term courses held.</p> | <p>The Technical Committee was formed for each model courses and the first committee meeting was held in May 2006. Up to the moment of the evaluation study, 5 meetings were held, and the members of the committee visited the workshops of model courses and experts and CIPs visited member companies various times. Although the meetings and visits are not held periodically yet and less than 3 times a year, the Project plans to make an effort to improve the activities in the latter half of the project period to strengthen the collaborative relationship between SLCoT and Industry.</p> <p>The related activities have not been realized yet, and planned to be implemented in the latter half of the project period. The policy on the in-plant training has not been precisely decided by NAITA and TVEC, which caused delay in the Project's activities. Until the policy is issued, the numerical target of the indicator 2-6 cannot be decided.</p> <p>The short-time courses especially for the industry were held 17 times in ICT and a total of 213 workers participated and also 1 time in Mechatronics with 15 workers. There are requests from industry for the implementation of part-time courses in other subjects too and the section concerned (Business Arm) of the SLCoT has been working on it.</p> |
| 3. Management capacity of DTET on training delivery is improved. | <p>3-1-1. More than 90% of the students are using the career guidance/ labor market information available at the Maradana COT</p> <p>3-1-2. Individual counseling is held for more than 5 students per month</p> <p>3-1-3. Career guidance seminar is held for the applicants to give appropriate idea on course related employment.</p> <p>3-1-4. Career guidance seminar is conducted for COT students 11 times a year.</p> | <p>3-1-1. Record on No. of students using the data base</p> <p>3-1-2. Record on No. of counseling held per month</p> <p>3-1-3. Record on No. of career guidance seminar held prior to entrance</p> <p>3-1-4. Record on No. of career guidance seminar held for TC students per year</p> | <p>Regarding the career guidance related activities, in order to plan and prepare them, a survey to the instructors and students was conducted and analyzed the results. In the latter stage of the Project it will plan its activities based on the survey results. As to the indicators 3-1-1 and 3-1-2, the survey on the number of students of CoT who use career guidance or labour market information will be conducted. In terms of 3-1-3, the career guidance for the applicants of the model courses has been realized during the period of the recruitment. Also as to the 3-1-4, the career guidance seminar to the students has been carried out 11 times a year. In addition, the equipment necessary for the Career Guidance and Counseling Center were procured by the Project.</p> |

| | | | |
|--|--|---|---|
| | <p>3-2. Aptitude test is introduced for student selection.</p> <p>3-3. Part-time courses on the new subject are about to commence</p> <p>3-4-1 A system of conducting periodical studies to ensure the relevance of the quality and level of the training is established.</p> <p>3-4-2 Results of the studies are effectively used to improve quality and level of the training.</p> <p>3-5. Introduced handbook, visual tools, teachers guide, etc. are used effectively and appreciated at all the COT/TC.</p> <p>3-6. National skill competitions are continuously held and budgetary provisions for the event are given to make the event financially sustainable.</p> <p>4-1. Proposals are developed and preparation has done to commence additional diploma courses in Maradana TC.</p> <p>4-2-1. Manuals on formulation of NVQ level 5&6 courses are developed and used in other TC/COT.</p> | <p>3-2. Record on implementation of aptitude tests</p> <p>3-3. Document on module based curriculum, planning documents on allocation of the staff and budget for short-term courses</p> <p>3-4-1. Report and recommendations made by the studies</p> <p>3-4-2. No. of recommendations in the study report for which certain actions were made by the management</p> <p>3-5. Evaluation made by students and staff of other TC</p> <p>3-6. Report on National skill competition</p> <p>4-1. Proposal and plan for financial and human resource arrangement needed for the additional courses</p> <p>4-2-1. Manuals on formulation of NVQ level 5&6 courses</p> | <p>The aptitude test was prepared independently based on the existed tests and used for the selection of students for the first and second batches of the model courses.</p> <p>The Project is planning to implement the part-time courses of the 3 model courses in the latter stage of the project period after establishing the full-time courses.</p> <p>The activity for the periodical study to ensure the relevance of the quality and level of the training has not been started yet, and the related activities are planned to be implemented later in the Project.</p> <p>The planned material development has been almost completed, and only the Tamil version of some materials is not prepared yet. In order to research other needs on this regard, the Project conducted a questionnaire survey to the Technical Colleges to review their activities. Based on the results of the survey the Project decided to prepare 2 other materials related to Aluminum Fabrication and p Engineering Draftsmanship, in order to improve the existing certificate level courses. The developed materials have not been disseminated to other TCs yet, but they will be distributed in later stage of the Project.</p> <p>The National Skill Competitions were held in January 2006 and 2007, however, in 2008 it was postponed due to the change of the opening month of the academic year for technical colleges. Since the commencement of the certificate level courses was changed from January to July, at the moment of January students of TCs have not gained sufficient knowledge to perform in the competitions. Therefore, the Project is planning to hold it in July this year. The Project provided large part of cost of the event in the first half of the Project. In the latter half of the Project, in order to secure the continuity of the Skill Competitions, the DTET will take an initiative financially as well as operationally in the coordinating process of the event.</p> <p>The TEDP has been planning to establish 3 new NVQ level 5 & 6 courses namely in Jewelry Design & Manufacturing, Bio Medical Engineering, and Electronic Imaging and Printing in SLCoT. The Project understood that the new course will be executed by the TEDP side. However the accumulated know-how on the course delivery can be utilized in the additional 3 courses of TEDP.</p> <p>The directors of DTET have been presenting the know-how on these activities to the committees held by TEDP to establish CoTs. However the indicators are not achieved yet. Because of the change of the situation surrounding the Project, it has been discussing the relevance of the activities.</p> |
|--|--|---|---|

| | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|
| | | the field of preparation of NVO level 5&6 courses and improved methods on training delivery. | 4-2-2. Each TC/CoT establishes Technical Committee/Advisory Council. 4-2-3. Each TC/CoT introduces the system to collect and update labor market information. 4-2-4. Each TC/CoT introduces an aptitude test 4-2-5. Manuals for formulation of part-time diploma courses are documented. 4-2-6. Studies are conducted in other TC/COT to ensure the relevance of the courses. 4-2-7. Seminars and workshops are held by each counterpart of the Project. 4-2-8. More than 45 teaching staffs participate short-term courses and completed successfully. | 4-2-2. Records and minutes of Technical Committee in other TC/COT. 4-2-3. Record on progress report from Career Guidance Centre from TC/CoT 4-2-4. Record on student selection in other TC/COT 4-2-5. Manuals on formulation of part-time diploma courses 4-2-6. Study report and recommendation taken to the management. 4-2-7. Report of the seminars and workshops held by Project counterparts 4-2-8. Report of the short term courses held | The short-term training courses were held by C/Ps in each model courses and 69 instructors of the Technical Colleges participated and completed successfully. |
|--|--|--|---|---|---|

| | | | | | |
|------------------------|--------------------|-------------------------|---|--|--|
| Implementation Process | Plan of Activities | Activities for Output 1 | 1-1. Follow up establishing of the National Skill Standards and curricula of the model courses 1-2. Develop syllabi and teaching materials for the model courses 1-3. Install equipment for the courses 1-4. Establish training infrastructure for the courses 1-5. Update teaching staff's technical skill and teaching method for the courses. 1-6. Formulate weekly and monthly training schedule along with the time tables to allocate teaching staff, equipment, and class rooms. 1-7. Conduct courses 1-8. Monitor the courses periodically | General overview report No.1 -5. Achievement of Output No.1 | * Due to the delay in the approvals of curriculum outlines for 3 model courses which were supposed to be completed before beginning of the Project, the Project included the activities to follow-up the establishment of curriculums. Although the approvals were delayed, the syllabi and teaching materials have been prepared based on the final drafts of skill standard and curriculum outlines. The syllabi and training materials are still under preparation. * The procurement of equipments were changed from 3 batches to 4 batches. There was delay in the procurement and rehabilitation of training infrastructures. * It has been taking time in allocation of C/P personnel, and it still lacks 1 C/P in Metal Work. * Metal Work and ICT courses were started from Jan. 2007, and 2nd batches of the 2 courses and 1st batch of Mechatronics were started from Jan. 2008. * Lately there was a change in the Competency Standard of ICT, and it may have change in the Curriculum outline, although it has not been decided the details yet. |
| | | | | Plan of Operations | All the activities were started as planned, but have not been completed beyond the planned schedules. |
| | | | | Training courses and number of students | Metal Work (18 current enrolled) and ICT (20 current enrolled) started the training courses from Jan. 2007. Mechatronics will start from Jan. 2008. |
| | | | | Recruitment of students | 1st batch (2007): Metal work: Applicants 78, Examinees 49, Passed 20, Enrolled 20, and Current enrolled 18 |

| | | | |
|---|--|--|--|
| | <p>ICT: Applicants 86, Examinees 45, Passed 26, Enrolled 20, and Current enrolled 20</p> <p>As of December 2007, all 3 courses have not finished the preparation of teaching materials yet.</p> | | |
| <p>Teaching Material Development</p> <p>Interview to the experts</p> | <p>Delay in the curriculum outlines caused delay in related activities as a whole. The development of syllabi and teaching materials has not completed yet. The installation of equipments and establishment of training infrastructure were delayed. The update of teaching staff's technical skill has been carried out through the technical transfer by experts as well as the C/Ps' training in Japan. The training schedules have been prepared. The monitoring of courses is carried out in the TC meetings held 3 times a year.</p> <p>The delay in the approval of syllabi by TVEC is a problem for achieving this output.</p> <p>The issue on the degree of instructors who teach for NVQ level 5 and 6 has been causing a problem.</p> <p>* The technical committee was established and 1st to 4th meetings were held. Site visits of model courses by the members, and factory visits of member companies by experts and C/Ps were carried out.</p> <p>* Short term courses in ICT for active workers of industry were carried out.</p> <p>4 meetings were held as of December 2007.</p> | | |
| <p>Interview to Maradana CoT</p> <p>Interview to DTET</p> <p>General overview report No.1</p> <p>- 5. Achievement of Output No.2</p> <p>Technical Committee Meetings</p> <p>Technical Committee Members</p> <p>Short-term Courses for College Instructors, Students and Workers</p> <p>Interview to the experts</p> | <p>To instructors: 3 times in Mechatronics (43 participants), 1 time in Metal Work (13 participants), and 1 time in ICT (13 participants)</p> <p>To students: 3 times in Mechatronics (32 participants)</p> <p>To workers: 3 times in ICT (44 participants)</p> <p>The Technical Committee was established for each course and had 5 meetings so far. The policy on the in-plant training has not been decided by NITESL and TVEC, which caused delay in the Project's activities, and the Project is requesting them to make decision in this regard. The short-term courses have been taken place as listed above, and the industrial placement of teaching staff has not been carried out mainly due to the lack of budget.</p> | | |
| <p>Interview to Maradana CoT</p> <p>General overview report No.1</p> <p>- 5. Achievement of Output No.3</p> <p>Plan of Operations</p> | <p>The activities of business arm has been undertaken to ensure the fulfillment of industry's needs.</p> <p>* Baseline survey was realized for Carrier Guidance, and the results were reported and discussed. The equipments were procured for CG Center.</p> <p>* National Skill Competition was carried out in Jan. 2006 and 2007. The report and manuals are under preparation. In 2008 the competition was cancelled due to the budget constraint and a problem of the timing with the commencement of the courses.</p> <p>* A part of the training materials for students were completed, but the discussion is needed for further activities. A survey was carried out to collect information and opinions of TCs.</p> <p>* For the recruitment of students for new courses, the Awareness program and aptitude test were carried out.</p> <p>Although there was a delay, the activities for CG and aptitude test were started. The activities to secure the quality and level of training are not started yet. Although the preparation of handbook for students</p> | | |
| <p>Activities for Output 2</p> | <p>2-1. Formulate functional Technical Committee for each model course to establish collaborative relationships between COT and industry</p> <p>2-2. Promote in-plant training of the model courses by enhancing industrial relationship.</p> <p>2-3. Enhance public relations of Maradana COT, including frequent implementation of short-term courses on model courses, periodical industrial placements by teaching staff, etc.</p> | | |
| <p>Activities for Output 3</p> | <p>3-1. Enhance capacity of DTET to conduct effective career guidance and counseling, including:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Base-line survey on present situation of career guidance in Maradana COT • Introduce a system to collect and update labor market information for the students in Maradana COT. • Provide advice to the career guidance officers of Maradana COT in the fields of effective and continuous implementation of | | |

| | | | |
|---|--|--|--|
| | | <p>counseling and career guidance, communication with industry, etc.</p> <p>3-2. Rationalize selection criteria of Maradana CoT, including introduction of aptitude tests.</p> <p>3-3. Support preparation for part-time diploma courses in Maradana CoT for those who are working in industry and who have completed NVO level 4.</p> <p>3-4. Conduct periodical studies at Maradana CoT to ensure the relevance of the quality and level of the training, including:</p> <ul style="list-style-type: none"> • A survey on employment status of the passed-out students. • Evaluation of the training courses with the participation of the students • A survey on quality and skill level of the passed out students by inquiring industries they are working for. <p>3-5. Improve training materials including:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Student handbooks • Audio-visual teaching tools • Teachers' guide, etc. <p>3-6. Conduct and expand National Skill Competitions annually.</p> | |
| <p>and teacher's guideline has been started, the AV materials are not prepared yet. The National Skill Competition was started as planned.</p> <p>The activities after Jan. 2006 (when full-time staff was assigned to CG Center)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Advice and instruction for the baseline survey • Selection and purchase of procured equipments • Plan of utilization of procured equipments • Organizing the results of baseline survey and analysis • Advice and instruction for recruitment of students in 2007 and 2008 (preparation of the handbill for recruitment, preparation of power-point, and realization of awareness programs) | <p>Progress of the CG related activities</p> | | |
| <p>The baseline survey was realized and the results was compiled. Based on the results, the Project will make a working plan later on. As to the system to collect and update labor market information and provide advice to the career guidance officers, there is an activity established by SDP. Therefore the Project is following the existing system. The selection criteria will be prepared by TVEC with TEDP, and there is no official criteria yet. Therefore, the Project considers that the criteria including the aptitude test should not be touched until they officially prepare. Regarding the part-time diploma courses, the Project will start preparing them after the establishment of full-time courses. The periodical studies to ensure the relevance of the quality and level of the training is planned to be realized later on. The improvement of planned training materials were almost completed, only some Tamil versions are not prepared yet due to the difficulty in inviting instructors in Jaffna area to get it done. National Skill Competitions were held annual till 2007, but due to the change of schedule of courses, it was postponed in 2008.</p> <p>The short courses for the instructors of other TCs are undertaken. Also Maradana CoT will let other TCs in the western region of Colombo to utilize its facilities for their trainings.</p> | <p>Interview to the experts</p> | | |
| | <p>Interview to Maradana CoT</p> | | |
| <p>Activities for Output 4</p> | <p>General overview report No.1 - 5. Achievement of Output No.4 Plan of Operations</p> | <p>4-1. Support formulation of additional NVO level 5&6 courses in Maradana CoT with the initiative of DTET.</p> <p>4-2. Disseminate improved management skills to other TC/CoT, in the fields of:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formulation of training courses of NVO level 5&6 • Industry collaboration • Career guidance/counseling • Selection criteria • Formulation of part-time diploma courses • Studies to ensure the relevance of the courses <p>4-3. Improve technical skills of the instructors</p> | |
| | <p>Interview to the experts</p> | | |
| <p>A task force was established and the working plan was discussed. The implementation of short-term courses for instructors and workers in each courses were discussed and were planned to implement in second half of 2007. Short-term courses for instructors in each courses were realized.</p> <ul style="list-style-type: none"> * The establishment of new courses in NVO level 5 and 6 is not started yet. * Although there is a delay, the activities to share the management know-how for industry collaboration and the improvement of technical skill of the instructors have been started. <p>The formulation of additional courses has not been started since the TEDP project has decided to establish 3 additional courses in Maradana CoT, and the TEDP and Maradana CoT does not have enough human resources to realize all new courses. The measure to disseminate the management skill has not been fully discussed to disseminate it to other TC/CoT. The C/PS who received technical transfer have providing trainings to the instructors of other TC/CoT.</p> <p>When there is a steering committee of the establishment of CoTs, they always ask the experience of Maradana CoT since it is the only CoT actually existing. Therefore the experience of JSCoT has been utilized in the establishment of other CoTs.</p> | <p>Interview to Maradana CoT</p> | | |

| | | | |
|--|---|---|---|
| | Collaboration with other donors | engaging in teaching of similar subjects to the model courses. | |
| Collaboration with TEDP (supported by ADB) | Proposed Loan Democratic Socialist Republic of Sri Lanka: Technical Education Development Project | Contents and progress of TEDP and collaboration activities | The TEDP is implemented from 2006 to 2011, for purpose of (i) strengthening CoTs to offer technician education; (ii) strengthening the MSDVTE and relevant institutions to support a market-responsive technical education and vocational training (TEVT) system; and (iii) establishing the Univotec. It upgrades 9 TCs to CoTs and establishes 12 curriculums. In addition, it establishes advisory council and technician aptitude test, which can overlap with JSCoT Project. |
| | Strengthening Policies and Processes to Support the Development of the NVQ Level 5 and 6 Diploma | | In the report it states that it is necessary to take JICA's project into consideration so that the new system of NVQ level 5 and 6 does not affect negatively the inputs and students of the courses which have already started by JICA. |
| | Minutes of the Meeting Held with Donor Funded Projects (06/Jun/2007) | | * TEDP has implemented an awareness programs in 7 TCs which will be upgraded to CoTs, and prepared action plans on each future CoTs. The guideline to prepare strategic plan was prepared. Each CoT has appointed an implementation committee. * Those curriculums for Metal Work and ICT prepared by JSCoT are ready to share with other CoTs. |
| | Minutes of the Meeting of Donor Coordination Committee (21/Nov/2007) | | * Although TEDP has started the preparation of curriculums, the standards are not developed yet. * The Policy Frameworks for diplomas of NVQ level 5 and 6 have been prepared, and they will be approved by TVEC after the endorsement of consultants of TEDP. * The clarification of student selection criteria of NVQ level 5 and 6 requested by JICA was finalized by TVEC, but more comprehensive selection criteria will be developed with the assistance of TEDP. |
| | General overview report No.4 | | Regarding the TEDP, TVEC held a seminar in April and presented for the first time the policy on the NVQ level 5 and above. According to the policy, the duration of trainings, the qualification of instructors, and so on will be newly established. JSCoT has been requesting that the change dose not affect the Project negatively, and further collaboration with related organizations is necessary. |
| | About the collaboration with TEDP (a document prepared by expert) | | Up to now the Project has exchanged opinions and requests, and offered the lists of equipments, information on the courses and so on. TEDP needs to collaborate further with DTET. |
| | Interview to the experts | | Donor meeting has been taking place and exchange the progress of the Project each other. The Project makes requests to TEDP in the meeting. The Project participates in the meetings of TEDP. |
| | Interview to Maradana CoT | | As the steering committee of CoTs organized by TEDP has been seeking the experiences of Maradana CoT, TEDP has been utilizing the experiences of JSCoT. |
| | Interview to DTET | | It is necessary to collaborate better with TEDP. Sometimes the TEDP dose not accept the suggestions of DTET. |
| Collaboration with GTZ and KOICA | Development partners in upgrading CoT | Contents and progress of the projects of GTZ and KOICA and collaboration activities | GTZ has projects with Galle and Ampara in mechatronics, ICT (Telecommunication), and automobile. KOICA has a project with Jaffna in Mechanical Engineering, Automobile Maintenance & Repairs Electrical Engineering, and Office Automation & Computing. |
| | General overview report No.1 | - 5 | GTZ has demonstrated their expectation for the collaboration in the improvement of technical ability of instructors. |

| | | | |
|---------------------------|---|-------------------------------------|--|
| | | Interview to the experts | Exchange progress and information of each project in the donor meeting. There is a request from GTZ on collaborations in trainings of students and instructors. |
| | | Interview to Maradana CoT | There is no collaboration in the college level. |
| | | Interview to DTET | DTET has been providing know-how gained through JSCoT to the establishment of the CoTs supported by GTZ. |
| Management of the Project | Is the Monitoring of the Project functioning? | Interview to the experts | Progress meeting has been held once a month, although lately it has been cancelled because the DG is busy. |
| | | Interview to Maradana CoT | Through the regular meetings such as JCC the monitoring has been done. |
| | | Interview to DTET | Through the regular meetings such as JCC the monitoring has been done. |
| | | Interview to the experts | All decisions are made by DG in the C/P organization. However, the involvement of DG to the Project seems not enough. |
| | | Interview to Maradana CoT | There is a frequent discussion in the steering meetings, and there is no problem in the decision making process. |
| | | Interview to DTET | It has been maintaining a good coordination. The coordinator of the Project has been regularly providing information of the activities of the Project. |
| | | General overview report No.1 - 5 | * in the curriculum development, after NAITA prepares the National Skill Standard, NITESL develops the Curriculum outlines (for each course), and finally TVEC approves them. There was a delay in this process. * The Project has been implementing its activities based on the Curriculum outlines offered by TVEC. However, lately the competency standard was changed in ICT and the changes in Curriculum outlines have been discussed. It is necessary to request so that the change dose not affect negatively the implementing courses and consider the countermeasures to the changes. |
| | | MVTT | For the development of curriculums and other policies it takes long time since there is participation of different actors such as industries and different institutions. |
| | | Interview to the experts | The decision making process takes very long time and it causes negative influences on the progress of the Project. Even once a decision is made, it can be reversed often. |
| | | Interview to Maradana CoT | Although the progress has been discussed in the JCC meetings, it seems to taking long time for decision makings. |
| | | Interview to DTET | Sometimes there is a gap between what the Project requests and the process they take to make decision. |
| | | Interview to the experts | There were more advises and instructions at the beginning of the Project. |
| | | Interview to the experts | Sometimes there is a problem in taking over from one short-term expert to another, although the Project has been telling them to coordinate better. There is no problem in the communication between C/Ps and Japanese experts. There is a case that there is a problem among the C/Ps. |
| | | Interview to Maradana CoT | The communication is very frequent and there is no problem. |
| | | Interview to DTET | There is no problem. |
| Consciousness of the | Dose DTET, JSCoT and their C/P staff have | General overview report No.1 | At the beginning of the Project, Sri Lankan side did not correspond well to the issues in approval of |

| | | |
|--|---|---|
| implementing organizations and C/P personnel | strong consciousness toward the Project? | <p>curriculums, allocation of C/P personnel, preparation of experts' office renovation of training facilities and so on, and the sense of ownership toward the Project seemed sparse. However, after the assignment of the director to the Project in December 19, 2005, the correspondences were improved.</p> <p>The involvement of the C/P organizations in the management of the Project seems not sufficient. The management level staff often has only short period before his/her retirement and there are many replacement of human resources. Therefore, it is difficult to get them involved into the Project.</p> <p>In terms of qualifications there are many C/Ps who are not qualified for the conditions proposed by the Project (especially metal works). However, some of them who are not qualified work harder than those who are qualified. There are instructors whose teaching ability is comparatively low.</p> <p>They are working very hard.</p> <p>Depending on the each C/P's ability to solve problems, there are C/Ps who have been working actively and there are other C/Ps who only wait till someone else solve the problems.</p> <p>In terms of students, it has been getting more recognized. The TVET related organizations have high recognition of the Project. As to the members of the industry, there are sufficient member companies but less participation to the meetings. The Project is trying to invite them in advance with sufficient time to arrange their schedule.</p> <p>It is getting more recognized, but it is a time consuming process to get fully known.</p> <p>The model courses are very well known among all stakeholders.</p> <p>Getting more companies being aware of the JSCoT, although still many companies do not know about the new courses.</p> |
| Properness of C/P personnel | Has the counterpart personnel appointed to any of the Project activities been playing their roles adequately? | <p>Interview to the experts</p> <p>Interview to the experts</p> <p>Interview to Maradana CoT</p> <p>Interview to DTET</p> |
| Level of participation and consciousness of the stakeholders | Has the JSCoT been recognized among the industrial community and private sectors, as well as students and TVET related institutions sufficiently? | <p>Interview to the experts</p> <p>Interview to Maradana CoT</p> <p>Interview to DTET</p> <p>Interviews to industry</p> |
| Other issue/problem in the implementation process | Is there any other issue/problem in the process of implementation of the Project, and what are the factors of the issue/problem? | <p>General overview report No.1 - 5</p> <p>About the requests to TVEC (a document prepared by experts)</p> <p>Interview to the experts</p> <p>Interview to Maradana CoT</p> <p>Interview to DTET</p> <p>Due to the change of the procurement plan from 3 to 4 batches, and changes of dispatch of experts from long term to short term, it has been difficult to achieve the related outputs as planned.</p> <p>It is necessary to discuss the countermeasures against the possibility of change in the Curriculum outline of ICT.</p> <ul style="list-style-type: none"> · Rules and guidelines which CoTs have to conform should be presented as soon as possible. · If the above mentioned rules and guidelines will be prepared from now on, the JSCoT Project has to be taken into consideration. · It is necessary to consider the measures for instructors of JSCoT to acquire degree on part-time basis, and years of experiences in teaching are taken into account. · The incentives (allowance and such) for the instructors who work for CoT should be guaranteed. <p>The director of TEDP has mentioned that they will provide part-time courses to the instructors to obtain their degree, and consider the teaching experience in the establishment of qualifications of instructors for NVO level 5 and 6.</p> <p>Since the Maradana CoT is progressing one step ahead the decision of related organizations, it seems they are trying to develop their policy examining the feasibility of Maradana CoT as a model.</p> <p>Although the know-how has been accumulated, it is necessary to compile it in manuals and documents.</p> |

(2) Five Evaluation Criteria

| Items | Evaluation Questions | | Source of Information | Results |
|-----------|----------------------------|---|--|---|
| | Main Questions | Details | | |
| Relevance | Needs | Dose the Project coincide with the needs of Sri Lankan society? | MVTT | There is no change in the social background. |
| | Priority | Dose the Project still coincide with the National Development Policy of Sri Lankan Government? | MVTT | There is no change in the policy. |
| | | Is there any change of plan that promotes 9 TCs representing each province out of 36 TCs in the country to the CoT in order to cultivate middle level technical workers? Will this plan be maintained as a matter of high priority in the national TVET related policies? | MVTT | There is no change and the establishment of 9 CoTs is still the priority strategy to train more middle level technicians. |
| | | Is there any change in the Japanese country assistance strategy to Sri Lanka? | Country Assistance Plan of JICA (Revised in October, 2005) | There has been no change in the direction that support human resource development especially for industry, and place a priority to the cooperation in the strengthening of function of TVET related institutions. |
| | Properness of the Approach | Is the approach of the Project adequate as a strategy to achieve the Project Purpose? | Analysis based on the collected information | Although TEDP started a large support in establishing the 6 CoTs, it is confirmed with MVTT that the role of DTET which manages and supervises all CoTs remains same. Therefore, the improvement of technical and managerial capacity of DTET remains important, and the approach of the Project is still relevant. |
| | | Is the collaboration with other donors adequate and generating synergy? | Japanese experts | Donor meeting has been taking place and exchange the progress of the Project each other. The Project makes requests to TEDP in the meeting. The Project participates in the meetings of TEDP. |
| | | | Maradana CoT | No issues on the collaboration with TEDP. No collaboration with KOICA and GTZ yet. |
| | | | DTET | Each director has been participating in the committees organized by TEDP and providing information and know-how of the JSCoT. The model courses of Maradana CoT are the model for them and it has been recommending in the committees to follow the ways of the Maradana CoT. |
| | | | MVTT and TVEC | TEDP was designed to generate synergy with the JSCoT Project. |
| | | | TEDP | TEDP is aware of the JSCoT and other GTZ and KOICA's project as well. But TEDP has designed to prepare system to apply for all CoTs and has |

| | | | | |
|--------------------------|--|--|---|--|
| | | | | been working on it. |
| Effectiveness (Prospect) | Prospect of achieving the Project Purpose comparing with the inputs, achievement of outputs, and activities. | Can it be expected that the Project Purpose will be accomplished reviewing the actual achievement and the plan of activities ahead? | Analysis based on the collected information | In spite of all delays in the inputs and the establishment of rules and regulations related to CoTs, the Project has managed to start 3 model courses. The tasks for the latter half of the project period to achieve the Project Purpose will be the continuation of existing activities such as course delivery of model courses, industrial collaborations, Career Guidance and Counseling, development of textbook and Skill Competitions, and also the arrangement of the accumulated know-how through those activities carried out in the first half of the project period. It can be expected that the Project Purpose will be achieved by working on all the activities mentioned above. |
| | | Is there any constraint in the achievement of the Project Purpose? | Japanese experts | The systems of CoT has not established yet. Even if they are decided, there are changes very often. The involvement of C/P organizations is not sufficient. The process for making decisions and taking actions is very slow. |
| | Causality between the Outputs and the Project Purpose | Are the Outputs sufficient to achieve the Project Purpose? | Maradana CoT | DTET has been involved in the each activity of the Project, but as a CoT, it is not aware of how DTET will utilize those experiences in other CoTs. |
| | | | DTET | Sometimes the TEDP dose not listen to the opinions based on the experience through the JSCoT. |
| | Are the Important Assumptions from Outputs to achieve the Project Purpose still adequate? Is it possible to satisfy the assumptions? | Are the Outputs sufficient to achieve the Project Purpose? Is there any change of governmental policies and priority in terms of human resource development after the beginning of the JSCoT project? Can it be expected any change in the near future? Is there any change of plan that promotes 9 TCs representing each province out of 36 TCs in the country to the CoT in order to cultivate middle level technical workers? Will this plan be maintained as a matter of high priority in the national TVET related policies? Is the one of the important assumption for the achievement of the Project Purpose "Trained staff will remain working for TC/CoT" still adequate? Will the assumption be fulfilled? | Analysis based on the collected information | The approach of the Project is strengthening the capacity of DTET through the establishment of SLCoT as a model of a provider of NVQ level 5 & 6 courses. The accumulated know-how is expected to be utilized in the establishment and management of other CoTs. The Output 1 to 3 make DTET accumulate the know-how in the establishment and management of CoTs, and the Output 4 allows DTET to arrange the know-how to disseminate to the other TC/CoTs. |
| | | | MVTT | There is no change and the policy will not be changed in the near future. |
| | | | MVTT | There is no change. |
| | | | Japanese experts | There is a concern that if sufficient incentives are not given to the instructors for CoT, they might leave their job. |
| | | | Maradana CoT | The trained staff will not be replaced, and the employees of DTET |

| | | | | |
|--|---|--|---|---|
| | | | | normally work until their retirement. The staff who received overseas training cannot resign at least next 4 years. |
| | | | DTET | |
| Level of achievement of the Outputs comparing to the actual progress and target. | Is the actual level of progress appropriate? (Comparison between the actual progress and preset target) | | Analysis based on the collected information | The actual level of achievement of Output 1 can be considered high enough to achieve the output, in spite of the delays in the inputs. However, there is a difference in the progress of each 3 courses, and the course which is progressing less than the others should make further effort in the latter half of the project period. Regarding the Output 2, 3 and 4, some activities will be newly started in the latter half of the Project, and in order to achieve the outputs the Project needs further efforts from now on. |
| | Is there any constraint in the achievement of the Outputs 1 to 4? | | Japanese experts Maradana CoT DTET | The input from both Japanese and Sri Lankan sides has been delayed. The delay in the approval of curriculums. The issue on the degree of instructors who teach for NVQ level 5 and 6 has been causing a problem. |
| Causality between the Outputs and activities | Have the activities been sufficient to produce the Outputs? | | Analysis based on the collected information | Some activities will be newly started in the latter half of the Project, and in order to achieve the outputs the Project needs further efforts from now on. |
| | Has the budget been provided sufficiently and on time, in order to realize those activities to achieve the Outputs? | | Japanese experts Maradana CoT DTET | There was a cut of the budget and it affected the progress of the Project. It is sufficient. The difference of fiscal year sometimes makes difficulties. |
| | Have the human resources been provided sufficiently and on time, in order to realize those activities to achieve the Outputs? | | Japanese experts | A long term expert was changed to a short term, which caused a delay in the progress of the Project. The delay in the allocation of the C/Ps also caused a delay in the progress of the Project. |
| | Have the equipments and infrastructure been provided sufficiently and on time, in order to realize those activities to achieve the Outputs? | | Maradana CoT DTET | Still under process of finding qualified instructor for metal work. There is a delay due to the difficulties to find a qualified person. It has been difficult to find younger instructors for the model courses. |
| | | | Japanese experts | The procurement of equipments done by Japanese side was delayed, and the remodeling of workshops by Sri Lankan side also was delayed. |
| | | | Maradana CoT | The equipments are sufficient and very satisfied. There was a delay in the remodeling of training facilities due to the time consuming process of Sri Lankan side (for example, it needs 5 quotations before deciding the providers and such). |
| | | | DTET | There are delays in inputs but the model courses are quite satisfactory so far. |
| Are the Important Assumptions from the activities to achieve the Outputs still | Is the one of the important assumptions for the achievement of the Outputs "Process of purchasing the equipment for the model course is not | | Japanese experts | The process of procurement was delayed, and there were certain negative influences on the progress of the Project. |

Efficiency

| | | | |
|--|---|--|--|
| adequate? Is it possible to satisfy the assumptions? | hampered" still adequate? Is there any influence given by this assumption? | Maradana CoT DTET | The equipments provided are very good and satisfactory. The procurement was done by JICA side. There are delays in inputs but the model courses are quite satisfactory so far. |
| | Is the one of the important assumptions for the achievement of the Outputs "Necessary infrastructure of the Project is offered timely" still adequate? Is there any influence given by this assumption? | Japanese experts Maradana CoT | The process of remodeling of the workshops was delayed, and there were certain negative influences on the progress of the Project. There was a delay in the remodeling of training facilities due to the time consuming process of Sri Lankan side (for example, it needs 5 quotations before deciding the providers and such). However, the facilities provided are sufficient for trainings. |
| | Is the one of the important assumptions for the achievement of the Outputs "Counterpart of the Project will continue working for TC/CoT" still adequate? Is there any influence given by this assumption? | DTET Japanese experts Maradana CoT | There are delays in inputs but the model courses are quite satisfactory so far. There is no C/P resigned or replaced yet. The trained staff will not be replaced, and the employees of DTET normally work until their retirement. |
| Timing of the Inputs | Have the inputs been sufficient in quality and quantity, and on time, in order to realize the activities according to the Plan? | DTET | The staff who received overseas training cannot resign at least next 4 years. |
| Prospect of achieving the Overall Goal | Can it be expected that the Overall Goal will be accomplished as a result of the Project, reviewing the actual progress of inputs and outputs, and performance of activities? | Analysis based on the collected information Analysis based on the collected information | Though there was delay in the initial stage of the Project, generally inputs such as human resources, equipment and training facilities have been successfully utilized to produce outputs. The Project has been making progress in the implementation of 3 model courses, and also accumulating the know-how through the activities. If the Project continues making efforts to achieve the Project Purpose, and also the TEDP and other donors keep supporting the establishment of NVQ level 5 & 6 courses, there is a possibility to achieve the Overall Goal of the Project. |
| Impact (Prediction) | Will it have any impact on the national development plan by achieving the Overall Goal of the JSCoT Project? | MVT | After establishing the CoTs, each CoTs will be local center of TVET sector and be linked to the local TCs to provide career path to the students to produce more human resources to meet the industry's demand. |
| | Is there any constraint in the achievement of the Overall Goal? | Japanese experts | The systems of CoT has not established yet. Even if they are decided, there are changes very often. The involvement of C/P organizations is not sufficient. The process for making decisions and taking actions is very slow. |
| | | Maradana CoT DTET | At least the Maradana CoT can contribute to the achievement of the Overall Goal. There is no problem. |

| | | | | |
|--------------------------|--|--|---|---|
| | <p>Is the ownership of the implementing organization toward the Project secured?</p> <p>Is the budget including the operating expenses secured? Is the national budget for the Project sufficiently discussed?</p> | <p>Is DTET expected to play central role in the establishment of CoTs among the other TVET related institutions, utilizing the experiences gained through the JSCoT Project after the completion of the Project?</p> <p>Has the essential budget to extend the Outputs been discussed and secured? In addition, the Sri Lankan Government has admitted the self-income generation of each CoT. Have the concrete measures to generate incomes been fully discussed and prepared?</p> | <p>MVTT</p> <p>MVTT</p> <p>Japanese experts</p> <p>Maradana CoT</p> <p>DTET</p> <p>MVTT</p> <p>Japanese experts</p> <p>Maradana CoT</p> <p>DTET</p> | <p>DTET is an authority to establish and manage TCs and CoTs, and there is no change in the role. Maradana CoT has been already established as a model, therefore the experience will be used by DTET.</p> <p>The Ministry is adopting the OBB, therefore based on the budgeting system, if the outcomes are approved the budget be will promised. In terms of self income of CoTs, the research work and part-time courses are identifies as the main activities.</p> <p>It seems difficult to secure the budget. The business arm of the Maradana CoT has been discussing the measure to generate self income.</p> <p>The business arm has been working on the short-term courses for workers and generating income to support itself.</p> <p>The business arm has been working on the short-term courses for workers and generating income to support itself.</p> <p>Definitely the necessary budget will be increased, but through the CBB the budget will be allocated.</p> <p>It seems difficult to increase the budget necessary.</p> <p>The plan of establishment of level 5 and 6 courses is government's decision and Ministry and TEDP will secure the budget.</p> <p>The increased budget will be approved by the government.</p> |
| <p>Technical aspects</p> | <p>Is the method of technical transfer taken by the Project accepted (in terms of technical level, social and conventional factors, and so on)?</p> <p>Are the equipments maintained adequately?</p> | <p>Is there any issue/problem in the method of technical transfer of the Project?</p> <p>Has the system (institutional and financial) to secure the maintenance of the equipments and training infrastructure been discussed and prepared?</p> | <p>Japanese experts</p> <p>Maradana CoT</p> <p>DTET</p> <p>Japanese experts</p> <p>Maradana CoT</p> | <p>Those C/Ps who returned from trainings in Japan give presentations to share the knowledge, but the materials should be shared more among them.</p> <p>It would be better if more long-term experts are allocated. The experts should remain at least 6 months.</p> <p>There is no problem.</p> <p>There is a registration of maintenance record. However, a system for the periodical maintenance should be considered in the latter half of the Project period.</p> <p>The instructors give maintenance of equipments. There is no budget especially for the maintenance, but if you make a request, the budget will be provided.</p> |

| | | | |
|---|--|---|--|
| | <p>Is there any possibility for the Project that a lack of consideration toward environment hinders the sustainable efficacy of the Project?</p> | <p>Japanese experts Maradana CoT DTET</p> | <p>students who come from different areas, and the scholarship is not enough. It has been discussed in the parliament about this issue too. No negative impacts expected No negative impacts expected No negative impacts expected</p> |
| <p>Other negative factors to the sustainability</p> | <p>Is there any other constraint which hinders the sustainability of the Project?</p> | <p>Japanese experts Maradana CoT DTET</p> | <p>No negative impacts expected No negative impacts expected No negative impacts expected</p> |

